

『秋期スクーリングの手引』の訂正について

平成26年度『秋期スクーリングの手引』につきまして、以下の訂正がありますのでお知らせいたします。

1 市ヶ谷キャンパスの郵便番号について

『秋期スクーリングの手引』130頁及び巻末受講届の郵便番号に訂正があります。

正 : 市ヶ谷キャンパス（2014年9月～）

【所在地】 〒102-8005

誤 : 市ヶ谷キャンパス（2014年9月～）



【所在地】 〒102-0085

受講届提出にあたっての注意！

以下の受講届につきましては、はがき表面の郵便番号欄を修正の上、投函してください。

東京スクーリング（秋期）第3期

地方スクーリング（秋期）第2期

夜間スクーリング（秋期）

2 履修登録締切日一部変更について

『秋期スクーリングの手引』表紙に掲載している「スクーリング受講手続日程」の「東京第1・2期」と「地方第1期」の履修登録締切日に変更があります。

なお、併せて『部報』7月号6頁「履修登録締切日一部変更について」も参照してください。

スクーリング併用試験方式を利用される方は上記①の前に、以下の②、③も手続きしてください。												
正	②	履修登録締切日	8月2日(土)	10月1日(水)	8月2日(土)	8月26日(火)						
			8月26日(火)									
<u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u>												
<u>郵送の場合【必着】</u>												



スクーリング併用試験方式を利用される方は上記①の前に、以下の②、③も手続きしてください。												
誤	②	履修登録締切日	8月1日(金)	10月1日(水)	8月1日(金)	8月26日(火)						
			8月26日(火)									
<u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u>												
<u>郵送の場合【必着】</u>												

平成26年度 秋期スクーリングの手引

東京スクーリング

第1期 10月11日～10月13日
第2期 10月25日～10月27日
※体育実技のみ 10月18・19・25・26日
第3期 11月22日～11月24日

通信教育部1号館ほか

地方スクーリング

第1期 9月13日～9月15日 山形・大阪
第2期 11月1日～11月3日 札幌・大垣・福岡

夜間スクーリング

10月20日～12月15日 通信教育部1号館

スクーリング受講手続日程

		東京第1・2期	東京第3期	地方第1期	地方第2期	夜間
①	受講申込締切日	8月11日(月)	10月15日(水)	8月11日(月)	9月11日(木)	9月11日(木)
		<u>在学生専用サポート（Web報）【24:00まで】</u>				
		<u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u>				
		<u>郵送の場合【消印有効】</u>				
	受講許可通知書発送予定日	9月19日(金)	11月5日(水)	8月21日(木)	10月10日(金)	10月1日(水)
		※発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は会計課に連絡してください。				
②	受講辞退手続締切日	10月1日(水)	11月12日(水)	8月29日(金)	10月20日(月)	10月8日(水)
		<u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u>				
		<u>郵送の場合【必着】</u>				
③	受講料納入期限	10月8日(水)	11月19日(水)	9月8日(月)	10月27日(月)	10月15日(水)
		<u>銀行窓口にて【厳守】</u>				
	結果通知発送予定日	12月上旬	1月下旬	11月上旬	12月上旬	1月下旬
		在学生専用サポート（Web報）にも掲載します。				

スクーリング併用試験方式を利用される方は上記①の前に、以下の④、⑤も手続きしてください。

④	履修登録締切日	8月1日(金)	10月1日(水)	8月1日(金)	8月26日(火)	8月26日(火)
		<u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u>				
		<u>郵送の場合【必着】</u>				
⑤	リポート提出締切日	8月11日(月)	10月15日(水)	8月11日(月)	9月11日(木)	9月11日(木)
		<u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u>				
		<u>郵送の場合【必着】</u>				

はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学習では十分に学習効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、秋期に実施される東京、地方及び夜間スクーリングの実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングの受講を希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

【所定単位とスクーリングについてお知らせ】

所定単位とは、その科目を修得するために必要な単位数のことです。

スクーリングでは、開講単位数を1単位又は2単位で開講しています。そのため、多くの講座は、所定単位の半分の開講単位数になります。したがって、**スクーリングのみの受講の場合は、ある科目をスクーリングで1回受講・合格しても1科目分の修得単位としては認められないため、所定単位を充足したことにはならず、成績証明書、教員免許状申請用学力に関する証明書等にも記載されません。**

大部分の科目において『学習要覧』にある科目の所定単位とスクーリングでの開講単位は異なります。所定単位と各スクーリングでの開講単位を十分確認してください。

【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るために適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、およそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65名	5名
演 習 講 座	30名	5名
上記以外の講座	100名	10名

〔調整方法等〕

- ① 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同時期に開講されている同じ科目の講座に振り分けることがあります。
- ② 超過人数の状況により新たに講座を増設（分割）して開講する場合があります。
- ③ 上記①・②の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- ④ 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることができます。
- ⑤ 「受講許可講座」及び「講師」の決定は、受講許可通知書にて通知します。したがって、受講許可講座以外の講座の受講は、認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

目 次

I 講座の選定

1 受講講座の選定	2
2 「教職に関する科目」における新・旧科目について	4
3 「開講講座表」の見方	5

II 東京スクーリング

1 開講日程	6
2 実施会場	6
3 「体育実技」実施日程、授業時間及び会場	6
◆開講講座表及び講座内容（シラバス）	
・第1期	8
・第2期	16
・第3期	24

III 地方スクーリング

1 開講日程	34
2 実施会場	34
◆開講講座表、会場及び講座内容（シラバス）	
・第1期 山形	35
・第1期 大阪	38
・第2期 札幌	41
・第2期 大垣	44
・第2期 福岡	47

IV 夜間スクーリング

1 開講日程	52
2 実施会場	52
3 開講講座	52
◆開講講座表及び講座内容（シラバス）	
・月曜日	54
・火曜日	59
・水曜日	64
・木曜日	70
・金曜日	74

V 講座の申込方法

1 受講手続の流れ	80
2 講座を申し込む	81
3 受講講座の変更・追加	85

VI 申込講座の許可と不許可

1 受講許可通知書を確認する	86
2 講座振り分け及び受講不許可について	87
3 許可講座を辞退する	87

VII 受講料の納入

1 受講料	90
2 納入期限	90
3 納入方法	90

VIII 受講準備

1 使用教材の購入	92
2 「休暇依頼状（勧奨状）」と「出席証明書」の発行	94
3 通学定期券の購入	94
4 「学割証」の発行	95
（長距離区間乗車時の学生割引制度）	

IX 受講及び試験

1 講座の受講	98
2 試験の受験	98
3 スクーリング結果の確認	99

X 受講期間中の学生生活

1 受講にあたっての諸注意	100
2 スクーリング期間中の滞在先届	101
3 「千代田区生活環境条例」について	101
4 緊急時の避難行動の指針について	101

XI 各種用紙

「為替」送付時の注意事項	104
教材購入用紙（丸沼書店用）	105
教材購入願（通信教育教材購入用）	107
追加科目履修届	109
通学定期乗車券発行控	111
学割証交付願	113
滞在先届	115
休暇依頼状（勧奨状）申込書	117
<受講申込辞退願>	

東京スクーリング（秋期）第1・2期

受講申込辞退願

東京スクーリング（秋期）第3期

受講申込辞退願

地方スクーリング（秋期）第1期

受講申込辞退願

地方スクーリング（秋期）第2期

受講申込辞退願

夜間スクーリング（秋期）

受講申込辞退願

付録

交通案内・校舎案内	129
スクーリング手続 チェックシート	
<受講届>東京スクーリング（秋期）第1・2期	
<受講届>東京スクーリング（秋期）第3期	
<受講届>地方スクーリング（秋期）第1期	
<受講届>地方スクーリング（秋期）第2期	
<受講届>夜間スクーリング（秋期）	

第東
1
期京

第東
2
期京

第東
3
期京

第山
1
期形

第大
1
期阪

第札
2
期幌

第大
2
期垣

第福
2
期岡

月
夜
曜
日

火
夜
曜
日

水
夜
曜
日

木
夜
曜
日

金
夜
曜
日

申
講
座
方
法

許
申
込
承
認
書
の
記
述

受
講
入
料
の

受
講
准
備

受
試
験
及
び

学
生
講
習
活
動

各
種
用
紙

付
録

I 講座の選定

1 受講講座の選定

① 受講講座を選ぶ

東京・地方スクーリングともに各期から1講座、夜間スクーリングでは、月曜日から金曜日までの各曜日から1講座（最多5講座）を申込みできます。ただし、東京スクーリング第2期と地方スクーリング第1期については、開講期間が重複するため、いずれか一方のみの申込みとなります。各自、入学時に配布された『学習要覧』やコース履修者は『コース履修の手引』を参照し、自分が履修しなければならない科目を把握し、学習計画を立てた上で受講申込をしてください。

② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるのではありません。自分の学年・学科（専攻）、カリキュラム及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みしてください。

(1) 配当学年による受講制限

ア 1学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

イ 2学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」又は「2年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

ウ 3・4学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

(2) 科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

なお、科目履修生は「スクーリング併用試験方式」での申込み・受講はできないので注意してください。

(3) カリキュラムによる受講制限

カリキュラムの適用により、受講できない講座があります。自分のカリキュラムを次ページで確認し、後掲の「開講講座表」の「制限・注意」欄を参照してください。

[平成 26 年度のカリキュラム適用状況]

各自の学生（科目履修生）証番号は8桁で構成されていますが、そのうち3～5桁目を下表に照らし合わせて各自のカリキュラムを確認してください。

種別	入学年度	学生（科目履修生）証番号の 3～5桁目の表示		適用カリキュラム
		4月生	10月生	
正科生	平成 15 年度	** 031 ***	** 035 ***	Dカリキュラム
	平成 16 年度	** 041 ***	** 045 ***	Dカリキュラム
		** 042 ***	** 046 ***	
	平成 17 年度	** 051 ***	** 055 ***	Dカリキュラム
		** 052 ***	** 056 ***	
		** 053 ***	** 057 ***	
	平成 18 年度	** 061 ***	** 065 ***	Dカリキュラム
		** 062 ***	** 066 ***	
		** 063 ***	** 067 ***	
		** 064 ***	** 068 ***	
	平成 19 年度	** 071 ***	** 075 ***	Dカリキュラム
		** 072 ***	** 076 ***	
		** 073 ***	** 077 ***	
		** 074 ***	** 078 ***	
	平成 20 年度	** 081 ***	** 085 ***	Dカリキュラム
		** 082 ***	** 086 ***	
		** 083 ***	** 087 ***	
		** 084 ***	** 088 ***	
	平成 21 年度	** 091 ***	** 095 ***	Dカリキュラム
		** 092 ***	** 096 ***	
		** 093 ***	** 097 ***	
		** 094 ***	** 098 ***	
	平成 22 年度	** 101 ***	** 105 ***	Dカリキュラム
		** 102 ***	** 106 ***	
		** 103 ***	** 107 ***	
		** 104 ***	** 108 ***	
	平成 23 年度	** 111 ***	** 115 ***	Dカリキュラム
		** 112 ***	** 116 ***	
		** 113 ***	** 117 ***	
		** 114 ***	** 118 ***	
	平成 24 年度	** 121 ***	** 125 ***	Dカリキュラム
		** 122 ***	** 126 ***	
		** 123 ***	** 127 ***	
		** 124 ***	** 128 ***	
	平成 25 年度	** 131 ***	** 135 ***	Dカリキュラム
		** 132 ***	** 136 ***	
		** 133 ***	** 137 ***	
		** 134 ***	** 138 ***	
	平成 26 年度	** 141 ***	** 145 ***	Dカリキュラム
		** 142 ***	** 146 ***	
		** 143 ***	** 147 ***	
		** 144 ***	** 148 ***	
科目 履修生	平成 25 年度	** 130 ***	_____	Dカリキュラム
	平成 26 年度	** 140 ***	_____	

(4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 過去に受講し、合格した科目（充当科目）と同一担当講師の科目（充当科目）で授業内容も同一である講座の受講

次のa～cのすべてに該当する講座は申込みできません。

a 科目名（充当科目名）が同じである（「講座名」ではなく、「科目名（充当科目名）」です）。

b 担当講師が同一である。

c 講義内容が全く同一である。

※ 講義内容を参照し、授業のねらい等が全く同一の場合は申込みできません。

ウ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があり、この場合、大学側で受講の調整を行います。

調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。

そのため、必ず「受講許可通知書」にて、講座名・担当講師を確認し、許可された講座を受講してください（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

平成23年度に下表の「教職に関する科目」4科目については、科目名称が変更となり、平成23年度1学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

旧科目名	新科目名	
0904 教育の思想	0901	教育原論
0941 道徳教育の研究	0940	道徳教育の理論と方法
0942 特別活動の研究	0943	特別活動論
0947 教育カウンセリング論	0937	教育相談
旧科目名での履修対象者	新科目名での履修対象者	
右記以外の学生	入学年度	入学形態
	平成23年度	1学年入学生
	平成24年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 科目履修生
	平成25年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 3学年編入・再入学生 科目履修生
	平成26年度	入学生

3 「開講講座表」の見方

「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（2桁）には、この講座コードを記入してください。						
2	開講講座名	講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。						
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の氏名です。						
4	充当科目（科目コード、科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。 スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。 多くの講座の充当科目は限定的ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（4桁）には、この科目コードを記入してください。						
5	併用	「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座か否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には、 <u>×印</u> が記載されています。						
6	制限・注意	<table border="1"> <tr> <td>配 当 学 年</td> <td>ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。</td> </tr> <tr> <td>カリキュラム</td> <td>D カリキュラムのみ履修可能な講座には「D」と記載されています。なお、空欄の場合は、全カリキュラムが受講可能です。</td> </tr> <tr> <td>受 講 条 件</td> <td>その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。</td> </tr> </table>	配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。	カリキュラム	D カリキュラムのみ履修可能な講座には「D」と記載されています。なお、空欄の場合は、全カリキュラムが受講可能です。	受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。
配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。							
カリキュラム	D カリキュラムのみ履修可能な講座には「D」と記載されています。なお、空欄の場合は、全カリキュラムが受講可能です。							
受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。							

II 東京スクーリング

1 開講日程

開講期	日程	授業時間
第1期	11日(土) 10月 12日(日)	9:30~18:30 9:00~18:30
	13日(月)	9:00~16:00 <試験も含む>
	25日(土) 10月 26日(日)	9:30~18:30 9:00~18:30
第2期 (体育実技を除く)	27日(月)	9:00~16:00 <試験も含む>
	22日(土) 11月 23日(日)	9:30~18:30 9:00~18:30
	24日(月)	9:00~16:00 <試験も含む>

【注意】 第2期に開講の「体育実技」は日程、授業時間及び会場が異なります。

- ※ 期ごとに全日程の出席が必要です。
- ※ 授業時間内に休憩時間を設けます。
- ※ 各期から1講座のみ申し込みできます。

2 実施会場

①校舎移転に伴う実施会場の変更について

平成26年9月から校舎移転に伴い、東京スクーリングの実施会場は水道橋キャンパスから市ヶ谷キャンパスへ移行します。ただし、開講講座数及び受講者数等の理由から、一部講座については水道橋キャンパスにて実施する可能性があります。実施会場が決定しだい、通知又はホームページにてお知らせします。

②実施会場の詳細

会場名	所在地	交通案内
水道橋キャンパス	東京都千代田区三崎町 2-2-3	130ページ「校舎案内」を参照してください。
市ヶ谷キャンパス	東京都千代田区九段南 4-8-28	

※ 授業講堂は、本学通信教育部ホームページの新着情報にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に通信教育部1号館1階掲示板に掲示します。

3 「体育実技」実施日程、授業時間及び会場

「体育実技」は、他の講座と異なり文理学部総合体育館及び百周年記念館で受講します。以下の事項をよく確認してください。

a 開講日程【雨天決行】

日程	授業時間
10月18日(土)	18:00~21:30
10月19日(日)	9:00~17:00
10月25日(土)	18:00~21:30
10月26日(日)	9:00~17:00

※ 第2期の他講座と授業時間及び会場が異なります。

b 実施会場

日本大学文理学部総合体育館及び百周年記念館（後掲「案内図」参照）

c 持参物

- ・運動のできる服装（トレーニングウェア等）
- ・室内用運動靴
- ・健康保険証
- ・筆記用具
- ・スクーリングの手引
- ・スクーリング受講許可通知書兼領収書

d 「体育実技」の集合場所・集合時間

日本大学文理学部総合体育館入口

※授業開始の15分前から受付を開始します。

※遅くとも授業開始の5分前には受付を済ませた後、運動のできる服装に着替え、時間厳守で受講会場に集合してください。

※更衣室の使用はできますが、ロッカーの使用及び更衣室に荷物を置いておくことはできませんので、荷物を持って会場に集合してください。

e 受講について

体育実技は卒業必修科目となっていますが、疾病その他身体障害の理由で実技自体の参加が困難であると思われる方は、受講申込前（「受講届」提出前）に教務課に連絡してください（TEL 03-5275-8911）。

f 注意事項

- ・ジーンズや普段着での受講はできません。
- ・更衣室は、文理学部総合体育館にあります。
- ・貴重品は、各自で管理してください。

〈文理学部案内図〉

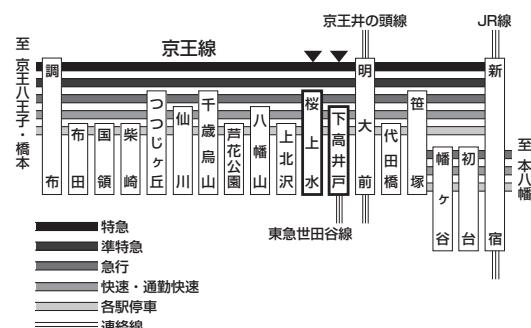
(住 所)

東京都世田谷区桜上水3-25-40

(交通案内)

京王線下高井戸駅又は、桜上水駅下車

徒歩約10分



◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京 第1期

日 程	授 業 時 間		備 考
10月11日	土	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
10月12日	日	9:00～18:30	
10月13日	月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制 限・注 意		
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学年	カリ キ ュ ラ ム	受 講 条 件
A1	英 語 A	長島 万里世	0041	英 語 I		1年		・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
			0042	英 語 II		2年		
			0043	英 語 III		1年		
			0044	英 語 IV		2年		
A2	英 語 B	角田 裕子	0041	英 語 I		1年		・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
			0042	英 語 II		2年		
			0043	英 語 III		1年		
			0044	英 語 IV		2年		
A3	商 法 II	松嶋 康尚	0143	商 法 II		2年		
A4	国語学演習 A	鈴木 功真	0381	国語学演習 I	×	3年		国文学専攻のみ申込可・
			0382	国語学演習 II				
			0383	国語学演習 III				
A5	英語学特殊講義	市川 泰弘	0430	英語学特殊講義	×	2年		
A6	英 語 史	真野 一雄	0441	英 語 史		2年		
A7	英語学演習 A	桑山 啓子	0481	英語学演習 I	×	3年		・英文学専攻のみ申込可 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
			0482	英語学演習 II				
			0483	英語学演習 III				
A8	東洋史演習	須江 隆	0686	東洋史演習 I	×	3年		・史学専攻のみ申込可 ・I・IIのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
			0687	東洋史演習 II				
A9	教育の社会学	広田 照幸 瓊華 張	0907	教育の社会学	×	2年		・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
AA	博物館資料保存論	青木 繁夫	2013	博物館資料保存論	×	2年	D	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆ Small Miracles を読む 2

〔英語 A〕

開講単位：1 単位 担当者：長島 万里世

◆学修到達目標 この授業では、*Small Miracles* の中から英語学習用に編集された教科書を扱います。アメリカの人々の実際の体験に基づいて書かれた作品をみなさんと味わいながら、文法、読解等の英語力向上を図ります。前回と同じ教科書を用いますが、扱う章は異なります。

◆授業方法 学生には輪読形式でテキストの音読と日本語訳をしてもらいます。また時間に余裕があれば、教科書の内容に沿ってディスカッションや作文、映像資料を取り入れます。なお、下記の授業計画はあくまで予定であり受講者のレベルやクラスの人数により授業内容を変更する場合もあります。

◆準備学修 詳しい注が付いていますので、それを参考に、辞書を使ってテキストをよく読んでおいてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス 基礎的な文法の復習 6. The Gift
2日目	前日からのつづき 7. Out of Curiosity 10. The Most Welcome Noise
3日目	前日からのつづき 11. A Kind Offer Unaccepted 試験

◆教科書 丸沼『Small Miracles—心ひかれる不思議な話』 Yitta Halberstam/ Judith Leventhal 編著 金星堂 1,782円（税込）（送料 215円）

◆参考書 英語辞書を必ず毎回持参してください。

◆成績評価基準 授業への取り組み（発表等）・テストにより総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆英語の読解力をつける

〔英語 B〕

開講単位：1 単位 担当者：角田 裕子

◆学修到達目標 英語の読解力につけるためには英文法の理解と豊富な語彙が必要になる。本講座ではイギリスについてのエッセイを教材として、英文法と語彙の力を確実につける。そうすることで、最終的には英文を正確に読む読解力を少しでも確実につけることを目標とする。なお、使用する教材は TOEIC スコア 400～500 レベルを中心としているので、受講するかどうかの判断基準にしてほしい。

◆授業方法 授業は演習形式で行う。講師が一文ずつの音読と和訳を発表するよう受講者を指名する。指名された受講者は、はじめに音読をし、次に準備した和訳と不明な箇所があればそれを発表する。その後、講師が英文法や語彙などについて解説する。毎回必ず全員を指名するので受講者はそのつもりで出席することが求められる。

※過去に角田裕子師「英語 I～IV」を受講したことがある学生は内容及び解説が重複する場合があるため受講出来ない。

◆準備学修 第一に、本文を意訳ではなく直訳することである。誤訳を気にする必要は全くない。むしろ不明な箇所を明確にすることで英文法と語彙の弱点を把握出来るので、結果として学習効果を大いに期待出来る。第二に、単語の発音を正確にすることである。正確な発音が出来ればリスニング力の向上につながるため、電子辞書の音声機能などを利用して準備すること。各章の練習問題は様子を見ながら行うので、目を通しておくことを求める。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	Lesson 1 Check In and Work Out Lesson 2 What Will the Weather Be Like? Lesson 3 A London without Red Buses?	Lesson 4 Back to the Future Lesson 5 Shop-'n'-Chat
2日目	Lesson 6 More Than Just a Post Office Lesson 7 Off the Beaten Path Lesson 8 Pubs in Decline	Lesson 9 Dining Out Diversity Lesson 10 Afternoon Tea
3日目	復習 試験	

◆教科書 丸沼『Gateway to Britain ちょっとイギリス街角散策』テリー・オブライエン著 南雲堂 2,052円（税込）（送料 300円）

◆参考書 英和辞書（電子辞書可）

※授業内で携帯電話及びパソコン（タブレット端末を含む）を辞書代わりに使用することを固く禁止する。
全 3 日間は紙媒体の英和辞書か電子辞書を必ず持参すること。持参しない場合は出席を認めない。

◆成績評価基準 ・平常点 40%（事前準備の有無及び発表などへの積極的取り組み）・試験 60%

※遅刻・欠席は一切認めない。1 回でも遅刻・欠席したら成績評価を行わないで注意すること。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆会社法の基本を学ぶ

〔商法Ⅱ〕

開講単位：2 単位 担当者：松嶋 康尚

◆学修到達目標 会社法に関する基本的な法知識の習得を目的とする。
税との関わりなど実務に関連する部分も、適宜取り上げていきたい。

◆授業方法 授業は講義形式で行っていく。
条文の確認は適宜行いたいので、六法は必ず持ってくること。
出席は毎回取る。

◆準備学修 本授業の対象となる会社とはどういうものか、自分なりに知識・イメージを持っておくことにより、学習の理解がより進むであろう。新聞等で会社をとりまく経済記事をチェックすることも有用であるが、経済小説・企業小説を読んで会社に対するイメージをある程度持っておくと学習に入りやすいであろう。

◆授業計画 (1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分)

1日目	①ガイダンス, ②会社制度の存在意義, ③株式会社における株主の地位, ④株式に関する諸問題
2日目	⑤株主総会, ⑥取締役・取締役会, ⑦役員報酬規制, ⑧監査役・監査役会, ⑨会計参与・会計監査人, ⑩委員会設置会社 ⑪役員の責任と責任追及
3日目	⑫小規模会社における会社債権者保護, ⑬設立手続, ⑭定款, ⑮持分会社, ⑯組織再編, ⑰試験

◆教科書 丸沼『会社法の基礎知識』根田正樹編著 学陽書房 3,240円（税込）（送料300円）
最新版（2014（平成26）年版）の六法（出版社は特に指定しない）

◆参考書

◆成績評価基準 ①平常点（10%）及び②試験の採点結果（90%）を総合して評価をする。
なお、毎回出席することを前提とする。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆キリスト教資料を日本語学的に考察する

〔国語学演習 A〕

開講単位：1 単位 担当者：鈴木 功真

◆**学修到達目標** 実際の日本語的な分析考察方法を知るために、具体的な文献としてキリスト教資料のうちイエズス会系の『イソホ物語』(エソボのハプラス)を探り上げ、本文を全員で分担・解説し、調査・考察報告を行う。その作業を通して、日本語学的な分析考察方法を獲得することを目標とする。

◆**授業方法** 演習科目なので、全員が報告をする。受講生数が決まり次第、事前資料を配付し、分担箇所を指示する。開講前に十分な日本語学的作業を行った報告資料を作成した上で授業に臨むこと。作業方法は配付資料に示す。必要に応じて報告時の討議で明らかとなつた課題についてレポートを課すことがある。

◆**準備学修** 事前配布資料を熟読の上、日本語学・日本語史や『イソホ物語』に関する日本語学的研究の情報を、参考文献を中心に把握しておくこと。第一回発表については、自分の担当箇所はもちろんのこと、前後も読んだ上で準備を進める。第二回発表についても、3日間のスクーリング期間中はなかなか進められないため、事前に準備しておくこと。

◆**授業計画** (1日目：480 分, 2日目：510 分, 3日目：360 分)

1 日目	ガイダンス	日本語学の調査方法について。 中世近世資料、特にキリスト教資料と『イソホ物語』の日本語学的性格について。 発表と討議 1-1 正確な本文解説の獲得
2 日目	発表と討議 1-2	正確な本文解説の獲得と考察ポイントの探求 特に、現代日本語との相違の自覚。 発表と討議 2-1 日本語学的位置づけの検討に向けて 古典語から現代語への変化の過程の把握を中心に
3 日目	発表と討議 2-2	日本語史の変遷の中で当該資料をどう位置付けるかの検討 実際の本文を通した調査と先行研究の指摘の対応についての確認。 まとめ 対象資料を中心とした日本語の実態と、日本語史全体の把握。

◆**教科書** 事前資料送付 事前配付資料のみ

◆**参考書** 発表資料作成作業に下記の図書が必要となる。事前配付資料でも資料閲覧の方法は指示をするが、あらかじめ、どこの図書館へ行けば見られるかを、インターネットなどを活用して調べておくこと。参考となるホームページは、総合目録データベース WWW 検索サービス「<http://webcat.nii.ac.jp/>」, GeNii (NII 学術コンテンツ・ポータル)「<http://ge.nii.ac.jp/>」、文理学部図書館「<http://www.lib.chs.nihon-u.ac.jp/opac/>」などがある。『日本国語大辞典』(第二版・小学館)、『時代別国語大辞典』(室町時代編、三省堂)、『日本語学研究事典』(明治書院)、『国語学大辞典』(東京堂)、『国語史を学ぶ人のために』(木田章義編 世界思想社円)、『日本語史概説』(沖森卓也編著 朝倉書店)
その他、日本語史、中世近世資料、キリスト教資料、室町・江戸時代語に関する図書。

◆**成績評価基準** 第一回、第二回発表および質疑応答への参加 100%。場合によっては受講態度を加味する。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ Dynamic Model of Grammar

〔英語学特殊講義〕

開講単位：2 単位 担当者：市川 泰弘

◆学修到達目標 本講では生成文法の中で言語習得を考慮に入れた文法理論について、英文を読みながら学習していきます。

◆授業方法 英文で書かれたものを読みながら、言語習得を考慮に入れた文法理論について考えていきます。講義の中でさまざまな資料を配付しながら学習していきます。

◆準備学修 あらかじめ配布する英文は必ず予習をして、内容を日本語でまとめておいてください。また、講義では自発的な発表を中心に行いますので、積極的に参加できるように準備して下さい。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	イントロダクション：言語学の動向, Chomsky か non-Chomsky か? 認知言語学と言語理論 レポート
2日目	論文：Similarity in meaning, Semantic Switching, Ergative appear versus Raising appear, One's way construction レポート
3日目	Problems with some analyses, Resolutions, Dynamic model of Grammar (or Extension Theory) レポート

◆教科書 [当日資料配布] 論文のプリントを配布します。

◆参考書 『変形文法理論の軌跡』 梶田優 大修館書店（絶版本なので、図書館等で探してみてください）

◆成績評価基準 発表・レポートなどで総合的に判断します。詳細は第1回目の講義で説明します。

◆授業相談（連絡先）：

◆英語の語形変化の単純さを知ろう

〔英語史〕

開講単位：2 単位 担当者：真野 一雄

◆学修到達目標 英文の読解力を高めるとともに、英語がどのような発達・変化を遂げて今日の姿になったか、歴史的な流れの基礎的な知識を修得し、説明できるようすることを目的とします。また、過去の歴史を振り返り、英語の未来の姿を想像してみましょう。

◆授業方法 テキストIV章「語形論」を『学習指導書』を併用しながら読みます。テキストは私たちにとって必要な箇所を重点的に読みます（下記に記すところ以外はざっと目を通す程度でも結構です）。

◆準備学修 テキスト第I章を予備知識として必要としますので、そこを読んでおくか、あるいは参考図書を読んでおいてください。

テキスト（英文）を読み、『学習指導書』の問の解答を用意しておいてください。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	「名詞」特に不規則複数形のところを詳しく読みます。 「形容詞」「副詞」
2日目	「代名詞」特に二人称代名詞のところは詳しく読みます。 「動詞」(1) 強変化動詞について記述されたところ (p.99) は特に詳しく読みます。
3日目	「動詞」(2) 弱変化動詞と不規則変化となった弱変化動詞のところは特に詳しく読みます。 試験

◆教科書 通材『英語史 0441』 通信教育教材（教材コード000117） 2,600円（送料込）
〈この教材は市販の『詳注ブルック英語史』 G.L.Brook（南雲堂）と同一です〉

◆参考書 ※自学用で、授業中に参照することはできません。

丸沼『英語の歴史—過去から未来への物語』寺澤 盾著 中公新書 1971 842円（税込）（送料215円）

丸沼『英語の歴史』中尾俊夫著 講談社現代新書 958 799円（税込）（送料215円）

◆成績評価基準 受講状況（10%）、試験（90%）で評価（試験は途中退出なしです）。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語の歴史を学ぶ

[英語学演習 A]

開講単位：1 単位 担当者：桑山 啓子

◆**学修到達目標** 英語学は語彙、文法、音声、歴史等、範囲が広いので、その中の歴史（英語史）に絞って、英語がアングロ・サクソン民族の時代よりどのように変化して、現在我々が使っているような形になったのかを学ぶ。最終的にイングランドの大まかな歴史とともに英語がどのように変化したのか、他の人に説明できるくらいに理解するのを目標とする。

◆**授業方法** 演習方式で行い、出席した学生全員がテキストの割り当てられた担当部分を発表する。テキストに書いてあること以外に自分が調べたことがあればコメントとして付け加えて発表する。その後で教師がテキストの英文で難しいところは英文について説明し、内容に関して資料を配った上で詳しく説明する。時間があれば、その内容に関連するDVDを見せて説明を加える。

◆**準備学修** テキストは一般的の書店でも購入することができる授業で進めるところを予めよく読んでおくこと。また、下記の「参考書」に示した本を1冊は読んでおくこと。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	(午前) ガイダンス（授業履修の付いての説明と注意） / 英語学の概要、イングランドの歴史と英語史について、テキスト pp.6 - 14 の内容の概略 / Old English (pp.15 - 18) (午後) Old English (pp.18 - 28)
2日目	(午前) Old English (pp.28 - 33) (午後) Middle English (pp.38 - 53)
3日目	(午前) Modern English (pp. 53 - 59) (午後) Modern English (pp. 59 - 61)

◆**教科書** 丸沼『The English Language - A Brief History -』 Thomas Pyles 著 東信行編注 英宝社 2,052円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 丸沼『ベーシック英語史』 家入葉子著 ひつじ書房 1,728円（税込）（送料300円）
丸沼『図説 英語史入門』 中尾俊夫・寺島迪子共著 大修館書店 2,052円（税込）（送料300円）
丸沼『ティクオフ英語学シリーズ1 英語の歴史』 松浪有編 大修館書店 1,728円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 授業内の発表（30%）、内容理解確認小テスト及び予習確認小テスト（20%）、最終試験（50%）
3日間出席することを前提として評価します。

◆**授業相談（連絡先）：**

◆前近代中国の知識人が記した文書を読解してみよう

[東洋史演習]

開講単位：1 単位 担当者：須江 隆

◆**学修到達目標** 中国の知識人が記した様々な文書を選読することにより、前近代の漢字文化圏の歴史を研究する際に必要な古典漢語史料読解に関する基礎的知識や語法・文法などを実践的に習得してもらいます。加えて、嘗ての中国知識人は、何を記録に残したのかも知ることができます。更に、清朝考証学者が記した『四庫全書総目提要』所収の正史に関する文章をテキストとして読解の実践をし、漢語史料の分析手法を理解することを目指します。

◆**授業方法** 指定した古典漢語で記されたテキストを講読し、漢語史料の文体に慣れてもらうとともに、訓読や基本の句形についても習熟してもらう。当日配布テキストの訳注稿の作成を課し、最終日に完成の上、提出してもらいます。

◆**準備学修** 事前に参考書「漢文入門篇」と古典漢語史料選読用テキストを配布するので、漢和辞典を用いて、漢文史料読解のための基礎的知識などを一通り予習しておいてください。また演習の授業なので、当日配布したテキストについても充分な予習を要します。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	授業ガイダンス、漢語史料読解のために、小テストI、古典漢語史料講読I ※先ず受講に必要な辞書・工具書等の説明をします。次に受講者自身の漢語史料読解能力を自覚してもらうために、小テストとその解説を行います。更に中国の知識人が記した様々な文書を選読し、漢文の訓読（訓点、基本的構造、置き字、再読文字など）や基本句形（使役形、受身形、否定形など）について実践的に学びます。
2日目	古典漢語史料講読II、『四庫全書総目提要』について、『宋史』編纂をめぐって、『四庫全書総目提要』を読むI ※引き続き、中国の知識人が記した様々な文書を選読し、漢文の基本句形（疑問形、反語形、比較形など）について実践的に学びます。次に『四庫全書総目提要』の『宋史』に関する文章を読解するに当たって、それらの書物について解説し、その上で講読を行います。
3日目	『四庫全書総目提要』を読むII、訳注稿の作成・提出、授業の総括、小テストII ※引き続き、『四庫全書総目提要』所収の『宋史』に関する文章を講読し、訳注稿を作成・提出してもらいます。授業の総括の後、最後に小テストを実施し、3日間の学習の成果を確認します。

◆**教科書** 事前資料送付 当日資料配布 古典漢語史料読解用テキストは、事前及び当日にプリントで配布する。

◆**参考書** 事前資料送付 「漢文入門篇」を事前にプリントで配布する。

丸沼『角川 新字源』 小川環樹・赤塚忠・西田太一郎編、角川書店 2,592円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 授業への参加・貢献(平常点)(25%)、小テスト(25%)、課題の提出(50%)により総合的に評価します。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆変化する社会における教育

[教育の社会学]

開講単位：2 単位 担当者：広田 照幸・張 壇華
チヨウ ケイカ ツヅカ

◆**学修到達目標** この授業は、教育社会学の視点や方法を用いながら、ダイナミックに変化しつつある現代社会における教育を考察する。社会学的に教育をみていく手がかりになるいくつかの重要な概念や理論を理解すること、そうした概念や理論を実際の現象やデータ解釈にあてはめてみること、そして具体的な教育の変動をみていくことで、グローバルな世界の変容の中で教育をとらえることをめざす。

◆**授業方法** この授業は講義形式で進める。講義時に独自の資料を適宜配布する。ビデオやパワーポイントを利用することも予定している。概念や理論を理解するためには、講義を漫然と聴くのではなく、きちんと講義内容の要点を聞き取り、自分なりに要約して整理することが必要である。

◆**準備学修** 受講者は、世界の変動の中での教育の役割について、いろいろと考えをめぐらせながら講義を受講してもらいたい。それゆえ、授業の3倍程度の時間をかけて、あらかじめ参考図書や新聞・雑誌などを通して予習をしておくことが求められる。また、政治や経済・外交など、広い知識や関心を持つ者ほど得るもののが大きいはずである。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	学校教育制度の機能と社会：1. 社会化・選抜配分・正当化 2. 学歴主義の説明理論 3. 国民国家、グローバル化と教育 *学校という装置が社会の中で果たす多面的な機能を理解した上で、社会化と選抜配分との関わりを「学歴」という観点から考察し、現代社会の変動がどういう事態を生んでいるのかについてのマクロな把握を学びます。
2日目	多文化社会における教育：1. 階層文化と教育 2. 国際化と日本における国際理解・異文化理解教育 3. 各多民族・多文化社会における多文化主義・多文化教育 * 20世紀に入ってから、社会変動に伴って教育の内容がどう変わってきたのか、多民族・多文化社会において、それぞれの国がどのように対応してきたかを把握する。そしてこれからの社会において、教育はどうすべきかについて考えます。
3日目	社会変動と教育：1. 社会変動と教育に関する諸説明理論 2. 政治変動と教育 3. 経済の激変と教育（中国における計画経済期、市場経済期と教育）4. 試験 * 政治変動や経済変動の時期において、教育の変化が何によって影響されているのかを考察する。労働者階級の待遇に焦点を当てて、平等と選抜方法、貧困と教育、市場化原理と教育などの問題について考えます。

◆**教科書** 指定しない。

◆**参考書** 丸沼『格差・秩序不安と教育』 広田照幸 世織書房 3,888円(税込)(送料300円)
丸沼『ヒューマニティーズ 教育学』 広田照幸 岩波書店 1,404円(税込)(送料300円)
丸沼『思考のフロンティア 教育』 広田照幸 岩波書店 1,512円(税込)(送料300円)
『リーディングス 日本の教育と社会』 他。

◆**成績評価基準** 試験結果を重視するが、講義の合間に書いてもらうペーパーも加味する。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆活用のために博物館資料を守りましょう

【博物館資料保存論】

開講単位：2 単位 担当者：青木 繁夫

◆学修到達目標 博物館活動の基本になる資料の保存について、その意味と目的を理解してもらう。資料の取り扱いや展示・収蔵環境に関する知識を取得して、保存上の問題が発生しないように危機管理の基礎的能力を養う。

◆授業方法 授業時に配布した資料を使用しながらパワーポイントを使用して講義形式で授業を実施する。

◆準備学修 博物館の展示活動は、資料を展示して見学してもらうことによって成り立っています。しかし、展示公開を実施すればするほど資料の劣化が進行する矛盾を抱えています。その矛盾を出来るだけ解消するためにさまざまな保存対策が行われています。博物館・美術館を見学して展示室の中でどのような保存対策がとられているか、気がついたことをまとめておいてください。

◆授業計画 【1日目：480 分、2日目：510 分、3日目：360 分】

1日目	なぜ博物館資料の保存を考える必要があるのか、博物館資料がどのような材料と技術でつくられているかを理解してもらったりた上で、物理的・化学的影響をうけて博物館資料が劣化、損傷していくメカニズムと、その防止対策が博物館でどのように行われているか具体的事例を示して、その基本的知識を習得してもらう。
2日目	微生物や昆虫による博物館資料の損傷と総合的有害生物管理による防止対策、火災や漏水などの事故や地震などの自然災害から博物館の資料を保護する為の危機管理について講義を行い初期対応に関する保存科学的な基礎的知識を習得させる。
3日目	劣化損傷した博物館資料の修復理念と修復材料について修復実例を交えながら基礎的知識を理解させる。史跡などに併設される博物館の保存問題と、それに付随している遺跡の保存整備と保存管理について理解させるとともに、活用における安全と安心の確保について事例を示しながら対策について理解をさせる。

◆教科書 **【当日資料配布】**授業時に配布する講義資料を使用して授業を行う。

◆参考書 **通材**『博物館資料保存論 2013』 通信教育教材（教材コード 000477） 4,600 円（送料込）
<この教材は市販の『文化財保存環境学』三浦定俊他著（朝倉書店）と同一です>

丸沼『新時代の博物館学』 全国大学博物館学講座西日本支部編芙蓉書房出版 2012 年 2,052 円（税込）
(送料 350 円)

◆成績評価基準 授業終了時に実施する試験の成績によって成績評価を行う。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京 第2期

日 程	授 業 時 間	備 考
10月25日 土	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。 ※体育実技のみ日程が異なります（6ページ参照）。
10月26日 日	9:00～18:30	
10月27日 月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コ ー ド	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制 限・注 意		
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学年	カリ キュ ラム	受 講 条 件
B1	歴 史 学	鍋本 由徳	0015	歴 史 学		1年		
B2	民 法 IV	伊藤 文夫	0135	民 法 IV		2年		
B3	国際政治学	大八木 時広	0223	国際政治論		2年	・経済学部のみ申込可 ・法・文理学部のみ申込可 ・商学部のみ申込可	
			0224	国際政治学				
			0225	国際政治学概論				
B4	英語音声学	森 晴代	0450	英語音声学		2年		
B5	英語学演習B	田中 竹史	0481	英語学演習I	×	3年	・英文学専攻のみ申込可 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0482	英語学演習II				
			0483	英語学演習III				
B6	倫理学概論	江川 晃	0533	倫理学概論		2年		
B7	日本史演習	古川 隆久	0681	日本史演習I	×	3年	・史学専攻のみ申込可 ・I・IIのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0682	日本史演習II				
B8	社会政策論	今井 拓	0761	社会政策論		2年	・文理・経済・商学部のみ申込可 ・法学部のみ申込可	
			0762	社会政策		2年		
B9	教育原論／教育の思想	北野 秋男	0901	教育原論	×	2年	・本誌4ページを参照 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です	
			0904	教育の思想				
BA	国語科教育法IV	品川 利幸	0956	国語科教育法IV	×	2年	・国文学専攻のみ申込可 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です	
BB	英語科教育法III	岡田 善明	0961	英語科教育法III	×	2年	・英文学専攻のみ申込可 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です	
T1	体育実技A	吉本 俊明	0077	体育実技I	×	1年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です	
			0078	体育実技II				

【注意】「体育実技A」のみ開講日程および会場が異なるため、注意してください（6ページ参照）。

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆イメージする歴史

〔歴史学〕

開講単位：2 単位 担当者：鍋本 由徳

◆**学修到達目標** 歴史の勉強は「イメージすること」から始まります。歴史を語ろうとする人たちの意図はどこにあったのか、歴史の解釈はどのようにおこなっていくのか、「歴史学の歴史」「素材の利用」などを学修し、「歴史」を理解するための素養修得を目指します（以前の私の「歴史学」と内容が重複する内容がありますが、積み重ね受講できるように変更しています）

◆**授業方法** 原則として講義形式です。1日目と、2日目の午前はテキストとプリントを中心進め、2日目は講義を原則としますが、受講生50名以下の場合は、都内旧跡を巡見を交えて、講義内容の理解を深める予定です。3日目は再び講義を進めます。なお、最終試験の他に、单元毎の小テストと巡見レポート作成（800字程度）を課す予定です。

◆**準備学修** 歴史小説や、評論家の著書はほとんど使いません。計画のキーワードについて、用語を調べておくとよいでしょう。また、下記参考文献を読んでおくとスムーズな理解ができます。「日本史」「世界史」知識の多少は問いませんが、図書館などをを利用して、歴史と歴史学の違いをイメージして講義に臨んでください。復習は、各回で理解度が低かった箇所を丁寧に調べ直してください。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	【トピック】歴史の自覚化。日本・東洋・西洋が残す歴史記述。近代歴史学の手法。 1日目は、歴史学の歴史に着眼点を当てていきます。 【主要キーワード】大航海時代、科学革命、年代記、古事記、日本書紀、二十四史、実証主義
2日目	【トピック】歴史の素材（資料論）、出版文化と行動文化（受講生数が50名以下の場合は、巡見に当てる） 2日目は、歴史学を考える上で重要な素材となる「歴史資料」の性格に着眼点を当てていきます。 【主要キーワード】考古資料、名所図会（巡見）、道中日記、義民、歌舞妓（江戸時代）
3日目	【トピック】身近な歴史との出会い、歴史資料保存機関の利用、歴史解釈の方法 3日目は、人物史と歴史学、具体的な歴史事象を使って解釈の多様性に着眼点を当てていきます。 【主要キーワード】人物史、博物館・文書館、「鎖国」論

◆**教科書** 通材『歴史学 0015』 通信教育部教材（教材コード000393） 1,650円（送料込）
【当日資料配布】なお、プリントもあわせて配布します。

◆**参考書** 丸沼『世界史とヨーロッパ』 岡崎勝世 講談社現代新書 820円（税込）（送料215円）
丸沼『歴史学って何だ?』 小田中直樹 PHP新書 734円（税込）（送料215円）
その他、適宜授業時に紹介。

◆**成績評価基準** 最終試験（60%）、小試験（30%）、課題（10%）の総合評価（全日出席で100%の評価対象となります）。

◆**授業相談（連絡先）：**

◆債権法各論

〔民法IV〕

開講単位：2 単位 担当者：伊藤 文夫

◆**学修到達目標** 債権発生原因を規定するいわゆる債権各論は、約定債権としての売買など13種類の典型契約を規定し、法定債権として不当利得・事務管理・不法行為を規定する。いずれも日常生活に密着するところであるが、今回は自動車事故、医療事故、製造物事故等、いつ被害者・加害者になりかねない不法行為に焦点を合わせ検討を加える。この領域はある意味で判例法が支配しているのでレジュメに判例を多用しつつ、不法行為の今日的到達点の理解を目標にしたい。

◆**授業方法** 講義方式によるが、議論がかなり緻密な展開を示すので、教科書及びスクーリングが始まってから配布されるレジュメの予習は不可欠である。

◆**準備学修** 上記のように、本講義にとって教科書。参考書・レジュメなどの予習は不可欠である。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	民法典における債権各論の守備範囲。債権とは何か。損害賠償請求権発生原因としての不法行為。 不法行為法への誘い。不法行為法の俯瞰図（成立要件、帰責類型、損害、損害賠償額の調整、免責事由、正当防衛・緊急避難、名誉毀損、時効・除斥期間）。一般不法行為（709条）。一般不法行為の成立要件（故意・過失・過失概念の変遷）、責任能力の位置づけ、違法性、権利・法益侵害類型、因果関係）。
2日目	他人の行為ないし危険物管理等についての責任①=使用者責任・責任無能力者と監督義務者の責任) 他人の行為ないし危険物管理等についての責任②=工作物設置瑕疵責任・動物占有者責任。複数校舎の加害行為と不法行為責任（共同不法行為・競合不法行為）。
3日目	名誉・プライバシー侵害と不法行為（表現の自由・原状回復・差止請求）。権利の消滅と権利存続期間と判例法の展開（消滅時効・除斥期間）。現代不法行為としての自動車人身事故民事責任と保険・補償システム（自動車損害賠償保障法の概要、判例法の概要）

◆**教科書** 丸沼『債権各論講義（改訂版）』 山川一陽 立花書房 3,394円（税込）（送料350円）

◆**参考書** 丸沼『不法行為法』 窪田克見 有斐閣 3,672円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 筆記試験による。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆地域と市民の視点で読み解く国際政治

〔国際政治学〕

開講単位：2 単位 担当者：大八木 時広

◆学修到達目標 この授業ではヨーロッパやアジアといった地域の視点、あるいは市民の行動（具体的には NGO の活動）の視点から国際政治を理解することを目指す。とくにヨーロッパについては統合、アジアについては民主化や地域協力といった視点を取り上げる。

◆授業方法 基本的には講義主体であるが、対話形式も試みる予定。また授業の理解度をみるため、小テストを行う予定。

◆準備学修 事前に教科書を読んで概略を予習しておくことが望ましい。また予習の際には、大きな流れを理解すること、そしてヨーロッパやアジアについて基本的知識を予習しておくことが重要である。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	ヨーロッパ統合の展開が主題。統合史を振り返りながら、経済統合の開始と展開、防衛統合の試み、EU の成立、現代の統合の動向を取り上げる。
2日目	アジアについて、民主化がどのように展開されてきたのか、どのようなアジアの地域協力が試みられているかが主題。具体的にはアジア民主化のパターン、ASEANなどの地域機構、APECのような地域協力会議などを取り上げる。
3日目	国境を越えた市民活動と国際政治の関係が主題。具体的には環境、人権、開発援助、難民問題などの分野で NGO がどのように関わり、国際政治に影響を及ぼしているのかを取り上げる。

◆教科書 通材『国際政治論／国際政治学／国際政治学概論 0223／0224／0225』通信教育教材（教材コード 000501）2,850円（送料込）※平成26年度新教材
〈この教材は市販の『国際関係論』佐渡友哲・信夫隆司著（弘文堂）と同一です〉

◆参考書 特になし。

◆成績評価基準 試験 80%（最終日に実施）、平常点 20%（小テストを含む）

◆授業相談（連絡先）：

◆英語の音声現象の基礎理解

〔英語音声学〕

開講単位：2 単位 担当者：森 晴代

◆学修到達目標 1. 日本語との違いを意識し、英語の発音の特徴及び発音記号を理解する。
2. 英語のプロソディの学びを通して、英語らしい発音を目指す。

◆授業方法 英語音声学の観点から音声変化、強勢、リズム、イントネーションの説明を行い、項目ごとに小テストを課して習熟度を確認します。テクストには専門用語が数多く出てくるので、前もって読んでおいてください。必要に応じてプリントを配布し補足説明します。クラス全体の人数を見ながら8名から10名のグループを作り、発音練習の取り組みやプリント作成など協力しながら進めています。全員参加型の授業を目指します。

◆準備学修 たった三日間で一つの学問を習得することは至難の技です。授業は必然的に内容が詰め込まれ、プリントの枚数や発音練習が多くなります。英語の母音、子音については理解している前提で授業を進めるので、まだ勉強していない方は事前に学習しておいてください。授業には必ず辞典を持参してください。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	コミュニケーションにおける音声、発声器官の名称説明、母音・子音の若干の説明 英語の音節（音韻論的内容を含む）、強勢（語強勢、句強勢、文強勢）、プリント配布及び解答 小テスト
2日目	強勢（語強勢、句強勢、文強勢）復習 英語のリズムと日本語のリズムの説明、プリント配布及び解答 英語の音声変化：脱落、連結、同化（発音練習、リスニング演習）、プリント配布及び解答 小テスト
3日目	イントネーションの説明（発音練習、リスニング演習） 文章音読 小テスト 試験

◆教科書 丸沼『A Way to Better English Pronunciation- 英語の発音、リスニング、スピーキングへの近道』
池田紅玉、森晴代著 英潮社フェニックス 2009年 2,376円（税別）（送料215円）

◆参考書 丸沼『英語の音声を科学する』大修館書店 新装版CD付 川越いつえ著 2,592円（税別）（送料300円）
*授業では使用しません

◆成績評価基準 平常点（20%）、小テスト（20%）、試験（60%）

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆言語の仕組みと言語獲得

〔英語学演習 B〕

開講単位：1 単位 担当者：田中 竹史

◆**学修到達目標** ヒトは誰でも母語を獲得する事ができますが、その獲得は特別な勉強をしなくても子供の頃にいつの間にか当たり前のようなになされてしまいます。これは、例えば計算の仕方や交通規則を身に付けるためには勉強しなければならないという事とは対照的です。また、通常大人が外国語を身に付けるのには意識的な努力が必要であるという事とも対照的です。

それでは、なぜ子供は勉強しなくても母語を身に付けられるのでしょうか。なぜ大人は勉強しないと外国語を身に付けられないのでしょうか。そもそもヒトは一体どのような仕組みにより言語を身に付いているのでしょうか。本講座では、母語話者の言語知識、母語獲得の過程、言語障害などに触れながら言語獲得の問題について考え、言語獲得に関する知識と英語学の方法論を学ぶ事を目標とします。

◆**授業方法** まず、ヒトの言語に関する基礎的知識を確認します。その後、テキストに沿った演習形式（受講者による担当部分の内容説明・質疑応答の後に教員による補足説明）で授業を進めます。

◆**準備学修** 短期集中講座ですから、単位取得のためには十分な準備（英語学の基礎事項・用語確認、本文和訳・内容把握）が求められます。必ず予習を行い授業に臨むよう努めて下さい。

ヒトの言語がどのような性質を持つのかという一般的な知識に関しては、参考書に挙げてある大津（2004, 2008）が役立ちます。

◆**授業計画** (1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分)

1日目	初回ガイダンス 基礎知識確認
2日目	8 Phrase Structure 9 Phrase Structure Rules and X'-Theory
3日目	10 Setting X'-Parameters

◆**教科書** 事前資料送付 『An Introduction to Linguistic Theory and Language Acquisition.』 Crain & Lillo-Martin (1999), Blackwell. (事前にプリント配布)

◆**参考書** 丸沼『探検！ことばの世界』 大津由紀雄 (2004) ひつじ書房 1,728円(税込)(送料300円)

丸沼『ことばに魅せられて 対話編』 大津由紀雄 (2008) ひつじ書房 1,728円(税込)(送料300円)

丸沼『ファンダメンタル英語学 改訂版』 中島平三 ひつじ書房 1,512円(税込)(送料300円)

通常『英語学概説 0085』 通信教育教材(教材コード000400) 3,050円(送料込)

〈この教材は市販の『英語学入門』安藤貞雄(開拓社)と同一です〉

などの英語学の入門書

◆**成績評価基準** 授業への取り組み(発表等)とスクーリング後提出のレポートにより総合的に評価します。

◆**授業相談(連絡先) :**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆生命・脳・技術と倫理について考える

〔倫理学概論〕

開講単位：2 単位 担当者：江川 晃

◆学修到達目標 科学が進歩し様々なテクノロジーが私たちの生活に応用されている。このようなテクノロジーと人間社会との間に生じた摩擦が、新たな倫理的問題を引き起こしている。そこで、倫理学の基本的思想を端的に把握し、現代の応用倫理である生命倫理・再生医療・脳倫理の具体的問題について考える力をつける。

◆授業方法 毎回、皆さんの質問・感想・意見等を書いていただきます。次の授業で、それについてコメントし、討論をしましょう。

◆準備学修 配布プリントと教科書の該当箇所を、授業前によく読んでおいてください。皆さんの意見も時々聞いて、対話型の授業にしようと思います。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	1 ギリシャの倫理思想 3 カントの義務論	2 ベンサムの功利主義 4 リバタリアニズム
2日目	1 ヒトゲノムの倫理的問題 4 出生前診断と選択的中絶	2 人工授精とデザイナベビー 5 脳死・臓器移植 6 安楽死と緩和医療
3日目	1 ヒト・クローンは作ってよいか 4 脳に自由意思はあるか 7 試験	2 ES 細胞・iPS 細胞の倫理 5 技術倫理とは何か 6 資本主義に徳はあるか

◆教科書 丸沼『生命倫理について考える』 江川晃・嘉吉純夫・葭田光三著 文眞堂 2010年 1,782円（税込）
(送料300円)

[当日資料配布] そのほかに、プリントを配布します。

◆参考書 授業で紹介します。

◆成績評価基準 試験(50%), 受講状況(50%)

◆授業相談（連絡先）：

◆昭和戦前期の人物評論を読む

〔日本史演習〕

開講単位：1 単位 担当者：古川 隆久

◆学修到達目標 馬場恒吾『現代人物評論』(中央公論社 1930年)を読む。受講者数が30名を超える場合は馬場恒吾『国と人物』(高山書院 1941年)の前半も範囲とする。馬場恒吾(1875～1956)は国民新聞記をへて昭和前半期に活躍した政治評論家。『現代人物評論』前半は1920年代末に活躍していた政治家、ジャーナリスト、『国と人物』の前半は1930年代後半に活躍していた政治家の人物評論である。馬場の人物評論の読解(取り上げられている人物、文章中の人物、固有名詞、出来事について調査し、文章の意味を読み取る)を通じて、日本近現代史の歴史像や日本近現代史の研究方法を学ぶ。

◆授業方法 短期集中の演習のため、受講者にはあらかじめ報告分担部分及び準備(調査及び報告案の作成)方法の指示をするので、指示に従い準備の上、授業に臨んでもらう。授業では、各受講者の報告を聞いた上で質疑討論を行い、教員が補足説明するという形で進める。

◆準備学修 『現代人物評論』については事前に一通り目を通しておくこと。受講者名簿確定後、担当教員から分担と調査目標及び調査方法を指示するので、それに従って口頭発表の準備(レジュメ作成を含む)を行うこと。日本近現代史の予備知識に不安がある、あるいは再確認したい場合は、事前に北岡伸一『日本政治史』を読んでおくこと。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	『現代人物評論』冒頭の「浜口雄幸論」から「徳富蘇峰論」までの9編についての講読(報告、質疑討論、教員の補足説明)。受講者数によっては適宜範囲を調整する。
2日目	『現代人物評論』の「寺内・山本・清浦・田中」から「原・桂・清浦の解散振り」までの22編についての講読(報告、質疑討論、教員の補足説明)。受講者数によっては適宜範囲を調整する。
3日目	『現代人物評論』の「政友会の人々」から「江木翼論」(最後)までの9編についての講読(報告、質疑討論、教員の補足説明)。受講者によっては適宜範囲を調整したり、後半は『国と人物』の前半についての講読となる。

◆教科書 『現代人物評論』 馬場恒吾 中央公論社 1930年

受講者数が多い場合は馬場恒吾『国と人物』(高山書院 1941年)も。

※いずれも国立国会図書館近代デジタルライブラリーからダウンロード(無料)するか古書店で購入。

◆参考書 丸沼『日本政治史』 北岡伸一 有斐閣 2,052円(税込)(送料300円)

◆成績評価基準 報告50%, 質疑討論の参加度50%, 毎回出席を前提として評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆日本型福祉資本主義とブラック企業

〔社会政策論〕

開講単位：2 単位 担当者：今井 拓

◆**学修到達目標** 現代の資本制社会は、社会政策の目標・展開方向により、全く異なる4つの世界に分けることができます。自由主義（アメリカ型）、保守主義（ドイツ型）、社会民主主義（スウェーデン型）、企業主義（日本型）です。本講義は、福祉資本主義と言われる現代資本制社会の4つの類型の特徴を説明し、それらとの対比で日本型の特徴と課題を明らかにします。とりわけ、日本社会にブラック企業が発生した訳を追究し、社会政策の展開方向を探ります。

◆**授業方法** 各テーマについて1時間20分の講義を行います。受講者は、各講義の最後10分間で講義を受けて大事だと思った要点や質問・意見などのアクションペーパーを記述し、提出します。

◆**準備学修** 参考書『よくわかる社会政策』（第2版）、序、社会政策の考え方、III. 雇用・失業、IV. 労使関係、V. 高齢化社会、VI. 社会保障、VII. 男女平等を通読しておくこと。また参考書『福祉政治』、『ブラック企業』も通読することが望ましい。さらに、疑問や質問をまとめておくこと。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	1講　社会政策とは 3講　福祉資本主義の3つの世界 5講　論述課題	2講　資本主義とは 4講　脱商品化のふたつの概念と社会保障制度
2日目	6講　自由主義の福祉資本主義 8講　社会民主主義の福祉資本主義 10講　ブラック企業	7講　保守主義の福祉資本主義 9講　企業主義の福祉資本主義 11講　論述課題
3日目	12講　日本労働法制の特徴と課題 14講　社会政策の展開方向	13講　日本の労使関係の特徴と課題 15講　論述試験

◆**教科書** **当日資料配布** レジュメ・資料を配布する。レジュメ・資料は毎日持参し、参照できるようにすること。

◆**参考書** **丸沼**『福祉政治』有斐閣 宮本太郎 2008 1,620円（税込）（送料300円）
丸沼『ブラック企業』文藝春秋社 今野晴貴 2012 831円（税込）（送料215円）
丸沼『よくわかる社会政策』第2版ミネルヴァ書房 石畠良太郎・牧野富夫編著 2014 2,808円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** ① 論述試験 ② 小レポート ③ アクションペーパーの内容の総合

◆**授業相談（連絡先）：**

◆教育思想のルーツを知ろう

〔教育原論／教育の思想〕

開講単位：2 単位 担当者：北野 秋男

◆**学修到達目標** 現代の教育問題を考える上で、教育思想の歴史的展開を学ぶことは重要である。教育の様々な問題を思想的に学びながら「教育とは何か」を自覚的に問いたいと考える。特に、教育の目的論（人間の内面形成）と教授学思想（一斉教授と個別教授）の展開を中心としながら、国民教育論、新教育理論、脱学校論なども取り上げる予定である。

◆**授業方法** テキストの主要課題について理解を深めながら、教育思想を理解したい。討論も行う。その他には、「ビデオ」も鑑賞し、学力問題、フリー・スクールなどの現代的な問題にも理解を深めることとする。授業内で簡単なレポートの作成も行う。最後には、学習内容に関する最終試験を行う。

◆**準備学修** テキストを丁寧に読むこと。その際に、各章のポイントが何であるかを理解しておくこと。前半の教育目的論の歴史的展開に関しては、人間の内面形成に留意すること。後半の、教授理論の歴史的展開に関しては、一斉教授と個別教授に留意すること。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	ガイダンス、全体の授業構成 教育目的論の原理と歴史的展開（ロック、ルソー、ペスタロッチ、ヘルバート） *討論「教育の人格形成について」（予定）
2日目	教育目的論の歴史的展開（デューイ、ニイル）ビデオ鑑賞（感想文） 教授理論の原理と歴史的展開（コメニウス、ペスタロッチ）
3日目	教授理論の歴史的展開（ペスタロッチ、ヘルバート、デューイ） 課題の提出、現代思想の展開（アリエス、イリイチ）最終試験

◆**教科書** **教材**『教育原論 0901／教育の思想 0904』 通信教育教材（教材コード000199）1,250円（送料込）

◆**参考書** **丸沼**『日米のテスト戦略』 北野秋男 風間書房 2,160円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 平常点（20%）、授業内の課題（30%）、最終試験（50%）。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆国語教育におけるイノベーション

〔国語科教育法Ⅳ〕

開講単位：2 単位 担当者：品川 利幸

◆学修到達目標 「国語教育におけるイノベーション」をテーマに、関係法規を照合しつつ『国語科教育法Ⅳ』などに説かれる内容を、具体的に『国語総合』の教科書の上に確かめ、それらがどのように反映されているかを捉え、国語教育の現場で求められる教授法を考察する。初日の理論を基に2日目から模擬授業を取り入れ、具体的な展開例から指導法の適否について議論を重ね考察を加える。学習指導の実際をもとにした具体的な内容にどのような新基軸が加えられるか、現代文・古文・漢文の各分野を通じて検証したい。

◆授業方法 理論面として「国語教育関係法規」などから教育課程の意義と編成の方法について把握する。併せて学習計画、学習指導案の作成法などについて考察する。『国語総合』に於ける各ジャンルの指導を現場に即応した内容を基軸に、国語科指導の核となる、話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの事柄を確認していきたい。具体的には、現代文・古文・漢文の模擬授業を演習形式で行い、その展開例から議論を重ね、あるべき授業の形について考察する。

◆準備学修 事前課題として『国語総合』282～283頁「借虎威」を2時間で配当する前提で、本時を第1時間目とする学習指導案を作成し、スクーリング初日に提出しなさい。また、『国語総合』から初日に提示する6教材について、割り当てられた教材の展開例を考え、各回毎の学習指導案の作成など模擬授業に対応して欲しい。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	(1) ガイダンス・国語科教育の目標 (2) 教育課程の意義と編成の方法 (3) 学習計画・年間計画の立案 (4) 学習指導案の作成 (5) 漢文授業の展開例 (ビデオ視聴)
2日目	(1) 現代文小説教材 井上ひさし『ナイン』の展開 (2) 古文教材 枕草子「雪のいと高う降りたるを」 (3) 漢文教材 故事より「塞翁馬」(4) 現代文評論教材 森本哲郎「やっぱり」の展開 (5) PISA 対応の国語教育について (6) 事前課題「借虎威」指導案の検討
3日目	(1) 古文教材 平家物語より「祇園精舎」(2) 漢文教材 漢詩から「江雪」、「涼州詞」 (3) 文語文法と訓点・訓読、句型の指導について (4) 教材開発をめぐって (ビデオ視聴) (5) まとめテスト (60分)

◆教科書 通材『国語科教育法Ⅳ 0956』 通信教育教材 (教材コード 000446) 3,800円 (送料込)

〈この教材は市販の『国語科の教材・授業開発論』町田守弘(東洋館出版社)と同一です〉

丸沼『国語総合』 高校1年教科書 教育出版 17教出 国総309 808円 (税込) (送料300円)

◆参考書 国語・古語・漢和の各辞書はもとより、任意に、国語科基本用語辞典を備えたい。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提に、受講状況(30%)、提出物(20%)、試験(50%)により総合的に評価します。

◆授業相談(連絡先)：

◆英語で行う授業の完成

〔英語科教育法Ⅲ〕

開講単位：2 単位 担当者：岡田 善明

◆学修到達目標 改訂新学習指導要領では基本的に英語で授業をおこなうことを明確化している。本講座は、岡田善明著「英語教育の精神と実践」(春風社)とパーマーの古典的論文を読み、オーラル・メソッドで授業を行うための方法を習得する。また教員採用試験の傾向も踏まえて学習する。

◆授業方法 英語による授業を行うためのパーマーの英語論文 (*The Problem of English-teaching in The Light of a New Theory*) を読み、それに基づいて内容を英語により討論することで教育技術を養いながら、オーラルメソッドでの英語による授業の実践能力を養成する。更に模擬授業を通して実践的な指導力を身につける。授業は原則的に英語で行う。

◆準備学修 事前に教科書を購入し、ワークシートにより授業で行うページを必ず予習し、授業での討論に備える(ワークシートは事前に郵送します)。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	オリエンテーション(『英語教育の精神と実践』) 討論1 (Introduction, Speech and language, Primary speech and secondary speech) 討論2 (The six primary speech habits, How to acquire the primary speech habits)
2日目	討論3 (The secondary speech circuits, How to acquire the six writing-reading habits) 討論4 (Speech habits No.13,14,15, Speech Language Exercise) 討論5 (Designing of the course, consideration 1～8) 討論6 (The multiple line of approach 1～7, Classroom Procedure) ビデオによる授業研究(担当者の高校での授業)、模擬授業準備
3日目	模擬授業 試験

◆教科書 丸沼『英語教育の精神と実践』 岡田善明著 春風社 1,944円(税込)(送料300円)

◆参考書 特に指定しない。

◆成績評価基準 試験と発表等で総合的に評価

◆授業相談(連絡先)：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆運動・スポーツに親しむ

【体育実技 A】

開講単位：1 単位 担当者：吉本 俊明

◆学修到達目標 高齢社会を迎えるにあたり、健康・体力の維持増進の必要性は益々重要になってきています。この授業では、運動・スポーツの実践を通して、その楽しさ、重要性を認識し、生活習慣にまで発展させることをねらいとしています。

◆授業方法 天候に左右されない体育館での授業とし、小グループでいろいろなスポーツ（卓球やバドミントンなどのネット型競技を中心）を体験しますが、年齢相応、体力相応の参加の仕方を理解してもらうようにします。また、体力測定を通して体力の現状を自覚し、維持増進についての認識を高めてもらうようにします。

◆準備学修 1日 20分以上の連続歩行と、軽い柔軟運動の実施を心がけてきてください。

◆授業計画 [1・3日目：各 210 分, 2・4日目：各 480 分]

1日目	ガイダンス、グループ分け、準備運動、体力測定 体力測定結果の活用方法について解説
2日目	班別スポーツ種目の展開（1） 班別スポーツ種目の展開（2）
3日目	班別スポーツ種目の展開（3）
4日目	班別スポーツ種目の展開（4） 班別対抗ソフトバレーボール大会

◆教科書 特になし。

◆参考書 特になし。

◆成績評価基準 授業への取り組み及び自己の体力に合った運動への理解によって総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京
第3期

日 程	授 業 時 間		備 考
11月22日 土	9:30～18:30		※時間内に昼休みを設けます。
11月23日 日	9:00～18:30		
11月24日 月	9:00～16:00 <試験も含む>		

※以下の第3期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制 限・注 意				
			科 目 コード	科 目 名		配当 学年	カリ キュ ラム	受 講 条 件		
C1	心 理 学	陶山 智	0035	心 理 学		1年				
C2	英 語 C	山本 由布子	0041	英 語 I		1年	· I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
			0042	英 語 II						
			0043	英 語 III		2年				
			0044	英 語 IV						
C3	中 国 語 III・IV	泉 朝子	0063	中 国 語 III		2年	· III・IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
			0064	中 国 語 IV						
C4	西 洋 古 典	堤 裕美子	0087	西 洋 古 典	×	2年				
C5	民 法 II	山川 一陽	0132	民 法 II		2年				
C6	国 語 学 概 論	鈴木 浩	0351	国 語 学 概 論		条件 参 照	· 国文学専攻のみ1学年以上申込可 · その他は2学年以上申込可			
C7	イギリス文学史 I	大住 有里子	0411	イ ギ リ ス 文 学 史 I						
C8	英 米 事 情 I	茂木 健幸	0476	英 米 事 情 I	×	2年	· 英文学専攻のみ1学年以上申込可 · スクーリング1回の合格で単位完成する科目です			
C9	哲 学 演 習	宮原 琢磨	0581	哲 学 演 習 I	×	3年				
			0582	哲 学 演 習 II		· 哲学専攻のみ申込可 · I・IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。				
CA	日 本 史 特 講 I	金山 泰志	0661	日 本 史 特 講 I		2年				
CB	経 済 原 論	片平 光昭	0711	経 済 原 論		条件 参 照	· 経済学部のみ1学年以上申込可 · 文理・商学部は2学年以上申込可			
			0712	経 済 学 原 論						
CC	租 税 論	大淵 三洋	0744	租 税 論		2年				
CD	証 券 市 場 論	佐藤 猛	0829	証 券 市 場 論		2年				
CE	人 文 地 理 学 概 論	小倉 真	0975	人 文 地 理 学 概 論		2年	· 法学部・史学専攻・経済学部のみ申込可			

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆心理学の見方・考え方

〔心理学〕

開講単位：2 単位 担当者：陶山 智

◆**学修到達目標** 心理学は、人間のこころの動きを科学的に研究する学問である。この講義では、次の二つを主なねらいとして掲げる。1. 心理学は、時々の時代思潮からの影響を受けながら分化、発展してきた。そこで心理学の歴史をたどることにより、現代の心理学をよりよく理解する。2. 四つの領域（感覚と知覚、学習、記憶、思考）を取り上げ、現代の心理学を理解するにあたって基礎となる知識を獲得し、心理学的な見方・考え方を身につける。

◆**授業方法** 専ら講義の形式を取るが、おりおり簡単な実験やデモンストレーションを交えて説明し、体験を通した理解を目指したい。また、図や表を多く含んだプリントを適宜配布する。授業計画にある 1～14 の数字は、取り扱う内容の順番程度と理解してほしい。

◆**準備学修** 「提示された理論やデータについてともに思考する」という態度を大切にしてほしい。心理学の入門書を読み、事前に専門用語に触れておくことが望ましい。

◆**授業計画** [1日目：480 分, 2日目：510 分, 3日目：360 分]

1 日目	1. 心理学とは何か—導入と俯瞰 2. 心理学の方法 3. 連合主義 4. 感覚・知覚（1）—知覚系の外的適応性ほか 5. 感覚・知覚（2）—精神物理学
2 日目	6. 心理学の独立 7. 構成心理学と機能心理学 8. 比較心理学 9. 学習 10. 行動主義とは？
3 日目	11. ゲシュタルト心理学とは？ 12. 記憶 13. 認知心理学とは？ 14. 思考

◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 当日プリントを配布する。

◆**参考書** 授業の中で紹介する。

◆**成績評価基準** 平常点、最終試験により総合的に評価する。授業の内容は連続的なところがあるので、欠席をしないよう注意してください。

◆**授業相談（連絡先）：**

◆ DVD で学ぶ基礎英語

〔英語 C〕

開講単位：1 単位 担当者：山本 由布子

◆**学修到達目標** 英語のリスニングの能力を向上させることができます。疑問文に対し、語→語句→文のレベルで応答ができるようになります。使用頻度の高い語彙や表現を、用例を通じて学び、使いこなせるようになります。一部の英語圏の文化、地理、風土を学び、そこで暮らす人物（若者）の普段の生活・将来のビジョンなどを知ることができます。

◆**授業方法** テキストの各課の構成は、1課目に対象となる地域（国や都市）の概要を知る Introduction があり、2課目にそこに住む人物（若者）が生活などについて語る Documentary が続きます。授業は、各課の映像・音声が収録されている DVD を使用しながら進めます。テキストの設問は、語句の確認・内容理解・文法・音読などがあり、テキストに従って進めています。必要に応じてペアプラクティスやプレゼンテーションも行います。テキストのレベルは初級～中級です。

◆**準備学修** 予習はテキストに付属する DVD を使用して行って下さい。予習範囲は Unit1～Unit6 です。各 Unit に載っている I～VII の設問のうち、II, III, V の解答を出して来て下さい。授業は以下の計画のもとでテキストの前半を扱う予定ですが、進度によっては7課全てを扱うことができない場合があります。

◆**授業計画** [1日目：480 分, 2日目：510 分, 3日目：360 分]

1 日目	ガイダンス Unit1 Los Angeles Introduction Unit2 Los Angeles Documentary
2 日目	Unit3 Scotland Introduction Unit4 Scotland Documentary Unit5 Canada Introduction
3 日目	Unit6 Canada Documentary Unit7 Review Section I 試験

◆**教科書** 丸沼『World Wide English on DVD』 森田彰他著 成美堂 2,592 円（税別）（送料 300 円）

◆**参考書** 英和辞書（電子辞書も可）

◆**成績評価基準** 平常点 60%（発表、小テスト、授業内での積極性）と試験 40% で総合的に評価します。但し、全ての授業に出席することを前提といたします。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆主体的に学んで自然と身につける中国語

[中国語Ⅲ・Ⅳ]

開講単位：1単位 担当者：泉 朝子

◆学修到達目標 グループワークや発表を通して、つかえる中国語を自然と身につけられるようにします。各自各日1種類の課題文を暗記し、最後に発表してもらいます。また、対面式授業の利点を活かして、発音練習にも力を入れていきます。暗記はもっとも効率のよい語学習得方法ですから、主体的に楽しく学んでいくなかで、一生忘れない単語やフレーズを手にいれてほしいと思います。

◆授業方法 午前中は座学で文法を学び、午後は前半と後半に分けて、発表にむけた演習に取り込んでいただきます。前半はグループ単位で課題文の読解を行い、後半はペアで課題文暗記、発音練習を行います。前半終了時に中間発表、後半終了時に最終発表を行います。宿題や試験は課さず、発表で評価しますので、授業の時間を徹底的に利用して文法理解、発音練習、課題文の暗記に集中して務めてください。

◆準備学修 発音の基礎をひと通り学び終わっていることを前提として授業を進めます。母音・子音の発音がすべてできることが必須条件です。ただし発音の上手下手は問いません。それは授業を通じて磨いていきましょう。なお、「中国語Ⅰ・Ⅱ」を履修していることが望ましいですが、Ⅱは履修中でもかまいません。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	旅行でつかえる中国語 午前 ガイダンス。文法理解。 午後前半 午前中に学習した内容をふまえて、グループで課題文を読解する。中間発表。 午後後半 ペアで課題文を暗記する。発音練習を行う。最終発表。
2日目	くらしでつかえる中国語 午前 文法理解。 午後前半 午前中に学習した内容をふまえて、グループで課題文を読解する。中間発表。 午後後半 ペアで課題文を暗記する。発音練習を行う。最終発表。
3日目	ビジネスでつかえる中国語 午前 文法理解。 午後前半 午前中に学習した内容をふまえて、グループで課題文を読解する。中間発表。 午後後半 ペアで課題文を暗記する。発音練習を行う。最終発表。

◆教科書 [当日資料配布] 当日教室でプリントを配布します。

◆参考書 当日教室で適宜紹介します。

◆成績評価基準 発表(90点) 平常点(10点)

発表で評価しますので、授業内の練習に集中して取り込んでください。

◆授業相談(連絡先) :

◆英文学を彩る「ギリシャ神話」との出会い

[西洋古典]

開講単位：2単位 担当者：堤 裕美子

◆学修到達目標 英文学理解に欠かせない「ギリシャ・ローマ神話」を学習します。神話を読み、古代ギリシャ人の世界観や文化の一端への理解を深めることができます。実際、ギリシャ神話に魅了され影響を受けた作家の作品にも触れ、その面白さを味わうことができるようになります。

◆授業方法 ギリシャ・ローマ神話の概要（なぜこのように呼ばれるのかという基本的な知識など）を学習し、テキストからいくつかの神話を英文で読みます。講義中心の授業ですが、英文は2日目と3日目で、受講者の皆さんにも和訳をして頂く予定ですので予習をして下さい。

◆準備学修 授業計画を見て、学習範囲の予習をして下さい。また、ネットや文学全集等で、学習範囲のギリシャ神話のあらすじを把握しておくと、難解な英文を理解する助けになると思います。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	午前 1時限目：授業の進め方についてのガイダンス、ギリシャ・ローマ神話概説講義（テキスト Chapter I と II より） 2時限目：Chapter III "Apollo and Daphne" 午後 3時限目：Chapter III "Apollo and Daphne" 4時限目：Chapter IV "Juno and her Rivals: Io and Callisto" 5時限目：Chapter IV "Juno and her Rivals: Io and Callisto"
2日目	午前 1時限目：Chapter V "Midas" 2時限目：Chapter V "Midas" 午後 3時限目：Chapter VI "Cupid and Psyche" 4時限目：Chapter VI "Cupid and Psyche" 5時限目：Chapter VI "Cupid and Psyche"
3日目	午後 1時限目：Chapter VII "Echo and Narcissus" 2時限目：Chapter VII "Echo and Narcissus" 午後 3時限目：Chapter VII "Echo and Narcissus" 4時限目：ギリシャ神話と英文学作品について講義 5時限目：単位認定試験

◆教科書 丸沼『The Age of Fable (『ギリシャ・ローマの神話』)』 開文社 1,296円(税込)(送料215円)

◆参考書 [当日資料配布] 当日プリントを配布します。

◆成績評価基準 平常点(小テスト、授業内の発表、ミニレポート)50%、筆記試験50%の総合評価

◆授業相談(連絡先) :

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆融資の確実な回収手段としての担保物権制度 〔民法Ⅱ〕

開講単位：2 単位 担当者：山川 一陽

◆**学修到達目標** ここでは物権法のうちの担保物件法について学ぶ。資本主義社会において金融の便宜を受けることの重要性は説くまでもないが、その回収の手段となる担保物権、とりわけ抵当権制度の重要性も説くまでもなかろう。今回はこの抵当権という制度を中心として講義をし、その他最近に発展したいわゆる変形担保制度についても講義する。なるべく理解しやすい講義を行いたい。

◆**授業方法** 抵当権を中心とする内容を講義方式で行う。もちろん、抵当権のみならず他の担保物件についても言及する。とりわけ最近にあって活用されている譲渡担保や所有権保留、仮登記担保制度などにも触れたい。

*過去に山川の民法Ⅱ（担保物権法）を修得した学生は内容が重複するため受講できない。平成26年度東京スクーリング（春期）第1期の民法Ⅱ（通常物権法）と積み重ね可能。

◆**準備学修** 1回でもいいですから、教科書について一通り目を通しておいてください。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	担保物権とは何か 担保物権の種類と性格	担保物権に共通する性格 機能としての担保物権	留置権制度について
2日目	抵当権の意義 抵当権の対象	抵当権侵害 抵当権の効力の及ぶ範囲	抵当権と用益権
3日目	変形担保の諸問題 譲渡担保の発生	不動産譲渡担保と動産譲渡担保 譲渡担保の意義と機能	その他の変形担保制度

◆**教科書** 丸沼『担保物権法〔第3版〕』 山川一陽著 弘文堂出版 3,348円（税込）（送料350円）

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 試験結果と平常点で評価する。

◆**授業相談（連絡先）：**

◆現代日本語を観察対象として捉えなおす 〔国語学概論〕

開講単位：2 単位 担当者：鈴木 浩

◆**学修到達目標** 生まれたときからことばはある。私たちは、ことばにつつまれて生活している。この、ことば（現代日本語）に対して、立場を変えて、客観的に把握することのできる基礎認識をつくろう。そして全体的理解をもったうえで部分的知識をそのなかに位置づけられるようになろう。

◆**授業方法** 講義形式。ただし、学習者の主体的なかかわりを要求するので、演習的側面をもつ。具体的には、発問を頻繁におこない、それに対して自発的に挙手して回答・発言することを求め、双方向のやりとりをしながら授業を進行する。グループを形成して討議することも人数や進行状況に応じて取り入れる。

◆**準備学修** (1) 指定する学術論文について、その論旨を批判的に読みとった結果をまとめたものを授業1日目に提出する。記載のしかたを説明した文書を履修生あて二週間前には送付するので、それに則って行うこと。
(2) その日の授業内容に関して理解を確認する質問文を作成し、2日目・3日目に提出する。
※ (2) については授業1日目に詳しく説明する。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	・言語研究の諸領域 (付) 音声と表記——ことばはどんな側面に分析されるか—— ・語彙論 (1) 語義のありかた——多義性・類義性—— (2) 語構成——単語はどのようにかたちづくられるか——
2日目	・文字論 (1) 語種と用字 (表記論) (2) 文字の役割——表音機能・表語機能—— (3) 漢字使用と訓の存在 (4) 造語成分としての日本語の漢字
3日目	・国語国字問題 (1) 語彙と表記 (2) 表音主義の主張 (3) 漢字教育のありかた

◆**教科書** [当日資料配布] 当日、プリントを配布する。

◆**参考書** 適宜紹介する。

◆**成績評価基準** 試験35%、準備学習45%（1日目25%, 2日目・3日目 各10%）、参加行動20%。参加行動20%は、発言・質問など、授業内で受講生が自発的に行なった学習行動に対して認めるものである。出席点ではないから、出席して受け身の態度でいる場合、この20%は得点できない。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英国の起源から Shakespeare まで

〔イギリス文学史 I〕

開講単位：2 単位 担当者：大住 有里子

◆学修到達目標 英文学の歴史的流れを、その初期から Shakespeare に至るまで、社会的、政治的背景を視野に入れて、主要な作家、作品のいくつかを学ぶことによって、身に着けることを目標とします。

◆授業方法 テキスト 1 章から 3 章まで本文に沿って、イギリス文学史を追っていきます。テキストはすべて扱うのではなく、要所を外さないようにしながら、場所によっては端折り、扱う部分では更に説明を加えて理解を深めたいと思います。授業計画の通りにはいかないこともあるかもしれません、Shakespeare の anthology 内の作品を味わうところまで進めます。

◆準備学修 事前にテキスト 1 章から 3 章まで何度も何度も読まれるといいでしょう。テキスト後半に anthology があり、Chaucer と Shakespeare の作品が取り上げられています。文学史を進め、Chaucer, Shakespeare のところで、anthology の作品を、全てとはいきませんが、味わいたいと思います。テキストの註を参考に自分なりに読んでおくと良いです。

◆授業計画 [1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分]

1 日目	英國の建国の起源について、Alfred the Great について、Anglo Saxon の渡英と英文学最初の文学作品とされる叙事詩 Beowulf について、キリスト教の伝来と英詩に与えた影響について、1066 年 Norman Conquest による政治制度の確立と Romance の導入について、宗教文学について。
2 日目	Canterbury Tales を中心に Geoffrey Chaucer について、英國の Renaissance 期の歴史的背景、Sir Thomas More を中心に人文主義思想について、sonnet の創成と English Form の完成に至る歴史について、Edmund Spenser について、英國劇の起源とその発達について。
3 日目	University Wits そして Shakespeare について 試験

◆教科書 通材『イギリス文学史 I 0411』 通信教育教材（教材コード 000111） 2,300 円（送料込）

◆参考書 特に指定しません。授業で適宜紹介します。敢えて一つ挙げるなら、

丸沼『イギリス文学史入門』 川崎寿彦 研究社出版 2,484 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準 授業への積極性と試験により総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆アメリカ多文化主義を読む

〔英米事情 I〕

開講単位：2 単位 担当者：茂木 健幸

◆学修到達目標 現代アメリカ文化の特徴の一つに、多文化・多民族主義があります。本授業では、短編小説を読むことにより、その多文化・多民族主義を体験することを目標としています。ギリシア系アメリカ人である Harry Mark Petrakis、アフリカ系アメリカ人である Langston Hughes、中国系アメリカ人である Amy Tan、ネイティブアメリカンである Leslie Marmon Silko という民族的にさまざまな出自を持つ 4 人の小説を読み、内容について考えていきたいと思います。

◆授業方法 それぞれ 4 つの小説について、作家のバックグラウンドなどの説明をし、分かり難いところ、重要なところを中心に詳しく読みます。時間次第ですが、内容についてディスカッションなどもしたいと考えています

◆準備学修 短期の授業ですので、教科書に収められている小説を読んでくることが求められます。

◆授業計画 [1 日目：480 分、2 日目：510 分、3 日目：360 分]

1 日目	THE WOOING OF ARIADNE RED-HEADED BABY
2 日目	RED-HEADED BABY TWO KINDS
3 日目	YELLOW WOMAN 試験

◆教科書 丸沼『アメリカ多文化社会短編集—四つのエスニックな体験—』 英宝社 1,620 円（税込）（送料 215 円）

◆参考書 特に指定しない。

◆成績評価基準 試験 60% 平常点 40%

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ヨーロッパ近代精神史－オネット・オムの思想の系譜的研究【哲学演習】

開講単位：1 単位 担当者：宮原 琢磨

◆学修到達目標 ヨーロッパ近代精神史－オネット・オム（honnête homme）の思想の系譜－オネット・オムとは、ルネサンス（人間の発見）の時代のフランスにおいて成立し、展開したユマニズム（人間主義）の基本概念のひとつである。本演習は、16世紀のモンテニュ、17世紀のパスカルとアルノー、そして18世紀のルソーのテクストからオネット・オムの思想を読み解き、「人間とは何か」という哲学の根本の問題の理解を深めることを目標とする。

◆授業方法 モンテニュの『エセー (Essais)』とパスカルの『パンセ (Pansees)』とアルノーの『論理学、別名思考の技法 (La logique, ou l'art de penser)』、そしてルソーの『エミール (Emile)』との本テーマに関わる章節を読解しながら質疑応答を通じて、その思想的理解を深める。

◆準備学修 上記の4つのテクストについて、予め目を通して授業に臨むのが良い。授業で使用するテクストの抜粋は、授業前に配布する。なおテクストは訳本を使用する。

◆授業計画（1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分）

1日目	－モンテニュとオネット・オムの思想－ I. 講義。ルネサンスとは何か、ルネサンス期の社会状況、モンテニュの生涯、『エセー』の成立とその内容について、『エセー』の特質など。 II. テクスト読解と質疑応答。特に、第1巻第1章、第4章、第8章、第20章、第25章、第26章、その他。 III. モンテニュとオネット・オムの思想。討論。
2日目	－パスカルとアルノー－ I. 講義。17世紀（科学革命の世紀）の社会状況、デカルト哲学の成立、パスカルの生涯、パスカルとアルノーとの出会い、ポール・ロワイアル修道院の活動など。 II. テクスト『パンセ』『論理学、別名思考の技法』の読解と質疑応答。 III. パスカルとアルノーにおけるオネット・オムの思想について、討論。
3日目	－ルソーと18世紀（啓蒙思想の世紀）－ I. 講義。啓蒙主義の世紀の社会状況（科学の発達と産業革命、市民革命について）、ルソーの生涯、ルソーの思想的意義など。 II. 『エミール』の読解と質疑応答。 III. ルソーの人間観について、討論。 IV. 本演習の総括と反省。

◆教科書 通材『哲学基礎講読 0091』 通信教育教材（教材コード 000042）3,650円（送料込）

『エセー』『パンセ』『エミール』を出版社（中公バックス、中公クラシックス等）を問わず用意してください。

◆参考書 授業中に各々指示する。

◆成績評価基準 平常点、小レポートなどの総合評価。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆明治期の娯楽メディアから民衆の中国觀を見る [日本史特講 I]

開講単位：2 単位 担当者：金山 泰志

◆学修到達目標 現在の日本人の中国觀は、世論調査などで確認することができるが、明治期における民衆の中国觀はどうであったのか。明治期の娯楽メディア（講談・演劇）を史料に、当時の時代性を肌身に感じながら、明治期日本における民衆の中国觀を見していく。最終的に、現在の中国觀との連續性を理解することを目的とする。

◆授業方法 配布プリントを用いた講義形式をとる。また、明治という時代を視覚を通じて理解して貰えるように、視聴覚資料（DVD）なども利用する。また、授業の序盤に簡単な中国觀アンケートを取る予定である。

◆準備学修 明治期における重要な歴史的事件（「日清戦争」「北清事変」「日露戦争」など）に関する最低限の知識は、高校の教科書や概説書などをを利用して学んでおくこと。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	①「中国觀概説」…中国という語句の定義や歴史学としての中国觀研究の状況、メディアを使って中国觀を見ていくことの意義を学ぶ。②「現代の中国觀との関係（1）」…明治期の中国觀を見る前に、その比較対象ともなる現代の中国觀を学ぶ。※アンケート調査あり ③「明治史概説」…明治という時代を様々史料から学ぶ。※ DVD 視聴あり
2日目	①「現代の中国觀との関係（2）」…前日のアンケート結果などを踏まえた『現在』の中国觀について知る。②「明治期の講談から見る日本の中国觀」…明治期の講談で語られた中国関係演目から、当時の中国觀の反映を見る。当時の新聞の娯楽欄や講談速記本などを史料に、当時の講談における中国の語られ方、扱われ方を学ぶ。※ DVD 視聴あり
3日目	①「明治期の演劇から見る日本の中国觀」…明治期の演劇で上演された中国関係演劇から、当時の中国觀の反映を見る。新聞などに掲載された筋書きや演劇脚本などを史料に、当時の演劇における中国の扱われ方を学ぶ。

◆教科書 [当日資料配布] 当日にプリントを配布する。

◆参考書 授業中に適宜指示する（配布プリントに掲載する）。

◆成績評価基準 試験結果と受講状況を総合的に評価する。試験（70%）、受講状況・平常点（30%）。

◆授業相談（連絡先）：

◆家計と企業の行動および市場について [経済原論]

開講単位：2 単位 担当者：片平 光昭

◆学修到達目標 この講義では消費者（家計）と生産者（企業）のそれぞれの行動を詳しく考察し、その両者の行動によって市場ではどのように均衡価格や均衡取引量が決定されるかを理解します。この講義ではミクロ経済学の分析を中心に進めていきます。

◆授業方法 まずミクロ経済分析の分析方法の把握から始めます。この講義では多くのグラフや簡単な数式が用いられます、その使い方や意味をその都度簡単に説明します。また、これらの分析がわれわれの日常の生活にどのように関連しているかを現実に即して説明していきます。

◆準備学修 この講義は、経済学の基礎的知識を土台にしてミクロ経済分析を行います。そのため、この講義を受講する前に「経済学」あるいは「経済学概論」を受講しておく方が望ましいでしょう。また毎回の講義はその前回の講義を理解したものとして継続的に進められますので、欠席せずに必ず前回の講義内容を把握しておくことが重要です。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	ミクロ経済分析とは、効用理論、無差別曲線の性質と限界代替率、予算制約線、最適消費計画 所得の変化と消費者需要（エンゲル曲線と需要の所得弾力性）、価格の変化と消費者需要、代替効果と所得効果 需要の価格弾力性、消費者需要への外部効果
2日目	生産要素と生産関数、費用の種類と総費用曲線、平均費用と限界費用、総収入と総費用と利潤最大化 価格変化と利潤最大化、短期と長期の供給曲線、市場の分類、完全競争の成立条件、均衡取引量と均衡価格 需給均衡への調整過程
3日目	需要曲線のシフト要因、供給曲線のシフト要因、余剰分析と資源の最適配分、不完全競争市場の形成要因 独占価格および寡占価格の決定理論、市場の失敗について、まとめと試験

◆教科書 通材『経済原論／経済学原論 0711／0712』 通信教育教材（教材コード 000159）
2,350 円（送料込）

◆参考書 必要に応じて講義中に指示します。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提に最終試験により評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆財政活動における租税の意義

(租税論)

開講単位：2 単位 担当者：大淵 三洋

◆学修到達目標 本講義の目的は、学生諸君が財政活動における租税の意義を理解できるよう平易かつ簡明に説明することにある。

主として、マクロ経済的手法を使用して、講義を進め、日本経済新聞の記事を読めるようにまで、指導をする。

◆授業方法 原則として、配布プリント及び教科書を使用して、講義を進める。また、必要に応じて、時事問題も取り扱う予定である。

◆準備学修 日本国民は、三大義務のひとつとして、納税の義務を負っている。同時に、租税の使途について知る権利を有する。それゆえ、租税に関する知識は、必要不可欠である。予め参考書や新聞および雑誌を読んで、予習しておくことが肝要である。

◆授業計画 [1日目：480 分, 2日目：510 分, 3日目：360 分]

1 日目	日本財政の現状 なぜ財政活動が必要なのか 民間経済と財政の相違 財政収入における租税の地位等
2 日目	租税の特徴 租税の根拠 租税の機能（財源調達機能、所得の再分配機能、経済安定化機能） 租税の転嫁（前転、後転、消転）等
3 日目	「わたしたちはなぜ税金を納めるのか（租税の経済思想史）」 近代は租税から始まった（市民革命期のイギリス）、国家にとって租税とは何か（19世紀ドイツの財政学）、公平課税を求めて（19世紀・20世紀のアメリカ所得税）、大恐慌の後で（ニューディル税制の挑戦）、世界税制史の一里塚（21世紀のEU金融取引税）、近未来の税制（グローバルタックスの可能性）等

◆教科書 **当日資料配布** 配布プリント

丸沼『私たちはなぜ税金を納めるのか－租税の経済思想史－』 諸富徹 新潮選書 1,512 円（税込）
(送料 300 円)

◆参考書 **丸沼『現代租税論の展開』[改訂版]** 吉田克己 八千代出版 2,052 円（税込）(送料 300 円)

丸沼『増訂 経済学の基本原理と諸問題』 大淵三洋編著 八千代出版 3,024 円（税込）(送料 350 円)

◆成績評価基準 最終日の試験結果を重視するが、講義の合間に書いてもらう用紙も加味する。

◆授業相談（連絡先）：

◆ポートフォリオ理論を学ぼう

(証券市場論)

開講単位：2 単位 担当者：佐藤 猛

◆学修到達目標 ポートフォリオ理論を中心に現代投資理論を学びます。特に証券評価をリスクとリターンから学びます。この学習を通して証券市場の中のヘッジファンド等の動きが理解できればと思います。日経新聞を読んでいる受講者がターゲットです。

◆授業方法 授業はパワーポイントで行いますが、その内容はテキストと参考書をまとめたものが主体となります。ポートフォリオ理論ですから、毎回、やさしい練習問題をとおして理解を深めます。難しい数学は使いません。また、現代投資理論について物語風でも勉強します。なお、最近の証券市場の問題についてもビデオで学びます。

◆準備学修 レベルは中級程度です。証券市場になじみがない受講者はテキスト等で基本的な用語は理解しておきましょう。

◆授業計画 [1日目：480 分, 2日目：510 分, 3日目：360 分]

1 日目	1 効率的市場について 3 リスク＆リターン 5 関連ビデオ	2 投資家の効用 4 ケインズの確率論
2 日目	1 ポートフォリオの展開 3 CAPM の使い方 5 関連ビデオ	2 資本資産価格モデル（CAPM） 4 ウォーレン・バフェットのポートフォリオ理論
3 日目	1 デリバティブ 3 ヘッジファンド（ジョージ・ソロスとウィリアム・ロジャーズ）の投資論 4 関連ビデオ	2 条件付き請求分析（CCA）

◆教科書 **通材『証券市場論 0829』** 通信教育教材（教材コード 000185） 1,500 円（送料込）

◆参考書 **丸沼『証券市場の基礎理論』** 佐藤猛 税務経理協会（H.20.3 発刊） 2,916 円（税込）(送料 300 円)
[本格的に勉強したい人のみ]

◆成績評価基準 毎回、授業の終わりに復習（DVD 感想文を含む）を行います。1-2 日は各 35 点 3 日は 30 点です。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆地域環境と社会発展の関係について考える

〔人文地理学概論〕

開講単位：2 単位 担当者：小倉 真

◆学修到達目標 環境（自然・社会）の地域的特長や変動と、これに対応しながら展開する世界の地域社会の多様な状況と社会発展について分析・整理し、地域がもつ特質や内容を位置づけることによって、地理学の基本的視角について学習することができる。同時に教科科目としての教育視点について修得することができる。

◆授業方法 配布するレジュメおよび資料（統計・地図・写真等）を用いて授業を進める。授業は基本的に講義形式で行うが、受講者数によっては特定のテーマについての討議を設定することもある。

◆準備学修 地理事項（特に地形や気候など）に関する基本的知識はできるだけ事前に学習しておくこと。また、世界の環境問題、人口問題、産業（農業・工業）立地問題、都市構造と都市化問題、エネルギー問題、食糧問題などに関する情報も取得しておくことを希望する。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. 人文地理学はどのような学問か（地理学における位置づけ） 気候分布のメカニズム、世界全図の特徴と理解 2. 自然環境と地域社会成立・展開について考察する アフリカの部族社会、日本の集落立地と展開、日本の村落社会の特質と現代社会
2日目	1. 自然条件と人口増加・分布の関係、食料問題について考える 世界の人口増加と地域的偏在、食料生産と先進国・途上国との関係（特にアジア諸国について） 2. 資源の分布と工業立地・発展について検証する 資源分布と偏在性の実態、EUにおける工業立地の特徴、日本の高度経済成長と工業立地および変化
3日目	1. 世界の都市化と都市構造について理論的に整理する 都市化のメカニズム、日本の都市化過程 2. 自然環境と社会発展の関係について考える 扇状地平野と社会的発展過程 3. まとめ テスト

◆教科書 **〔当日資料配布〕** 授業初日にプリント配布。

◆参考書 **〔通材〕『人文地理学概論 0975』** 通信教育教材（教材コード 000422）1,350円（送料込）
地図帳、地理資料など。その他は必要に応じて授業中に紹介する。

◆成績評価基準 筆記試験（80%）と平常点（小レポート含む）（20%）により評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

MEMO

III 地方スクーリング

1 開講日程

開講期	開催地	日程	授業時間
第1期	山形 大阪	13日(土)	9:30~18:30
		14日(日)	9:00~18:30
		15日(月)	9:00~16:00 <試験も含む>
第2期	札幌	1日(土)	9:00~18:30
		2日(日)	9:00~18:30
		3日(月)	9:00~15:30 <試験も含む>
	大垣 福岡	1日(土)	9:30~18:30
		2日(日)	9:00~18:30
		3日(月)	9:00~16:00 <試験も含む>

※ いずれの日程も授業時間内に休憩時間を設けます。

※ 各期から1開催地1講座のみの申込みです。

※ 札幌会場のみ授業時間が他会場と異なりますので注意してください。

2 実施会場

開催地別の会場は下表のとおりです。

会場における具体的な授業講堂は、本学通信教育部ホームページの新着情報にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に会場にて掲示します。

なお、各会場の使用にあたって、以下の事項に注意してください。

【注意事項】

- ・自家用車・バイクの通学を禁止します。
- ・指定された場所以外での喫煙を禁止します。
- ・各自、ゴミは持ち帰ってください。

その他、会場の使用上の注意を守ってください。

開講期	開催地	会 場	会場案内
第1期	山 形	日本大学山形中学校・高等学校	35 ページ
	大 阪	近畿大学（東大阪キャンパス）	38 ページ
第2期	札 幌	かでる 2.7	41 ページ
	大 垣	大垣日本大学高等学校	44 ページ
	福 岡	パピヨン 24	47 ページ

※「会場」は後掲の「開講講座表、会場及び講座内容（シラバス）」に開催地別に掲載。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 (第1期)

山形

日 程	授 業 時 間	備 考
9月13日	土 9:30~18:30	※時間内に昼休みを設けます。
9月14日	日 9:00~18:30	
9月15日	月 9:00~16:00 <試験も含む>	

※開講式を初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

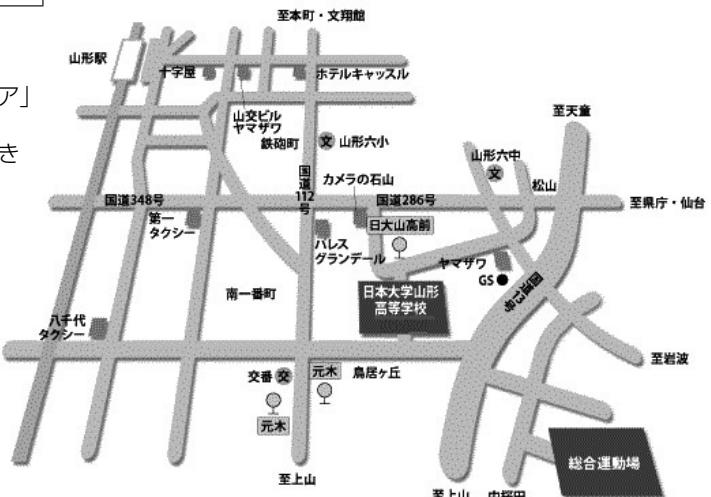
講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制 限・注 意					
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学年	カリ ギュ ム	受 講 条 件			
D1	英 語 D	佐藤 健児	0041	英 語 I	1 年	I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。					
			0042	英 語 II							
			0043	英 語 III	2 年						
			0044	英 語 IV							
D2	アメリカ文学史	堀切 大史	0414	アメリカ文学史	2 年						
D3	国際経済論	陸 亦群	0737	国際経済論	2 年						

山形

日本大学山形中学校・高等学校

山形市鳥居ヶ丘 4-55

- ・JR 山形駅より約 2.5Km
- ・山交バス：
 - 「山形駅東口」⑤乗車場～「ヒルズサンピア」行き 「日大山高前」停留所下車 約 1 分
 - 「山形駅東口」①乗車場～「蔵王温泉」行き 「元木」停留所下車 約 5 分
 - 「山交ビル角」乗車場～「高松葉山」行き 「元木」停留所下車 約 5 分



注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆『Chicken Soup for the Soul』を読む（2014） [英語 D]

開講単位：1 単位 担当者：佐藤 健児

◆学修到達目標 全米中で感動の渦を巻き起こした短編集『Chicken Soup for the Soul』の精読を通して、読解の方法を学ぶと共に、文法の知識が英文を読む（味わう）うえでいかに重要であるかを実感すること、それをこの授業の目標とします。※平成24年度春期スクーリング（夜間）で「英語G」を受講した学生は、ほぼ同一内容のため本講座を受講することはできません。

◆授業方法 第1編 “The Circus” (p.1) から輪読形式で読み進めていきます。指名された学生にはテキストの音読と和訳（説明）をしてもらい、その後、教員が内容（語法、文法事項等）の確認、解説をしていきます。また、適宜、補足プリントを用いて、英文読解の鍵となるいくつかの重要な文法事項を学習していきます。受講者の様子（や希望）を見ながら授業を進めていますので、授業計画はあくまでも「参考」です。

◆準備学修 予習をする際は、辞書や注釈を参照しながらできるだけ丁寧に（語法や文法の知識に基づいて）英文を「精読」するよう心がけてください。その際「どこが理解できなかったのか」を明確にしておきましょう。1日目の授業では、「品詞と文型」が終わり次第、読解①へと進みますので、そのつもりで準備をしておいてください。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	品詞と文型 読解① (The Circus)
2日目	読解② (Puppies for Sale) 読解③ (Bopsy)
3日目	読解④ (The Power of Determination) 試験

◆教科書 丸沼『ショート・ショート・ストーリーズⅡ』高橋潔編 郁文堂 1,620円（税込）（送料215円）

◆参考書 英和辞典（『ジーニアス英和辞典』・『ウィズダム英和辞典』など）

丸沼『英文法解説（改訂三版）』江川泰一郎著 金子書房 1,836円（税込）（送料350円）

丸沼『総合英語 Forest (7th Edition)』石黒昭博監修 桐原書店 1,641円（税込）（送料350円）
など

◆成績評価基準 授業への取り組み（予習状況・発表等）・試験により総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆アメリカ文学史を読む（17～19世紀） [アメリカ文学史]

開講単位：2 単位 担当者：堀切 大史

◆学修到達目標 アメリカの文学作品を時代背景と関連づけて読めるようになることを目標とします。

◆授業方法 講義形式で進めますが、学生には1日目と2日目の最後に、理解度を確認するための感想文を書いてもらい、最終日の試験では、自分が自分で読んだ文学作品についての感想文を、講義の内容に関連づけて書いてもらいます。

◆準備学修 最終日の試験に向けて、17～19世紀のアメリカの文学作品を必ず一冊は読んでおくこと。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	1. イントロダクション 2. ピューリタンとジャーナル文学 3. 啓蒙主義時代の宗教と科学 4. アメリカ独立宣言とコモンセンス 5. ロマン主義とアメリカン・ルネサンス①
2日目	6. ロマン主義とアメリカン・ルネサンス② 7. ロマン主義とアメリカン・ルネサンス③ 8. 都市とミステリー小説の誕生① 9. 都市とミステリー小説の誕生② 10. 文学と視覚文化のジャンル横断①
3日目	11. 文学と視覚文化のジャンル横断② 12. 女性解放運動とジェンダー小説 13. 資本主義社会とアドベンチャー小説 試験

◆教科書 [当日資料配布] 資料を当日に配付します。

◆参考書 英語辞典

◆成績評価基準 平常点（50%）試験（50%）毎回出席することを前提として評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆オープンマクロと外国為替問題

(国際経済論)

開講単位：2 単位 担当者：陸亦群

◆**学修到達目標** この講義は、教材の第3章と第4章を中心に、国際マクロ経済学の基礎理論や経済政策関連の内容の説明を進めながら、戦後の国際通貨秩序の確立や国際通貨制度の変遷、そして円高ドル安の国際経済現状を踏まえた外国為替問題も加えて解説を進めていきたい。

◆**授業方法** 本講義は教材の内容を中心に原則として板書で授業を進める。必要に応じてパワーポイントを使用して講義関連資料および国際経済関連の新聞・雑誌記事等を解説し、そのプリント資料を配布する。

◆**準備学修** 国際経済論は応用経済学分野の科目であることから、経済学概論、経済原論（経済学原論）、経済学の何れかの科目を履修済みの上、本講義を受講することをお勧めする。事前にミクロ経済学基礎理論を温故し、講義終了後に教材内容に付き合わせてノートを整理し復習すること。

◆**授業計画** (1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分)

1日目	国際収支統計と外国為替市場 対外収支と貯蓄投資バランス 外国貿易乗数と弾力性アプローチ
2日目	マクロ経済分析の基礎 IS-LM-BP 分析 国際マクロ経済政策 外国為替相場の決定理論
3日目	外国為替相場の変動と市場介入 円高と日本経済 外国為替制度の選択と国際通貨制度 講義のまとめ

◆**教科書** 通材『国際経済論 0737』 通信教育教材（教材コード 000281） 1,950円（送料込）

◆**参考書** 講義内容に応じて隨時紹介する。

◆**成績評価基準** 筆記試験。国際経済学の基礎知識を身に付けているかを判定する。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

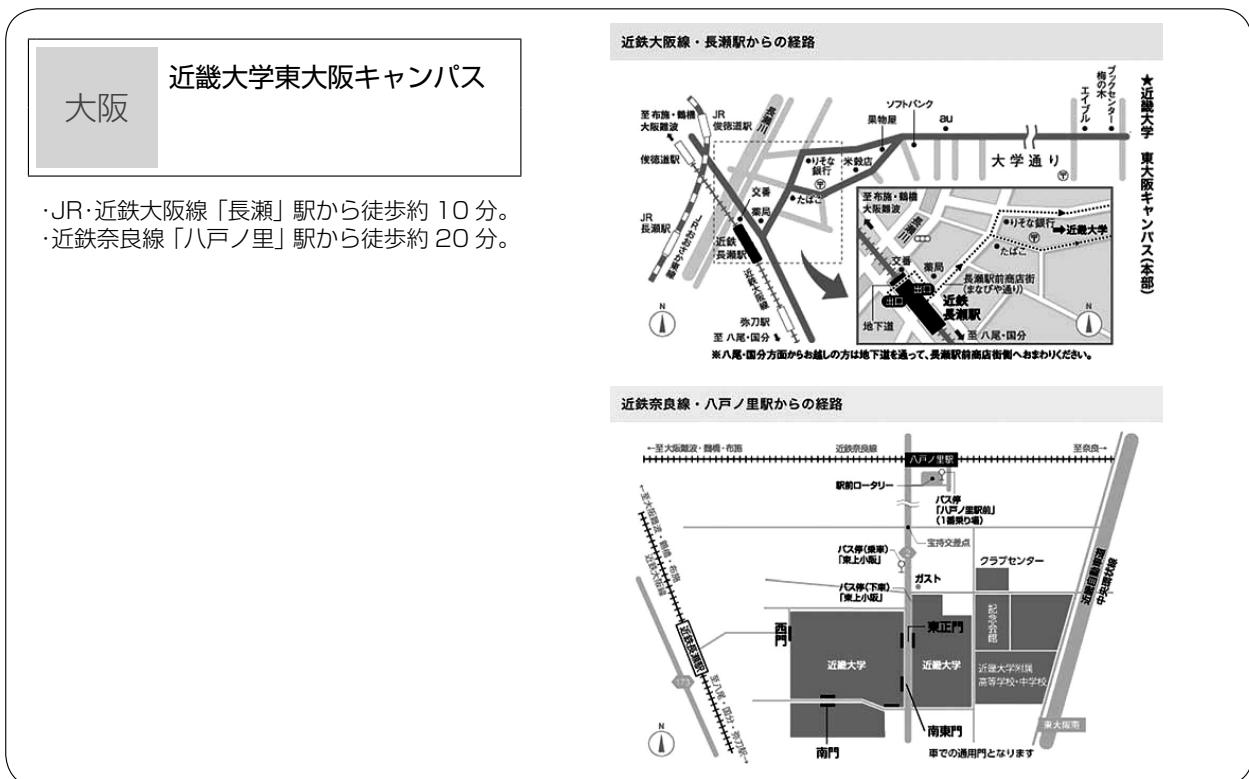
◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

日 程	授 業 時 間	備 考
9月13日 土	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
9月14日 日	9:00～18:30	
9月15日 月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※開講式を初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併 用	制 限・注 意					
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配 当 学 年	カリ キュ ラム	受 講 条 件			
D4	英 語 E	鈴木 ふさ子	0041	英 語 I	1年	2年	・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。				
			0042	英 語 II							
			0043	英 語 III	2年						
			0044	英 語 IV							
D5	刑 法 II	岡西 賢治	0152	刑 法 II		2年					
D6	英 語 学 演 習 C	保坂 道雄	0481	英 語 学 演 習 I	× 3年		・英文学専攻のみ申込可 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。				
			0482	英 語 学 演 習 II							
			0483	英 語 学 演 習 III							



注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆ TOEIC 500 点の英語力をつけましょう！ [英語 E]

開講単位：1 単位 担当者：鈴木 ふさ子

◆**学修到達目標** TOEIC の演習問題を通して、日常生活やビジネスで必要とされる基本語彙や会話表現を身につけ、基礎的な文法事項を習得します。さらに、TOEIC の各 Part の特徴をつかみ、時間内で解く練習をすることで、試験の形式に慣れ、本番で実力を発揮できるようにします。最終的には TOEIC のスコア 500 点を獲得できるような英語力を身につけることを目標とします。（※ TOEIC 未受験・初心者用クラスで、500 点以上のスコアを持つ方には適さないクラスです）

◆**授業方法** 授業の冒頭（休憩後）にテキストの各 Unit のボキャブラリーの小テストを実施。その後、予習してきていただいた文法事項と Listening と Reading の Warm Up の答え合わせと解説をし、指定時間内に Listening と Reading の演習問題を解いていただいた後、答え合わせと解説をします。内容に応じてプリントで補足説明を行います。1 日目の最初の方にミニ模擬テストを行い、想定スコアを算出します。また、2 日目の終わりに実力テストを実施します。

◆**準備学修** テキストの冒頭にあるボキャブラリーの CD を聞いて、単語を書き取ってきて下さい。何度も聞いてわからないものがあったら、単語の意味や各 Unit の内容からどの単語なのか推測した上で辞書で調べて、音声・意味・綴りのどの方面から聞かれても答えられるように覚えてきて下さい。また、各 Unit の文法事項の確認、穴埋め問題、Warm Up の問題を解いて、授業時に当てられた時に答えられるように準備してきて下さい。（※各 Part の演習問題は授業時に使うので予習の必要はありません。）

◆授業計画【1日目：480 分、2日目：510 分、3日目：360 分】

1 日目	ガイダンス（授業の方法、成績評価の方法などの確認。TOEIC の基礎知識） ミニ模擬試験（答え合わせと想定スコアの算出、今後の学習方法を考える） 休憩時間後に指定された Unit の小テスト、文法事項の確認、Warm Up の答え合わせと解説 (Unit 1 ~ Unit 4 を予定していますが、受講者のレベルによって進度が変更となる可能性があります。)
2 日目	休憩時間後に指定された Unit の小テスト、文法事項の確認、Warm Up の答え合わせと解説 (Unit 5 ~ Unit 9 を予定していますが、受講者のレベルによって進度が変更となる可能性があります。) 実力テスト（時間内で問題を解く。答え合わせをして自己分析をする）
3 日目	休憩時間後に指定された Unit の小テスト、文法事項の確認、Warm Up の答え合わせと解説 (Unit 10 ~ Unit 12 を予定していますが、受講者のレベルによって進度が変更となる可能性があります。) 全体のまとめ（これまで学んだことの総括と整理を行います）と試験を行います。

◆**教科書** 丸沼『Kick Off for the TOEIC Test』 金星堂 2,106 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 授業時に紹介します。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提としているので、欠席はしないようにしましょう。
平常点（授業への貢献・貢献・予習）20%、小テスト 30%、最終試験 50% で評価します。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆犯罪を分類し、個々の成立要件を考える

〔刑法Ⅱ〕

開講単位：2 単位 担当者：岡西 賢治

◆学修到達目標 刑法典に規定されている犯罪の成立要件を習得する。その際には、判例の立場や学説の状況をふまえた議論を把握し、自分なりの考え方がまとめられるようにする。

◆授業方法 講義による。ただし、事例をいくつか挙げて説明する場合などでは、それぞれの意見を訊くこともある。なお、必要であれば、成績評価のひとつとして、簡単なレポートや小テストを実施する。

◆準備学修 基本となる概念や重要な判例などは、教科書等で知識を得たうえで講義に臨むことが必要である。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	①法益による犯罪の分類 ②生命・身体に対する罪：殺人罪、墮胎罪、遺棄罪、傷害罪、暴行罪 ③身体の自由に対する罪：逮捕・監禁罪、脅迫・強要罪、略取・誘拐罪、強姦・強制わいせつ罪 ④生活の平穏に対する罪：住居侵入罪、名誉毀損罪、信用毀損・業務妨害罪
2日目	①財産罪の体系 ②財産に対する罪：窃盗・強盗罪、詐欺・恐喝罪、横領・背任罪、盗品関与罪、毀棄隠匿罪 ③公共の安全に対する罪：騒乱罪、放火罪
3日目	①公共の信用に対する罪：通貨偽造罪、有価証券偽造罪、カード偽造罪、文書偽造罪 ②風俗に対する罪：わいせつ罪、賭博罪、礼拝所・墳墓に関する罪 ③国家の作用に対する罪：公務執行妨害罪、逃走罪、犯人蔵匿罪、偽証罪、職権濫用罪、賄賂罪 ④国家の存立に対する罪：内乱罪、外患誘致罪、国交に関する罪

◆教科書 通材『刑法Ⅱ 0152』 通信教育教材（教材コード 000396） 2,250円（送料込）

◆参考書 指定しない。

◆成績評価基準 試験（70%）平常点（30%）

平常点には授業内の小テストや簡単なレポート課題等が含まれるが、具体的な項目は最初の講義で説明する。

◆授業相談（連絡先）：

◆ことばの仕組みを学ぶ

〔英語学演習 C〕

開講単位：1 単位 担当者：保坂 道雄

◆学修到達目標 本講座の到達目標は、受講生が、①日英語の語法・文法・意味についての基礎知識、②生成文法の基礎知識、③英語と日本語を比較・対照した実証的研究、等を通じて、言語研究の基礎的方法論を身につけることである。なお、本講座では、英語と日本語の言語事実を比較・対照しながら、両言語の奥に潜む普遍的原理を、生成文法の理論に基づき、探求するものである。特に、生成文法が何を目指し、現在の言語研究に如何なる貢献を為してきたかを、日英語の言語データを通じて実証的に検証し、言語研究の奥深さを学んでもらいたい。

◆授業方法 授業の方法は、受講者それぞれに担当の箇所を決め、授業内で簡単な発表を行って頂き、その後、発表内容について議論を行う。また、授業の初めに、その日扱う内容について、予習・復習チェックの確認テストも適宜行う。なお、授業中の私語・携帯電話使用等の迷惑行為は減点の対象とする。

◆準備学修 各回の授業内容は授業計画の通りであるが、受講生の理解度に応じて進め方を調整する。なお、テキストを読んだ上で出席していることを前提に授業を進めるので、予習として必ず該当箇所の下調べを行うことが必要である。また、復習として、毎回の授業内容を分かりやすくノートにまとめておくことを勧める。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	テキストの第1章（ことばに対する考え方：科学的な方法とは）、第2章（ことばの獲得の不思議：合理主義と経験主義）、第3章（普遍文法って何）、第4章（ことばの部品：語彙範疇と機能範疇）、第5章（文法の核心：統語構造）を中心に学習を進める。
2日目	テキストの第6章（構造的一般化：Xバー理論）、第7章（文の構造を考え直す）、第8章（意味役割の果たす役割）、第9章（能動と受動：格というものの存在意義）、第10章（名詞らしくない名詞：数量詞と代名詞）を中心に学習を進める。
3日目	テキストの第11章（目に見えない主語：コントロールと上昇）、第12章（目的語のような主語）、第13章（主語の本当の出所）、第14章（動く主要部）、第15章（文頭に現れる語：Wh疑問詞と題目の移動）を中心に学習を進める。

◆教科書 丸沼『ベーシック生成文法』 岸本秀樹 ひつじ書房 1,728円（税込）（送料 300円）

◆参考書 丸沼『統語論』 田中智之編 朝倉書店 2,916円（税込）（送料 300円）

◆成績評価基準 評価の割合は、授業内試験（60%）、小テスト、発表内容、授業への積極的参加態度等（40%）とする。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 (第2期)

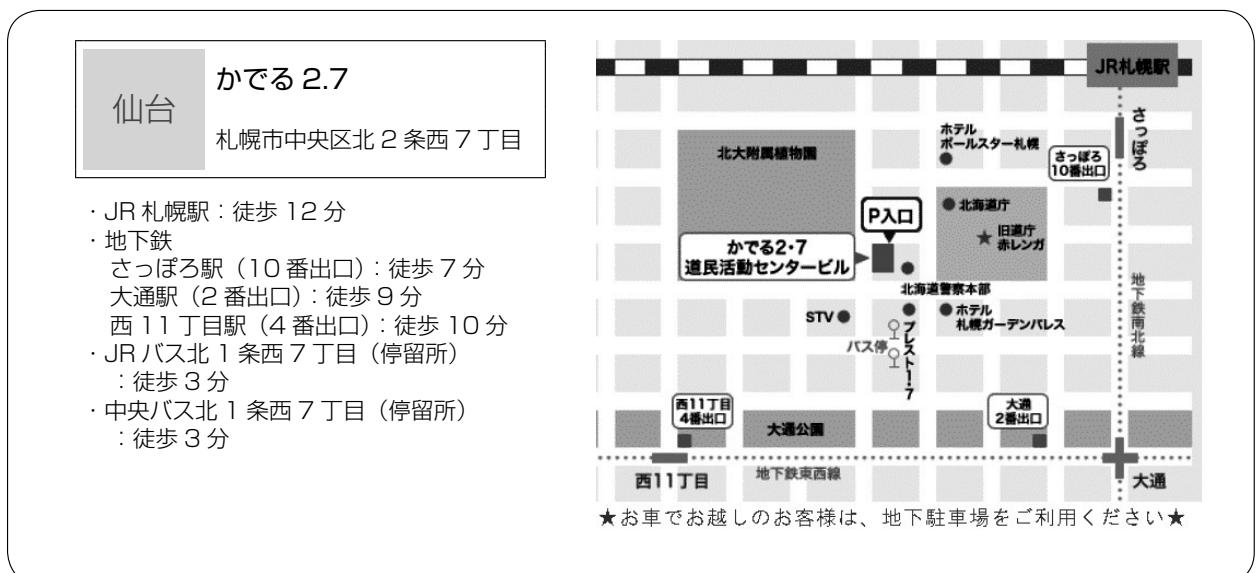
札幌

日 程	授 業 時 間	備 考
11月 1日	土 9:00 ~ 18:30	※時間内に昼休みを設けます。
11月 2日	日 9:00 ~ 18:30	
11月 3日	月 9:00 ~ 15:30 <試験も含む>	

※開講式を初日の8時50分から行いますので、参加してください。

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制 限・注 意		
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学年	カリ ギュ ム	受 講 条 件
E1	政 治 学	閔根 二三夫	0023	政 治 学		1年		
E2	英米文学特殊講義	當麻 一太郎	0431	英 米 文 学 特 殊 講 義		2年		
E3	会 計 学	壹岐 芳弘	0851	会 計 学		2年		



注意
各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆政治を基礎から学びましょう

[政治学]

開講単位：2 単位 担当者：関根 二三夫

◆学修到達目標 基礎教育としての講義を行います。議会及び内閣もしくは大統領の動きを見ますと、政治が難しいことのように感じられます。しかし、法律や予算の制定や執行は、国家や社会や個人の発展の為に寄与するものです。この講義においては、政治がわれわれの生活に大きな影響を及ぼすと同時に、身近な現象であることを学びます。

◆授業方法 講義形式で行います。講義においては、受講生の政治に関する問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。

◆準備学修 政治学は社会科学のカテゴリーに入り、人間社会を対象にする学問です。現実の社会を理解し、社会における問題を解決して、あるべき社会を築く必要があります。学修の準備として、メディアの情報に关心を持ち、テキストを参考に各単元2時間程度の予習と、2時間程度の復習が必要になります。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	政治学の変遷、政治の概念、政治の本質、政治権力（概念・構造・支配の手段）、国家（成立の要素・分類）、議会政治（沿革・原理） ※政治学は長い歴史を有していること、現実の政治やるべき政治とは何か、政治の世界における力関係や影響力、国家を成立させる要素とは何か、議会政治の歴史や原理を学びます。
2日目	議会の構成、立法部と行政部（議院内閣制・大統領制）、選挙制度の原則、選挙区、選挙区の画定、代表選出の形態、政党（概念・特徴） ※一院制や二院制、立法部と行政部との典型的な関係、選挙の仕組みを支える原則、選挙区やその作成の基本的な考え方、代表を選出する形態、政党とは如何なるものか、また、その特徴を学びます。
3日目	政党（発展過程・機能・問題点）、圧力団体（概念・特徴・活動・問題点）、コミュニケーション（機能・類型・方向性）、リーダーシップ ※政党はどのように発展して来たか、また、その働きや問題点を考え、圧力団体とは如何なるものか、その特徴や活動、問題点を学びます。さらに、組織や集団において重要なコミュニケーションやリーダーシップについて学びます。

◆教科書 通材『政治学 0023』 通信教育教材（教材コード 000279） 1,800 円（送料込）

◆参考書 特に指定しない。

◆成績評価基準 試験 70%，平常点 30%

※受講に際しては、欠席をしないように注意してください。

◆授業相談（連絡先）：

◆ナサニエル・ホーソーン文学の理解

[英米文学特殊講義]

開講単位：2 単位 担当者：當麻 一太郎

◆学修到達目標 ホーソーンの創作ノート、日記、伝統的な色彩の濃い詩、エッセイ、歴史的事情、時代思潮および代表的な短編小説を通して、ホーソーンその人とホーソーン文学の理解を目指します。ホーソーン文学のレトリックを含めた巧妙な描写法や主題などを眺めることによって、ものが多面的に考えられるようになることも目標。

◆授業方法 講義を中心に進めます。対象作品は「若いグッドマン・ブラウン」「あざ」「ラバチーニの娘」の短編小説と『緋文字』の長編小説です。それぞれの作品のテーマを捉える講義とするため、絵入りの英文資料を授業中に配布します。なお『緋文字』については1章～24章までできる限り一章ずつ講義を進める予定です。

◆準備学修 聴講前に上記の作品についての知識を得ておくことが望ましいです。また、通信教育部教材の第2編は読了していることを希望します。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	・創作ノート、日記、詩、エッセイを通してホーソーンその人の精神的成长の跡をたどります。 ・「若いグッドマン・ブラウン」について講義します。 ・「あざ」について講義します。
2日目	・「ラバチーニの娘」について講義します。 ・『緋文字』を内外の研究と合わせて読むことは時間的に不可能であるため、幾つかの代表的な批評方法を紹介 ・援用しながら、第1章から15章について各章ごとに講義します。
3日目	・『緋文字』を内外の研究と合わせて読むことは時間的に不可能であるため、幾つかの代表的な批評方法を紹介 ・援用しながら、第16章から24章について各章ごとに講義します。 ・まとめ ・試験

◆教科書 通材『英米文学特殊講義 0431』 通信教育教材（教材コード 000116） 1,900 円（送料込）
および[当日資料配布] 当日プリント配布。

◆参考書 授業時に伝えます。

◆成績評価基準 授業への取り組み（発表等）・テストにより総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆企業会計の基礎

(会計学)

開講単位：2 単位 担当者：壹岐 芳弘

◆**学修到達目標** 企業会計の専門的な学習を進めるために必要な基礎的な知識・考え方の学修を目標とする。具体的には、複式簿記の基礎概念・基本的手続き、日本の企業会計制度のあらまし、財務諸表（損益計算書・貸借対照表）のしくみ、財務諸表の分析、企業会計の国際化などについて学ぶ。企業会計制度と監査制度との関連で株式会社のしくみについても併せて学ぶ。

◆**授業方法** 指定した教科書に沿って授業を進める。教科書の概要を整理し、また、それを補足するために、プリントを配布して説明を行う。簿記の学習では、簡単な記帳・計算の問題の練習も行う。受講者の反応（質問など）を確認しながら授業を進める。

◆**準備学修** 事前に教科書を読み、プリントの内容を確認して授業に臨んでほしい。疑問点を明確にした上で受講できれば望ましい。

◆**授業計画** (1日目：480 分, 2日目：510 分, 3日目：360 分)

1 日目	1. 現代社会と会計の役割 2. 簿記・会計の基礎概念 3. 複式簿記の基本的手続 4. 財務諸表の作成
2 日目	5. 株式会社のしくみ 6. 日本の企業会計制度 7. 損益計算書のしくみ
3 日目	8. 貸借対照表のしくみ 9. 財務諸表の分析 10. 会計の国際化 11. 試験

◆**教科書** 丸沼『はじめての会計学（第4版）』 日本大学会計学研究室編 森山書店 2014年 2,592円（税込）
(送料 300円)

◆**参考書** 特に指定しない。

◆**成績評価基準** 試験の成績によって評価するが、受講状況も考慮する。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 (第2期)

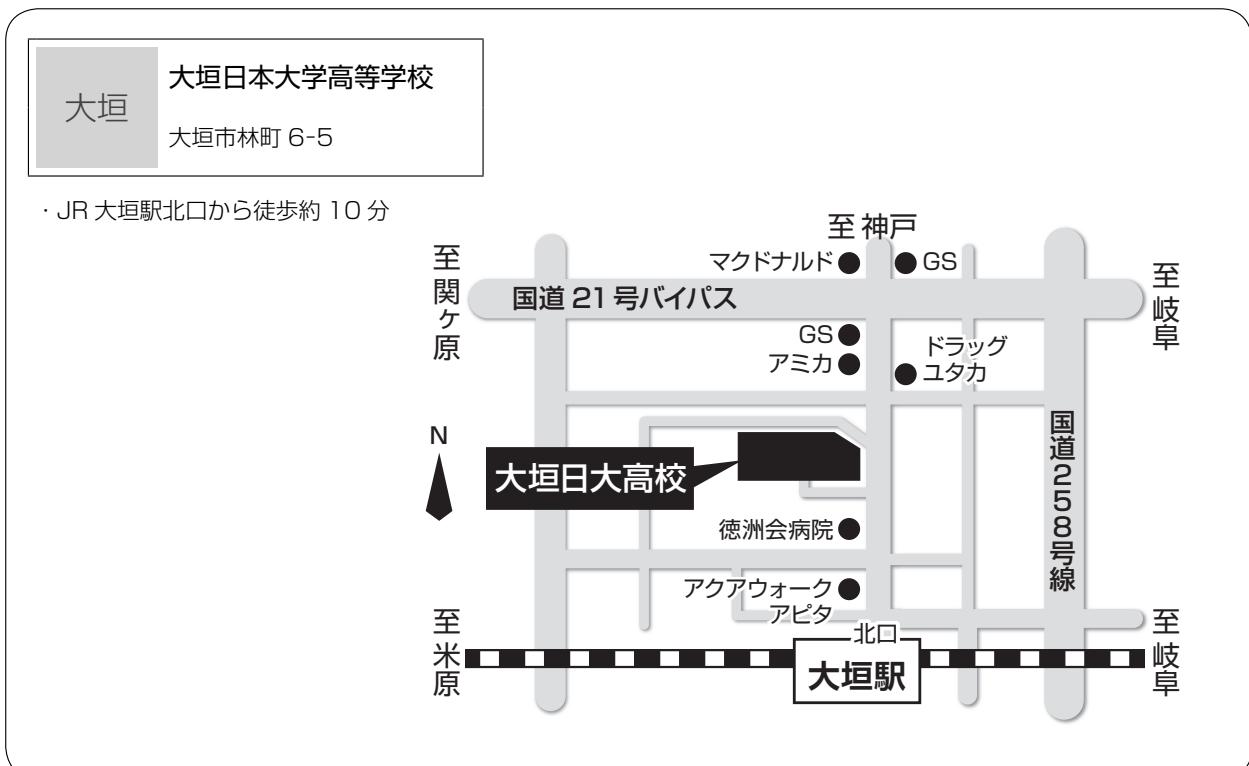
大垣

日 程	授 業 時 間	備 考
11月 1日 土	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
11月 2日 日	9:00～18:30	
11月 3日 月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※開講式を初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併 用	制 限・注 意		
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配 当 学 年	カリ キ ュ ラ ム	受 講 条 件
E4	体育実技B	北村 辰夫	0077	体育実技I	×	1年		・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
			0078	体育実技II				
E5	イギリス文学史II	猪野 恵也	0412	イギリス文学史II		2年		
E6	教育の方法・技術論	宇内 一文	0926	教育の方法・技術論	×	2年		・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です



注 意
各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆生涯スポーツの知識と実践

[体育実技 B]

開講単位：1 単位 担当者：北村 辰夫

◆**学修到達目標** 高齢社会を迎えるにあたり、運動、スポーツの実践をとおして、その楽しさ、重要性を認識し、生活習慣まで発展することをねらいとする。

◆**授業方法** 基本的には体育館内で実施する。スポーツを実施するにあたり知識を高める。小グループでスポーツを体験。年齢、体力相応に健康の維持増進について認識を高めてもらう。

◆**準備学修** 1日20分以上の連続歩行と、軽い柔軟運動の実施を心がけてきてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス ・スポーツと健康（講義） ・準備運動、体力づくり ・準備運動、バスケットボール（班別でゲームを行う）
2日目	・加齢による心拍数とスポーツ（講義） ・準備運動、卓球 ・準備運動、ソフトバレー
3日目	・ウェイトトレーニングの基本（講義） ・準備運動、バレーボール ・準備運動、バドミントン

※施設・用具等により授業計画の一部が変更になる場合があります。

◆**教科書** [当日資料配布] プリントを配布する。

◆**参考書** 体育実技に適した運動着と室内用の運動靴を用意すること。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（授業態度・服装）及び事故の体力に合った運動の理解によって総合的に評価します。

◆**授業相談（連絡先）：**

◆ヴィクトリア朝から James Joyce まで

[イギリス文学史 II]

開講単位：2 単位 担当者：猪野 恵也

◆**学修到達目標** ヴィクトリア朝の作家から James Joyce に至るまでの作家と作品を紹介していく。扱わない作家や作品もあるので、イギリス文学史というよりイギリス文学誌と捉えてほしい。各作品を読むためのきっかけになることを望みます。気に入った作品があれば翻訳（できれば原書）を読み、親しんで下さい。

◆**授業方法** プリントを配布しそれらを読み上げていき、作家の生涯や代表的な作品の内容に触れる。作品からの抜粋を読んだり、DVDも活用する。扱う作家が授業計画と異なる場合あり。

◆**準備学修** イギリス文学史の本で（どんなものでも可）あらかじめヴィクトリア朝から James Joyce にいたるまでの文学史の流れを押さえておくとよい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	William Makepeace Thackeray (<i>Vanity Fair</i>) / Henry James (<i>The Portrait of a Lady</i>) / Oscar Wilde (<i>The Picture of Dorian Gray</i>) / Joseph Conrad (<i>Heart of Darkness</i>) / E.M. Forster (<i>Howards End</i>)
2日目	小テスト / George Orwell (<i>1984</i>) / D.H. Lawrence (<i>Lady Chatterley's Lover</i>) / Virginia Woolf (<i>Mrs. Dalloway</i>) T.S. Eliot
3日目	W.B. Yeats / James Joyce (<i>Ulysses</i> など)

◆**教科書** [当日資料配布] 当日プリント（枚数多し）。

◆**参考書** 授業中指示する。

◆**成績評価基準** 試験（70%） 小テスト（20%） 平常点（10%） 3日間の短期スクーリングなので皆出席を前提とする。各自のスケジュールを確認してから受講して下さい。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆「人づくり=教育」方法の理論と歴史を学ぶ [教育の方法・技術論]

開講単位：2 単位 担当者：宇内 一文

- ◆学修到達目標 ①日本と外国の教育方法の理論と歴史、学習指導の原理や形態、教育評価などについて理解できる。
②教材研究の方法や授業の構成が理解でき、具体的な例を挙げて説明することができる。
③教育メディアについて、具体的な場面の活用を考えることができる。

◆授業方法 パワーポイントによる講義形式で行います。併せて、授業で取り扱ったトピックについて少人数グループでの話し合いやクラス全体でのディスカッション、報告会などを行うことにより理解の定着と学びの深化を図っていきます。なお、授業展開や学生のニーズにより、授業計画の内容は多少変更することができます。

◆準備学修 これから社会で生きていくためのスキルを子どもにつけさせるための、「人づくり=教育」の理論や方法について考え、自分の意見・主張とその根拠をまとめておいてください。このテーマでグループワークなどをしていただきます。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	(1) ガイダンス—教育方法学とは何か、(2) 西洋における教育思想と教育方法の歴史、(3) 日本における教育改革と教育方法の歴史、(4) 現代教育方法学の論点と課題
2日目	(5) 子どもは何を学ぶか—教育目標・内容論、(6) 学習とは何か—学習論、(7) 学力をどう高めるか—学力論、(8) 授業をデザインする、(9) 教育の道具・素材・環境を考える
3日目	(10) カリキュラムと教育評価、(11) 教科外教育活動を構想する、(12) どのような教師を目指すべきか

◆教科書 [当日資料配布] パワーポイントのスライドをハンドアウトしたものを授業レジュメとして配布します。

◆参考書 授業内に適宜指示をします。

◆成績評価基準 最終試験（70%）、授業参画度（30%）

【授業への取り組み（発表など）、リアクション・ペーパーなどにより総合的に評価します。】

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

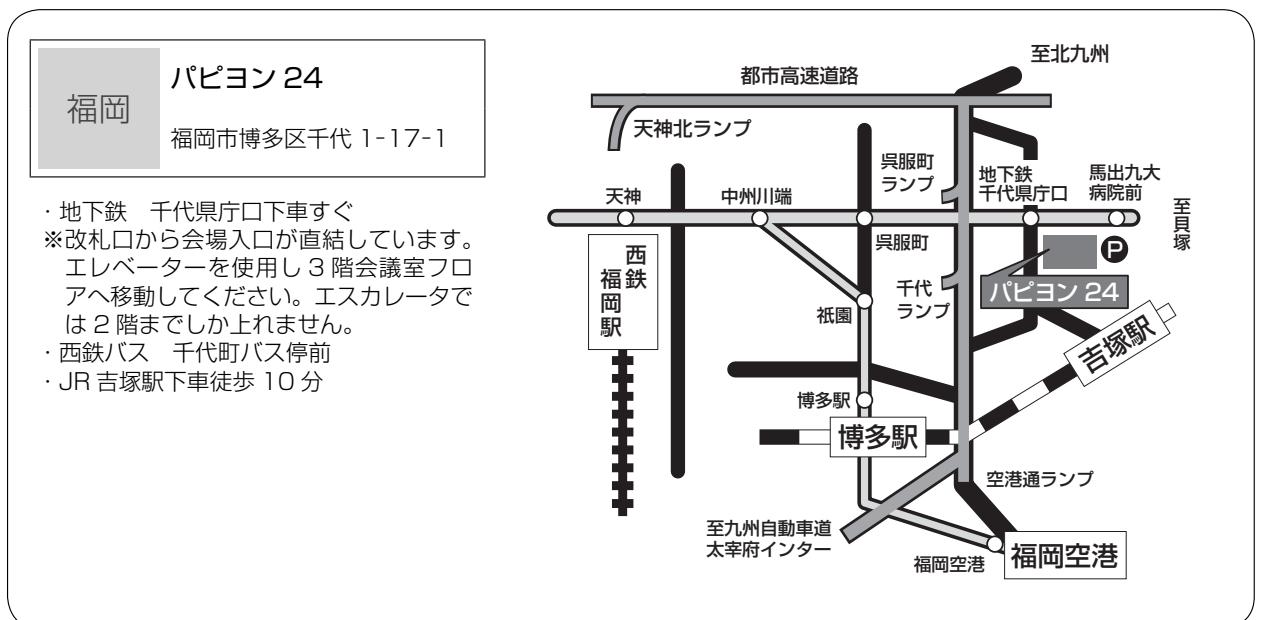


日 程	授 業 時 間	備 考
11月 1日	土 9:30 ~ 18:30	※時間内に昼休みを設けます。
11月 2日	日 9:00 ~ 18:30	
11月 3日	月 9:00 ~ 16:00 <試験も含む>	

※開講式を初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制 限・注 意		
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学年	カリ ギュ ラム	受 講 条 件
E7	英語学概説 A	田中 竹史	0085	英語学概説		2年		
E8	哲学概論	江川 晃	0531	哲学概論		2年		
E9	日本史概説	鍋本 由徳	0620	日本史概論	2年		・法学部のみ申込可	
			0621	日本史概説			・文理・経済・商学部のみ申込可	



福岡
パビヨン 24
福岡市博多区千代 1-17-1

- 地下鉄 千代県庁口下車すぐ
- ※改札口から会場入口が直結しています。
エレベーターを使用し3階会議室フロアへ移動してください。エスカレータでは2階までしか上れません。
- 西鉄バス 千代町バス停前
- JR 吉塚駅下車徒歩 10 分

注意
各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆探検！ことばの世界

〔英語学概説 A〕

開講単位：2 単位 担当者：田中 竹史

◆学修到達目標 ヒトの自然言語は音と意味の結び付きにより成り立っていますが、音と意味は直接的に結び付いてい るのではなく、それらの間には文を組み立てる仕組み・文の組立に関する法則（狭い意味での文法）が介在しています。この種の仕組みを持つのは多くの生物種の中でヒトだけであり、この特殊能力のため、ヒトは言語使用が可能であると考えられています。このような能力を持たないヒト以外の動物は、叫ぶ事はできても言語を使い話す事はできませんし、文を作り考えたり意見を表明したりするという事もできません。たとえ私達の進化の隣人であるチンパンジーのように、学習能力が高く、ある種の認知能力ではヒトを上回るような賢い動物であっても、言語の使用はかないません。

本講座では、自然言語に関わる基本的な性質を概観し、英語を主たる研究対象とする英語学の主要な分野（統語論、意味論、形態論、音韻論など）の前提となるような基礎知識を身に付ける事を目標とします。

なお必要に応じて内容の調整を行う予定です。

◆授業方法 配布プリントを基に講義形式で進めますが、質疑応答を通じて受講生の積極的な発言を求めます。

◆準備学修 特別な準備学習は必要ありませんが、事前に参考書として挙げられている大津（2004, 2008）に目を通しておくと、講義内容のより良い理解につながります。

◆授業計画〔1日目：480 分、2日目：510 分、3日目：360 分〕

1 日目	初回ガイダンス 母語と外国語 日本語母語話者の言語知識と英語母語話者の言語知識 言語と心の働き 無意識の知識と心的文法
2 日目	文法の組み立て 言語の獲得 (1)-(2) 言語の障害 (1)-(2)
3 日目	動物の「言語」(1)-(3)

◆教科書 プリント使用。

◆参考書 通材『英語学概説 0085』 通信教育教材（教材コード 000400） 3,050 円（送料込）

丸沼『探検！ことばの世界』 大津由紀雄（2004）ひつじ書房 1,728 円（税込）（送料 300 円）

丸沼『ことばに魅せられて 対話編』 大津由紀雄（2008）ひつじ書房 1,728 円（税込）
(送料 300 円)

丸沼『ファンダメンタル英語学 改訂版』 中島平三 ひつじ書房, 1,512 円（税込）（送料 300 円）
などの英語学の入門書

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、授業に対する取り組みとレポートにより総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆科学・技術をコントロールする「哲学力」を養う

(哲学概論)

開講単位：2 単位 担当者：江川 晃

◆学修到達目標 私たちの生きるこの世界は、モバイル、インターネット、TVなど科学・技術により支えられている。問題は、それらが人類の幸福に役立つという本来の目的を忘れ、我が物顔で幅を利かしていることにあろう。この授業は、経済至上主義に基づく科学・技術崇拜に偏らず、科学・技術を社会的かつ個人的にコントロールする「哲学力」を養うこと目標とする。

◆授業方法 教科書、プリント、パワーポイント、板書、ビデオによる講義。毎回、最後に小レポート（感想／思索／意見／質問）を10分ぐらいで書いて提出して頂く。次回はそのコメントから授業をはじめる。双方向の授業にするため、気楽な質問を大歓迎します。

◆準備学修 教科書の該当箇所を事前によく読んでおき、できれば質問を用意しておくと、授業がより面白くなります。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1 日目	1 哲学とは何か (語源と意味) 2 ギリシャの哲学 (自然哲学とソクラテス) 3 中世の哲学 (神の存在は論理的に証明できるか) 4 科学革命 (コペルニクス、ガリレオ、ケプラー、ニュートン) 5 近世哲学 (デカルトと心身問題)
2 日目	6 プラグマティズム (思考と行動・表現) 7 パースの探究の理論 (疑惑から信念へ) 8 信念を固める4つの方法 9 意味とは効果・結果である
3 日目	10 ウィトゲンシュタイン (世界は言語に写される) 11 論理実証主義 (科学と宗教の境はあるか) 12 心の哲学 (脳と心は同じか) 13 口ボットに心は芽生えるか (機能主義) 14 試験

◆教科書 [当日資料配布] プリント配布。

◆参考書 授業中に提示します。

◆成績評価基準 試験 (50%) と授業状況 (50%)

◆授業相談 (連絡先) :

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆イメージする歴史

〔日本史概説〕

開講単位：2 単位 担当者：鍋本 由徳

◆**学修到達目標** 歴史の勉強は「イメージすること」から始まります。歴史を語ろうとする人たちの意図はどこにあったのか、歴史の解釈はどのようにおこなっていくのか、「歴史学の歴史」「素材の利用」などを学修し、「歴史」を理解するための素養修得を目指します（以前の私の「歴史学」と内容が重複する内容がありますが、積み重ね受講できるように戻り更しています）。

◆**授業方法** 原則として講義形式です。1日目と、2日目の午前はテキストとプリントを中心に進め、2日目は講義を原則としますが、受講生 50 名以下の場合は、都内旧跡を巡見を交えて、講義内容の理解を深める予定です。3日目は再び講義を進めます。なお、最終試験の他に、単元毎の小テストと巡見レポート作成（800 字程度）を課す予定です。

◆**準備学修** 歴史小説や、評論家の著書はほとんど使いません。計画のキーワードについて、用語を調べておくとよいでしょう。また、下記参考文献を読んでおくとスムーズな理解ができます。「日本史」「世界史」知識の多少は問いませんが、図書館などを利用して、歴史と歴史学の違いをイメージして講義に臨んでください。復習は、各回で理解度が低かった箇所を丁寧に調べ直してください。

◆授業計画 [1日目：480 分, 2日目：510 分, 3日目：360 分]

1日目	<p>【トピック】歴史の自覚化。日本・東洋・西洋が残す歴史記述。近代歴史学の手法。 1日目は、歴史学の歴史に着眼点を当てていきます。 【主要キーワード】大航海時代、科学革命、年代記、古事記、日本書紀、二十四史、実証主義</p>
2日目	<p>【トピック】歴史の素材（資料論）、出版文化と行動文化（受講生数が 50 名以下の場合、巡見に当てる） 2日目は、歴史学を考える上で重要な素材となる「歴史資料」の性格に着眼点を当てていきます。 【主要キーワード】考古資料、名所図会（巡見）、道中日記、義民、歌舞妓（江戸時代）</p>
3日目	<p>【トピック】身近な歴史との出会い、歴史資料保存機関の利用、歴史解釈の方法 3日目は、人物史と歴史学、具体的な歴史事象を使って解釈の多様性に着眼点を当てていきます。 【主要キーワード】人物史、博物館・文書館、「鎖国」論</p>

◆**教科書** 通材『歴史学 0015 通信教育教材（教材コード 000393） 1,650 円（送料込）
[当日資料配布] なお、プリントもあわせて配布します。

◆**参考書** 丸沼『世界史とヨーロッパ』 岡崎勝世 講談社現代新書 820 円（税込）（送料 260 円）
丸沼『歴史学って何だ?』 小田中直樹 PHP 新書 734 円（税込）（送料 260 円）
その他、適宜授業時に紹介。

◆**成績評価基準** 最終試験（60%）、小試験（30%）、課題（10%）の総合評価（全日出席で 100% の評価対象となります）。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

MEMO

IV 夜間スクーリング

1 開講日程

開講期間	10月20日(月)～12月22日(月)					
授業時間	18:30～21:25					
受講形態	月曜日から金曜日までの各曜日に開講される講座から1講座を選び、同じ曜日の8回の授業を経て、最終日に試験を受けます。					
授業日程 ①：1回目 ②：2回目 ③：3回目 ④：4回目 ⑤：5回目 ⑥：6回目 ^{※ 8回目は試験を含む}	月	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	10月	① 20	① 21	① 22	① 23	① 24
		② 27	② 28	② 29	② 30	② 31
	11月	-	③ 4	③ 5	③ 6	③ 7
		③ 10	④ 11	④ 12	④ 13	④ 14
		④ 17	⑤ 18	⑤ 19	⑤ 20	⑤ 21
		-	⑥ 25	⑥ 26	⑥ 27	⑥ 28
		⑤ 1	⑦ 2	⑦ 3	⑦ 4	⑦ 5
	12月	⑥ 8	⑧ 9	⑧ 10	⑧ 11	⑧ 12
		⑦ 15	補 16	補 17	補 18	補 19
		⑧ 22	-	補 24	-	-

- ※ 各曜日から1講座のみの申込みで、最多で合計5講座まで受講できます。
- ※ 上記日程の他に12月16日(火)～19日(金)、24日(水)を補講期間としています。休講があった場合は、この期間内に補講を実施する予定です。

2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎で行います。平成26年9月の校舎移転に伴い夜間スクーリング(秋期)は市ヶ谷校舎で実施します。

名 称	日本大学通信教育部
所 在 地	東京都千代田区九段南4-8-28
交 通 案 内	JR中央・総武線(各駅停車)市ヶ谷駅下車 徒歩2分 都営地下鉄新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅A2出口から徒歩1分

- ※ 授業講堂は、本学通信教育部ホームページの新着情報にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に通信教育部1号館1階掲示板に掲示します。

3 開講講座

月 曜 日	
講 座 名	担 当 講 師 名
英 語 F	八 木 茂 那 子
刑 法 II	関 正 晴
スピーチコミュニケーションII	パトリック マッコイ
西 洋 思 想 史 I	土 屋 瞳 廣
労 働 経 済 論	今 井 拓
教 育 原 論 / 教 育 の 思 想	宮 島 健 次
経 済 学 概 論	大 塚 友 美

火曜日

講座名	担当講師名
行政法Ⅱ	和知 賢太郎
民 法 I	根本 晋一
国文学講義Ⅳ(近世)	高橋 啓之
英米文学特 殊 講 義	岩城 久哲
経済学史	高橋 宏幸
中小企業論	山本 篤民
教育の歴 史	金 泰勲

水曜日

講座名	担当講師名
法 学	西山 雅晴
英 語 G	石川 勝
英 語 V	小田井 勝彦
国語学講義	保科 恵
英語学演習 D	佐藤 健児
考古学演習	小泉 龍人
生徒指導・進路指導論	野々村 新
英語科教育法Ⅳ	市川 泰弘

木曜日

講座名	担当講師名
英語 H	アレックス ブラウン
哲学基礎講読	石井 友人
アメリカ文学史	北原 安治
英文法	秋葉 倫史
貿易論	松原 聖
発達と学習	佐々木 心彩

金曜日

講座名	担当講師名
経済学	田村 和彦
英語 J	佐藤 恵一
国文学基礎講義	大川 真智子
英語学概説	田中 竹史
英米文学演習 E	佐藤 秀一
情報概論	一島 力男
商品学	鄭舜玉

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間 月曜日	時 間 18:30 ~ 21:25								
		授業日	1回目 10/20	2回目 10/27	3回目 11/10	4回目 11/17	5回目 12/1	6回目 12/8	7回目 12/15

※ 11月3日（月）及び11月24日（月）は祝日のため授業は実施しません。

※以下の月曜日開講の講座から1講座を選択してください。

曜日	講座コード	開講講座名	担当講師名	充當科目		併用	制限・注意					
				科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件			
月曜日	A1	英語 F	八木 茂那子	0041	英語 I	1年			I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				0042	英語 II							
				0043	英語 III	2年						
				0044	英語 IV							
	A2	刑法 II	関 正晴	0152	刑法 II		2年					
	A3	スピーチコミュニケーションII	パトリック マッコイ	0454	スピーチコミュニケーションII		2年		英文学専攻のみ申込可			
	A4	西洋思想史 I	土屋 瞳廣	0511	西洋思想史 I		条件参照		哲学専攻のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可			
	A5	労働経済論	今井 拓	0763	労働経済論		2年					
	A6	教育原論／教育の思想	宮島 健次	0901	教育原論	×	2年		本誌4ページを参照 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です			
				0904	教育の思想							
	A7	経済学概論	大塚 友美	0986	経済学概論		条件参照		経済学部のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可			

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆楽しくエッセイを読んでリーディング力をアップさせましょう [英語 F]

月曜日

開講単位：1単位 担当者：八木 茂那子

◆学修到達目標 初・中級レベルにある対象者の読解力向上を図ることを学習目標とします。

平易な英文を使って書かれた読み物を後戻りせずに文脈に沿って読む Slush Reading や Skimming, Scanning といった速読スキルトレーニングにより Native Speakers が話すスピードについていけるように、160wpm (一分間に 160 ワードのスピード) で英文が読めるようになることを目標とします。

◆授業方法 ユニットごとにやや易しめの英文を速読し、語彙チェックと内容理解を図ります。次に CD によるリスニングの演習でトピックセンテンスの把握、スキミングなどの練習を通して英語の文章構造パターンを学習、理解を深めるタスクを行います。できるだけ多く pair work や group activity の時間をつくり楽しく学習を進めたいと思います。

◆準備学修 短期集中の講座なので入念な準備が必要です。準備学習として以下のことをやってきて下さい。①テキストなしで CD を聴き話しの大意を掴むこと。②未知語に下線を引きながらテキストを黙読すること（意味の見当をつけてから辞書を引く）。③再び CD を聴きながら未知語の読み方をチェックすること。④CD と一緒に音読すること。⑤練習問題を2度解くこと（1度目は参考物無し、2度目はペンの色を変えて辞書や文法書を参照しながら解きます）。

◆授業計画 [各 170 分]

1回目	ガイダンス Unit 1 Reading 1 : A Pirate (Task 1 Speed Reading, Task 2 Vocabulary Check, Task 3 Reading Comprehension, Task 4 Pair Work, Task 5 Listening, Task 6 Pair Work) より 適宜
2回目	Unit 2 Reading 1 Hobbits (Task 1 Speed Reading, Task 2 Vocabulary Check, Task 3 Reading Comprehension (1), Task 4 Reading Comprehension (2), Task 5 Listening, Task 6 Pair Work) より 適宜
3回目	Unit 3 Reading 1 : A Return Flight from Space (Task 1 Speed Reading, Task 2 Vocabulary Check, Task 3 Reading Comprehension, Task 4 Listening, Task 5 Pair Work) より 適宜
4回目	Unit 4 Reading 1 : A traveler (Task 1 Speed Reading, Task 2 Vocabulary Check, Task 3 Reading Comprehension, Task 4 Listening, Task 5 Pair Work) より 適宜
5回目	Unit 5 Reading 1 : Struggling Youth (Task 1 Speed Reading, Task II Vocabulary Check, Task 3 Reading Comprehension (1), Task 4 Reading Comprehension (2), Task 5 Listening, Task 6 Pair Work) より 適宜
6回目	Unit 6 Reading 1 : Our World (Task 1 Speed Reading, Task 2 Vocabulary Check, Task 3 Reading Comprehension, Task 4 Listening, Task 5 Pair Work) より 適宜
7回目	Unit 7 Reading 1 : Writing Your Fears Away (Task 1 Speed Reading, Task 2 Vocabulary Check, Task 3 Reading Comprehension, Task 4 Listening, Task 5 Pair Work) より 適宜
8回目	Review Oral Test 筆記試験

◆教科書 丸沼『Fresh Starts (Rapid Reading for Fluency and Fun)』 八木茂那子・町田純子・Aaron Dodson 共著 (株) 南雲堂 CD付き 1,836円(税込)(送料300円)

◆参考書 英和中辞典（電子辞書可）

◆成績評価基準 筆記試験 50%+平常点（提出物、小テスト、発表、Oral Test 他）50%による総合評価（受講者のレベルにより調整を加えることがあります）。

昨年度からの継続受講可

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆刑法の定める犯罪の内容と特徴を理解する

〔刑法Ⅱ〕

月曜日

開講単位：2 単位 担当者：関 正晴

◆学修到達目標 刑法典の各則に規定する罪を中心に、保護法益、構成要件の特徴と構造を説明し、どうような行為が犯罪となるか等を学習し、社会に存在する犯罪行為の内容を理解できるようにする。

◆授業方法 基本的には、教科書に基いて授業を行う。適宜、実際に発生した事件を素材にして、それについての新聞記事、判例等を資料として配布し、その検討を通して刑法各論の重要項目を学習する。

◆準備学修 教科書を事前に読んで、基本的な知識について予習をしておくことを勧める。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	・刑法各論の大系、保護法益の分類等 ・生命身体に対する罪Ⅰ 殺人罪、自殺関与罪、同意殺人罪、傷害の罪
2回目	・生命身体に対する罪Ⅱ 過失傷害罪、過失致死罪、業務上過失致死傷罪、保護責任者遺棄罪等
3回目	・自由に対する罪 逮捕罪、監禁罪、脅迫罪、強制わいせつ罪、強姦罪
4回目	・名誉に対する罪 名誉毀損罪、侮辱罪 ・信用及び業務に対する罪 信用毀損罪、業務妨害罪等
5回目	・財産に対する罪Ⅰ 窃盗罪の基本構造、強盗罪、事後強盗罪、昏睡強盗罪
6回目	・財産に対する罪Ⅱ 詐欺罪 恐喝罪 恐喝罪・強盗罪・詐欺罪の区別
7回目	財産に対する罪Ⅲ 横領罪 業務上横領罪 遺失物横領罪、背任罪、毀棄及び隠匿の罪
8回目	社会的法益に対する罪 放火罪 国家的法益に対する罪 公務執行妨害罪

◆教科書 通材『刑法Ⅱ 0152』 通信教育教材（教材コード 000396） 2,250 円（送料込）

◆参考書 丸沼『法学刑法2各論』 設楽裕文編 信山社 1,566 円（税別）（送料 300 円）

◆成績評価基準 最終授業時の論述式筆記試験の結果で評価する。

◆授業相談（連絡先）：

◆ Speech Communication 2

〔スピーチミュニケーションⅡ〕

月曜日

開講単位：1 単位 担当者：パトリック マッコイ

◆学修到達目標 This course will focus on communication skills, mainly speaking and listening. The emphasis will be on using English in an authentic context and developing fluency.

◆授業方法 This course will be based on a topic-based syllabus where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used related to the topics. Students will then perform activities, which incorporate the language covered in the section such as group tasks or role plays. This course is open to all students; however, the language and activities are set for pre-intermediate to intermediate level language ability.

◆準備学修

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	Orientation: Introductions, Talking About Interests, Values Topic discussion
2回目	Cultural Differences
3回目	Types & Stereotypes
4回目	Obligations / Making Suggestions
5回目	Making Suggestions (Con't) / Conditionals
6回目	Future Plans & Predictions
7回目	Preparation / Presentations
8回目	Written & Oral Tests

◆教科書 No text will be required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook and a folder to keep handouts in.

◆参考書

◆成績評価基準 Grades will be based on attendance,in-class activities 70% , written and an oral exams 30% .

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ヘレニズム・ローマ時代の哲学

〔西洋思想史Ⅰ〕

月曜日

開講単位：2単位 担当者：土屋 瞳廣

◆**学修到達目標** 近年目覚しい研究の進展が見られ、その独自の意義が評価されつつあるヘレニズム・ローマ時代の哲学について講義します。ヘレニズムとは、いわば古代地中海世界におけるグローバリゼーションであり、その混沌とした時代状況は今日の我々を取り巻く状況に酷似しています。後の西洋思想の源流となるこの時代の哲学を学ぶことで、西洋哲学の根幹を理解するとともに、西洋の歴史と文化への理解を深めることができます。

◆**授業方法** 下記の授業計画に挙げたテーマを中心に、歴史的・社会的背景を交えて講義します。毎回、授業の終わりにコメント・カードに授業内容についての疑問点、意見、感想等を書いて提出してもらいます。受講者が少人数の場合には、コメント・カードの代わりに、口頭での質疑応答を取り入れることもあります。積極的に授業に参加されることを期待します。

◆**準備学修** 事前に市販の哲学史の解説書等を読んで、ヘレニズム期以前も含めて古代哲学史の流れを一通り知っておくことが望ましいです。受講期間中は、授業で紹介した翻訳書・参考書等を用いて、各自の関心に応じて、できる範囲で予習・復習に努めてください。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	古典期までの古代哲学の概観、小ソクラテス派、シノペのディオゲネス（通貨変造、世界市民主義）。
2回目	ヘレニズムとは何か（歴史と時代背景）、エピクロスとエピクロス派（快楽主義と原子論）。
3回目	ゼノンと初期ストア派（命題論理学、物質主義・現在主義、アパティアと賢者の理想）。ピュロンと古代懷疑主義（探究としての懷疑、エポケーとアタラクシア）。
4回目	ヘレニズム・ローマ時代の科学（アレクサンドリア、機械学）、ローマ帝国の歴史と社会。
5回目	キケロ（弁論術の伝統、ギリシャ哲学の受容）、セネカ（生涯と著作、ストア哲学の実践）。
6回目	解放奴隸エピクテトス（精神の自由）、哲人皇帝マルクス・アウレリウス（『自省録』、生きられたストア主義）、アカデマイア派とペリバトス派。
7回目	1～2世紀の思想（プラトン・アリストテレスの復興、新ピュタゴラス主義、古代のオカルティズム）、プロティノスと新プラトン主義（神秘主義、存在の階層）。
8回目	ボエティウス（古代の学問の継承、『哲学の慰め』）、古代の終焉と古代哲学の行方、試験。

◆**教科書** [当日資料配布] 当日プリントを配布します。

◆**参考書** 参考書は授業中に詳しく紹介します。

◆**成績評価基準** 試験 80%、平常点（コメント・カードや授業中の発言等）20%。

◆**授業相談（連絡先）：**

◆現代の労働問題：ブラック企業の政治経済学

〔労働経済論〕

月曜日

開講単位：2単位 担当者：今井 拓

◆**学修到達目標** 労働経済論では、資本制社会における労働問題の発生と展開を政治経済学の方法により分析していきます。本講では、独占資本主義、ホワイトカラー・知識労働者、サービス労働者の問題など、現代的なテーマを重視し、検討していきます。特に、今日の日本社会で大きな問題となっているブラック企業について取り上げます。

◆**授業方法** 70分の講義を行い、それを受けた10分でアクションペーパーを記述し、提出します。各講のアクションペーパーへの応答は、翌週の授業の冒頭で行います。

◆**準備学修** 木元進一郎監修（2008）『人間らしく働く』泉文堂書店、今野晴貴（2012）『ブラック企業—日本を食いつぶす妖怪』文藝春秋社を通読し、疑問点をピックアップし、質問等を考えておくこと。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	第1講 労働問題の政治経済学：労働力の商品化とその問題点 第2講 労働力商品の売買とブラック企業の「雇用関係」
2回目	第3講 直接的生産過程における利潤の追求 第4講 直接的生産過程の外部における利潤の追求：生産的労働と不生産的労働の労働コストの削減
3回目	第5講 独占資本と労働：独占価格、独占利潤、独占利潤の賃金への分配と労働者階級の分裂 第6講 工場労働の特徴
4回目	第7講 炭鉱労働 第8講 まとめと論述課題
5回目	第9講 ホワイトカラー労働：労働者階級の分裂と階級的利害対立 第10講 知識労働
6回目	第11講 サービス商品の価値論的特徴について 第12講 サービス労働論争
7回目	第13講 医療の営利化と看護労働の変質：社会サービスの商品化・営利化と労働の変質 第14講 ナーシング・ホームの悲劇：社会ファンドの削減と労働の変質
8回目	第15講 ブラック企業再論：ブラック企業は何故生じたのか、どのように克服するのか？ 第16講 論述試験

◆**教科書** [当日資料配布] レジュメ・資料を配布する。レジュメ・資料は毎回持参し、参照できるようにしておくこと。

◆**参考書** 丸沼『脱近代の労働観』杉村芳美 1990 ミネルヴァ書房 3,146円（税込）（送料350円）

Tilly and Tilly, 1998, WORK UNDER CAPITALISM, Westview Press, Korczynski and McDonald, ed., 2009, Service Work; Critical Perspectives, Routledge 等。

◆**成績評価基準** ① 論述試験 ② 論述課題 ③ アクションペーパーの内容 の総合

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆「いい」教育とは何かを考える

〔教育原論／教育の思想〕

月曜日

開講単位：2 単位 担当者：宮島 健次

◆学修到達目標 この授業では、これから教師になろうとする人たちに対して、教育へのさまざまな根源的問いを投げかけ、最終的に自らの理想の教育、すなわち「いい」教育とは何かを考え出すことを目的とします。この目的を達成するために、現代の教育理念を構成しているさまざまな教育思想を丁寧に読み解いていきます。

◆授業方法 教科書をもとにした授業を行います。しかし、ただ教科書を読むだけでは意味がありませんので、教科書の内容を講義担当者なりに解題したサブ・ノートの意味合いを持ったプリントを作成・利用し、受講者に「考える」ことを促していきます。

◆準備学修 下に指示した教科書を熟読してくること。このテキストを読んだことを前提に授業を展開していきます。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	ガイダンス／近代教育思想の根源～キリスト教の思想を学ぶ
2回目	コメニウス、ロックの思想を学ぶ
3回目	ルソー、ペスタロッチの思想を学ぶ
4回目	ヘルバート、フレーベルの思想を学ぶ
5回目	マン、デューイ、ニイルの思想を学ぶ
6回目	ブーバー、アリエス、イリイチの思想を学ぶ
7回目	近代教育思想から何を学ぶか①
8回目	近代教育思想から何を学ぶか②／最終試験

◆教科書 **丸沼**『教育思想のルーツを求めて—近代教育論の展開と課題—』 関川悦雄・北野秋男 啓明出版 2007年 1,882円（税込）（送料 300円）

◆参考書 授業中に指示します。

◆成績評価基準 以下の観点で、総合的に評価します。授業参加度（30%）、教科書の理解度（20%）、および最終回の授業内テスト（50%）

◆授業相談（連絡先）：

◆経済学の基本的潮流を理解する

〔経済学概論〕

月曜日

開講単位：2 単位 担当者：大塚 友美

◆学修到達目標 今日、経済学において人口要因はあまり考慮されてはいない。しかし、人口現象が経済事象に大きな影響を及ぼしていることは、まぎれもない事実である。本講義の目的は、この人口の観点から経済のミクロとマクロの両面を考察することを通して、①人間の経済活動に関するイメージを形成すること、②経済発展に関する基本的理論を理解すること、③現実の経済問題を自ら考える力を養成すること、の3点にある。

◆授業方法 授業は原則として講義形式を中心に行うが、必要に応じて、①現実の経済問題に関する事例研究、②模擬実験（シミュレーション）などを行うことにより、経済活動への理解を深めることを目指す。

◆準備学修 教科書・参考書をよく読み、ノートを作成する等の予習をしておくこと。また、授業終了後の復習において、講義の内容をチェックすること。なお、講義内容のうち教科書に記載されていない事項に関しては、資料のプリントなどを配布する。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	人口変動と経済活動。経済学の教科書では触れられることは少ない、人口変動の経済への影響について概説する。
2回目	人口と経済。第1回目の講義をさらに発展させて、人口変動と経済変動との相互作用について、理論と実証の両側面から考察する。
3回目	経済の成長と発展。経済が成長し発展する過程を、ハロッド＝ドーマー・モデル等を用いて概観した上で、簡易人口経済量モデルによる模擬実験を行うことによって、この因果関係の妥当性を実証的に確認する。
4回目	市場の仕組と機能。生産を行う場合、何を・誰のために・どれだけ生産するか、が重要になる。そこで、これを決定する市場について考察する。
5回目	家計の行動。生産物の消費者であり、また生産要素の企業への提供者でもある、という家計の行動の二面性を、理論的観点から考察する。
6回目	企業の行動。完全競争市場化における企業の行動と、独占企業の行動を理論的観点から概観した上で、それらの特徴と問題点を考察する。
7回目	景気変動。景気変動の意味と種類、これを引き起こす要因などを理論的側面から解説した後に、「加速度原理」を用いて景気変動が起こる過程を確認する。
8回目	有効需要の原理。ケインズが唱えた「有効需要の原理」の基本を概観した上で、その特徴と問題点等について論ずる。

◆教科書 **通材**『経済学概論 0986』 通信教育教材（教材コード 000244） 1,850円（送料込）

◆参考書 **丸沼**『Excel で学ぶ人口経済学』 大塚友美 創成社 1,944円（税込）（送料 300円）

◆成績評価基準 最終（期末）試験により評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間 火曜日

時 間	18:30~21:25							
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
授業 日	10/21	10/28	11/4	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9

※以下の火曜日開講の講座から 1 講座を選択してください。

曜日	講座 コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意		
				科目 コード	科目名		配当 学年	カリキュラム	受講条件
火曜日	B1	行政法Ⅱ	和知 賢太郎	0123	行政法Ⅱ		2年		
	B2	民 法 I	根本 晋一	0131	民 法 I		条件 参照		法律学科のみ 1 学年以上 申込可 その他は 2 学年以上申込可
	B3	国文学講義Ⅳ(近世)	高橋 啓之	0336	国文学講義Ⅳ(近世)		2年		
	B4	英米文学特殊講義	岩城 久哲	0431	英米文学特殊講義		2年		
	B5	経済学史	高橋 宏幸	0713	経済学史		2年		文理・経済・商学部のみ 申込可
	B6	中小企業論		0714	経済学説史				法学部のみ申込可
	B7	教育の歴史	山本 篤民	0848	中小企業論		2年		
			金 泰勲	0905	教育の歴史	×	2年		スクーリング 1 回の合格 で単位完成する科目です

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆行政運営の公正性と透明性・行政救済

〔行政法Ⅱ〕

火曜日

開講単位：2 単位

担当者：和知 賢太郎

◆学修到達目標 本講義は行政法体系の概略、特に、その制度と理論を把握することができるようになることを目標としています。そこで「行政法Ⅱ」では、主として、行政手続、情報公開制度、国家補償、行政救済を中止とした行政法理論についてできるだけ平易に説明して、行政と行政法への関心を深め、行政法を支える理論の概要を理解してもらいたいと思います。

◆授業方法 主として講義が中心となります。毎回、それぞれのテーマに応じて講義ノート中心として必要な資料（プリント）を配布します。講義内容はあらかじめパワーポイント原稿にしてありますので、プロジェクターを使用して講義を行います。

◆準備学修 原則として、毎週配布するプリントは次回の授業内容を含めたものになっています。講義時に講義ノート・プリントに各自が補った内容を確認しながら、次回の講義の準備としてテキストや講義で紹介する参考書などを読む、というサイクルを繰り返して下さい。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	① ガイダンス ② 行政活動の実効性の確保（行政上の強制執行、行政罰、行政上の即時強制）
2回目	① 適正手続と行政手続の法理（慈善手続、告知と聴聞、理由付記等） ② 行政手続法（申請に対する処分、不利益処分、届出等）
3回目	① 情報公開制度（制定の経緯、行政機関情報公開法の概要） ② 個人情報保護制度
4回目	① 国家賠償（公権力の行使と国家賠償責任） ② 営造物の設置・管理と国家賠償責任
5回目	① 損失補償と結果責任の制度 ② 行政救済のための手段（苦情処理制度、Ombudsman）
6回目	① 行政不服審査制度（不服申立て）
7回目	① 行政事件訴訟（1）取消訴訟
8回目	① 行政事件訴訟（2）その他の行政訴訟 ② 試験の実施

◆教科書 通材『行政法 I 0122』 通信教育教材（教材コード 000051） 2,650 円（送料込）

◆参考書 授業中に指示する。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、講義毎に実施する小テスト（40%）、試験（60%）で総合的に判断します。

◆授業相談（連絡先）：

◆民法総則の体系と基本論点

〔民法 I〕

火曜日

開講単位：2 単位

担当者：根本 晋一

◆学修到達目標 1 民法学における、民法総則の体系的な位置付を理解する。

2 民法総則の体系（全体像）を理解する。

3 1、2の理解および修得を前提として、民法総則に関する基本論点を理解する。

※ 民法 I は、民法 I～V のなかでもっとも平易な科目、という意味ではないので注意を要する。

◆授業方法 講義形式を採用する。シラバス（学習計画）は凡そその目安である。法改正や新判例、新論点を追加した場合、シラバスと進行に齟齬が生じる場合もある。なお、根本「民法 I スク2単位+根本「民法 I」スク2単位=「民法 I」1科目（4単位）完成は不可である。

◆準備学修 前回講義における板書事項を、しっかりと読み直していくこと。それが本講義における予習であり、準備学修である。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	ガイダンス、民法の基本原理・私権の主体・主権の客体①
2回目	民法の基本原理・私権の主体・主権の客体②
3回目	民法の基本原理・私権の主体・主権の客体③
4回目	法律行為①
5回目	法律行為②
6回目	法律行為③、条件と期限・期間・時効①
7回目	条件と期限・期間・時効②
8回目	条件と期限・期間・時効③ 調整と補遺・筆記試験（ただし、レポート試験を行う場合は実施しない）

◆教科書 指定しない。

◆参考書 通材『民法 I 0131』 通信教育教材（教材コード 000407） 2,300 円（送料込）

丸沼『民法総則講義』 第5版 山川一陽著 中央経済社 4,320 円（税込）（送料 350 円）

丸沼『要説 民法総則・物権法』 山川一陽著 法研出版 3,132 円（税込）（送料 300 円）

なお、その他の文献については適宜紹介をする。

◆成績評価基準 筆記試験またはレポートの成績（80%）・授業態度等（20%）を、総合的に考慮する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆「忠臣蔵」の世界観を考える

〔国文学講義IV（近世）〕

火曜日

開講単位：2 単位 担当者：高橋 啓之

◆**学修到達目標** 本講座では、当時から現代まで人気のある狂言『仮名手本忠臣蔵』について講義する。「忠臣蔵」ものというジャンルになるように、当時、様々なメディアで扱われた作品で、このようなメディアミックスによる作品化を知り、文学と営為について説明できるようになることを目標とする。

◆**授業方法** 講義を中心に進めていくが、理解を深めるため映像資料等を使用する。

◆**準備学修** 近世文学の背景と赤穂事件について予習しておいてください。おおまかな流れと梗概が理解できれば十分です。

◆**授業計画〔各 170 分〕**

1回目	十八世紀という時代の文芸 文運東漸と雅俗混交を学ぶ。
2回目	赤穂事件から『忠臣蔵』へ 赤穂事件の演劇化と『仮名手本忠臣蔵』の成立を見る。
3回目	鑑賞『仮名手本忠臣蔵』 歌舞伎と文楽の表現の違いを映像資料により考察する。
4回目	“草々紙”における「忠臣蔵」もの 山東京伝の黄表紙を読み、「パロディ」について考える。
5回目	話芸における「忠臣蔵」 講談や落語、浪曲を題材に、「スピノオフ」「メディアミックス」について考える。
6回目	『仮名手本忠臣蔵』以降と外伝① 『東海道四谷怪談』『松浦の太鼓』を例に周辺的な人物を取り上げ、「世界観」の拡大について考える。
7回目	『仮名手本忠臣蔵』以降と外伝② 前回に引き続き「世界観」について考察し、『松浦の太鼓』を鑑賞する。
8回目	川柳に詠まれた「忠臣蔵」及び最終試験 前半は川柳と「忠臣蔵」について考え、後半は最終試験とする。

◆**教科書** [当日資料配布] 当日プリントを配布する。

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 最終試験 (70%), 授業への積極性 (10%), レポート (20%)
なお、毎回出席することを前提として評価する。

◆**授業相談（連絡先）：**

◆激動時代のイギリス作家たち

〔英米文学特殊講義〕

火曜日

開講単位：2 単位 担当者：岩城 久哲

◆**学修到達目標** 社会が大きく変わろうとする時代にあって、パクス・ブリタニカの中でさまざまな自己表現を追い求めた作家について知り、説明できるようになることを目標とする。

◆**授業方法** 講義をベースにして、英文・日文の資料のコメントを求めたり、DVDに表現されている世界の意見を求める。

◆**準備学修** 授業計画に記した内容から、そのキーワード、専門事項などを事前に調べ意味を理解する。

◆**授業計画〔各 170 分〕**

1回目	C. ディキンズを中心にスコット、サッカレー。 ディキンズ文学の魅力を探りながら社会批判と愛のメッセージを知る。
2回目	T. ハーディ：日本人には理解しやすいが、祖国から反対をうけた暗い運命観を知り、ハーディ文学の魅力を探る。
3回目	J. コンラッド：英語を成人してから学び、作品を発表しつづけた異邦人の表現世界の魅力を探る。
4回目	H. ジェームズ：新旧世界を対比しつづけた知性の新しい小説手法の魅力を探る。
5回目	G. オーウェルを中心に、グリーン。政治に積極的に関わったオーウェル文学の魅力を探る。
6回目	J. ジョイス：現代と古代世界の精神を対比させた神話的方法を通して、ジョイス文学の魅力を探る。
7回目	T. S. エリオット：20世紀に大きな影響を及ぼした作家の聖杯探求の元型的物語の魅力を探る。
8回目	D. H. ローレンス：強烈な生命と性の哲学で注目されたローレンスの生命の哲学の魅力を探る。

◆**教科書** [当日資料配布] 当日プリント配布。

◆**参考書** 丸沼『イギリス文学史入門』 川崎寿彦 研究社 2,484 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** コメントシート、発表などの授業への取り組み (50%), 小テストなどの試験 (50%)

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆経済学の歴史を学び現代経済社会を考える

〔経済学史〕

火曜日

開講単位：2 単位 担当者：高橋 宏幸

◆学修到達目標 本講義では、19世紀中頃から20世紀中頃にかけて活躍したアメリカ制度学派の経済学者たちの思想と学説を学習し、彼らが展開した理論の基本的内容や展開過程について説明できるようになるとともに、今日彼らの理論が何故再び注目を集め再評価されているかをみていくことを通じて、経済学を「制度」やその「進化」の視点から考察できるようになることを到達目標とします。

◆授業方法 本講義は、基本的には板書とその解説を中心に進めます。補助資料としてプリントを使用することもあります。本講義は、専門科目ですので、「経済学」と「経済史」についての基礎知識をすでに修得していることを前提として講義を進めます。毎回講義に出席し、しっかりとノートをとることが重要です。

◆準備学修 特にテキストなどによる予習は必要としませんが、各回の授業内容を互いに結びつけて理解できるように、毎回の授業の前に、前回までの講義内容についてノート等で必ず復習しておいてください。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	1) イントロダクション：本講義における目標や目的、方法、講義内容全体についての概説 2) 経済学史とはどのような学問分野か：経済学史の学習目的、捉え方、研究方法等
2回目	1) アメリカ制度学派の概説：代表的人物、一般的特徴、時代背景など 2) T・ヴェブレン①：ヴェブレンの時代背景および思想形成過程
3回目	1) T・ヴェブレン②：ヴェブレンによる既存の経済学批判の視点 2) T・ヴェブレン③：ヴェブレンの人間性の概念（1）能動的主体としての人間把握
4回目	1) T・ヴェブレン④：ヴェブレンの人間性の概念（2）本能論の展開と製作本能論 2) T・ヴェブレン⑤：ヴェブレンの制度概念、制度とは何か、人間行為論と制度論
5回目	1) T・ヴェブレン⑥：ヴェブレンの制度進化の理論の理論的枠組み—制度はいかに進化するか— 2) T・ヴェブレン⑦：ヴェブレンの制度進化のプロセス（1）—原始未開段階～略奪的段階—
6回目	1) T・ヴェブレン⑧：ヴェブレンの制度進化のプロセス（2）—略奪的段階～現代金銭文化段階— 2) W・C・ミッケル①：ミッケルの生涯、思想形成、経済学の basic concept
7回目	1) W・C・ミッケル②：ミッケルの資本主義経済制度の把握の仕方—「金もうけ」と「財生産」 2) J・R・コモンズ①：コモンズの生涯、思想形成、経済学の basic concept
8回目	1) J・R・コモンズ②：コモンズの資本主義経済制度の把握の仕方—ゴーング・コンサークの概念 2) 単位認定試験

◆教科書 使用しない。

◆参考書 丸沼『経済学の歩み』 山口正春 川村哲章 高橋宏幸 著 三恵社 2,468 円（税抜）（送料 300 円）
この他にも必要があれば、適宜授業中に紹介します。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、単位認定試験（最終試験）100%で評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆中小企業の経済・社会的役割を学ぶ

〔中小企業論〕

火曜日

開講単位：2 単位 担当者：山本 篤民

◆学修到達目標 日本の企業数の99%以上は中小企業であり、常用雇用者・従業者の約70%が中小企業で働いている。しかし、中小企業は、大企業と比べると新聞やニュースで取り上げられる機会が少ないとともあり、その経営の実態や日本の経済・社会のなかで果たしている役割が必ずしも理解されていない。本講義では、「中小企業論」研究を踏まえ、中小企業の経済・社会的な役割について学んでいく。

◆授業方法 講義では、中小企業の実態を理解するために、文献だけではなく映像資料なども活用していく。受講生の問題関心や意見を講義に反映させるために、講義中に質疑応答を行う。積極的に発言してもらいたい。また、講義内容の理解度を確認するために、小レポートを書いてもらう。

◆準備学修 『中小企業白書』や参考書の欄に記した書籍を一読することを勧めたい。また、日頃から経済動向や企業経営に関する新聞やニュースをみてもらいたい。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	①「中小企業論」の学習方法についての説明。②「中小企業論」研究の意義、目的について理解する。③中小企業の定義と数量的な把握。
2回目	①戦後復興期の中小企業。②高度経済成長期の中小企業。戦後復興期から高度経済成長期にかけて、国内の中小企業が直面してきた課題と発展過程を明らかにする。
3回目	①減速経済期の中小企業。②90年代不況期以降の中小企業。減速経済期から今日にかけて、国内の中小企業が直面してきた課題と発展過程を明らかにする。
4回目	①「工業立地論」と「産業集積論」。②国内各地の産業集積の分布。③都市型集積と中小企業。工業立地論や産業集積論の理論を学ぶとともに、国内の産業集積の分布状況を概観する。
5回目	①産地型集積と中小企業。②伝統工芸品産地と中小企業。産地の生産・流通構造を理解するとともに、産地の中小企業の発展の可能性を考察する。
6回目	①商店街と中小企業。②商業調整策の変遷。国内の商店街の動向を概観する。また、百貨店法や大店法といった商業調整策がどのような変遷をたどったかを理解する。
7回目	①経済民主化型の中小企業政策。②中小企業基本法。③知識集約化政策。④競争政策型中小企業政策。戦後の中小企業政策の展開をたどりながら、各時代の中小企業問題を理解する。
8回目	おさらいとまとめ試験

◆教科書 指定しない。〔当日資料配布〕 当日プリント配布。

◆参考書 丸沼『21世紀中小企業論 第3版』 渡辺幸男・小川正博・黒瀬直宏・向山雅夫 有斐閣 2,376 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『中小企業の国際化戦略』 額田春華・山本聰編著 同友館 2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準 試験 70%，小レポート 30%。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆教育の歴史に学び生き方を考えよう

[教育の歴史]

火曜日

開講単位：2 単位

担当者：金泰勲 キム テーフン

◆学修到達目標 教育学の各専門科目や教職課程の人にとって、心理学や哲学とともに欠かせないものが歴史学である。歴史というのは、それだけ人間の生活の中で欠かせないものである。本講義では、その教育の歴史を、日本教育史を中心に、教育に関する歴史的考え方の基礎を身に付けることを学習目標とする。

◆授業方法 原則的に講義の形式で進めるが、毎週講義の終了間際に、その日取り上げた内容からテーマを選定し、小論文としてまとめていただく。翌週、その小論文の中からランダムに数名のものを選び、それに基づき、ディスカッションを行う。ディスカッションには受講者の積極的な参加を願う。

◆準備学修 毎週必要に応じて紹介する。教育史関係の文献や論文などを多く読んでいただきたい。

◆授業計画 [各 170 分]

1回目	ガイダンス、明治5年「学制」公布から近代学校の設立過程について学ぶ
2回目	戦前の学校や教育制度について学ぶ
3回目	日本の植民地教育政策1（台湾）について学ぶ
4回目	日本の植民地教育政策2（朝鮮編）について学ぶ
5回目	「第1次アメリカ教育使節団報告書」（1946年3月30日）について学ぶ。連合国軍最高司令官総司令部（GHQ/SCAP）の要請によりアメリカ合衆国から派遣された教育使節団による報告書である。この報告書に基づき、日本の教育目的および内容、制度などが決まる。
6回目	「第2次教育使節団報告書」（1950年9月22日）について学ぶ。 1次報告書による提言がどこまで行われたのか？
7回目	臨時教育審議会、中央教育審議会、教育改革国民会議、教育済生会による教育改革を中心に改革について学ぶ。
8回目	総括及びテスト

◆教科書 なし。[当日資料配布] 毎週、資料を提供する。

◆参考書 毎週、必要に応じて紹介する。

◆成績評価基準 テスト及び平常点。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間 水曜日	時間 18:30 ~ 21:25								
		授業日 10/22 10/29 11/5 11/12 11/19 11/26 12/3 12/10	1回目 10/22	2回目 10/29	3回目 11/5	4回目 11/12	5回目 11/19	6回目 11/26	7回目 12/3

※以下の水曜日開講の講座から1講座を選択してください。

曜日	講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意		
				科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
水曜日	C1	法 学	西山 雅晴	0021	法学(日本国憲法2単位を含む)		1年		
	C2 英 語 G	石川 勝	0041	英 語 I		1年		I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0042	英 語 II					
			0043	英 語 III					
			0044	英 語 IV					
	C3	英 語 V	小田井 勝彦	0045	英 語 V		2年		英文学専攻のみ申込可
	C4	国語学講義	保科 恵	0314	国語学講義		2年		
	C5 英語学演習 D	佐藤 健児	0481	英語学演習 I		× 3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0482	英語学演習 II					
			0483	英語学演習 III					
	C6 考古学演習	小泉 龍人	0698	考古学演習 I		× 3年		史学専攻のみ申込可 I・IIのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0699	考古学演習 II					
	C7	生徒指導・進路指導論	野々村 新	0944	生徒指導・進路指導論	×	2年		スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
	C8	英語科教育法 IV	市川 泰弘	0962	英語科教育法 IV	×	2年		英文学専攻のみ申込可 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆携帯電話で法情報を取ろう

〔法学〕

水曜日

開講単位：2 単位 担当者：西山 雅晴

◆学修到達目標 事例を中心に授業を進め、内容をよりよく知るために、携帯等の機器を利用する方法を身に着けてもらいたい。

◆授業方法 内外の法律、判例、論文を検索してもらいます。このため、充電池を用意するなど電源の確保にご注意ください。教室内のコンセントには限りがあります。

◆準備学修 授業計画に示された内容は、通信教育部の教材であらかじめ読んでおいてください。掲載がない事柄については携帯等で検索し、あらかじめ読んでおいてください。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	携帯電話で、法律、判例、論文を検索する方法の注意点をお知らせします。 法とは何か、法の概念を話します。
2回目	法と道德、慣習、宗教との関係、法と正義の関係を取り上げます。
3回目	国家と法について、国家の基本法の憲法を中心に基本的人権を取り上げます。さらに、米国の権利章典も見ます。
4回目	国民は違法な行政権の行使をどのように争うことができるのか。行政訴訟の対象とは、誰が行政訴訟を提起することができるのか。
5回目	犯罪に対して国家はいかなる姿勢にあるのか。犯罪の成立要件、犯罪の種類についても述べます。米国の刑法をも検索します。
6回目	家族にとって法とは何か。婚姻とは、夫婦間の争いなどを取り上げます。米国での婚姻制度の流れの変化を判例検索します。
7回目	親子との間の法とは。嫡出子、特別養子、子の監護などを中心に、児童虐待までも考察したい。
8回目	裁判制度の簡単な解説の後、試験（60分）を行います。

◆教科書 上記の内容が解説された本ならなんでも構いません。また、授業中に検索等で復習箇所を指示させてもらいます。

◆参考書 ネットで検索してもらいます。

◆成績評価基準 試験。

◆授業相談（連絡先）：

◆英語の読解力の強化

〔英語 G〕

水曜日

開講単位：1 単位 担当者：石川 勝

◆学修到達目標 TOEIC 用の教材を使いビジネスの現場に即した英語力を身に着けることを目標とする。レベル的には中程度で、上級所向ではない。

◆授業方法 授業中はアトランダムに指名して答えてもらう。1回の授業で 1 unit 終える予定である。予習していない場合は単位を認めない。

◆準備学修 1回目の授業の前に Unit 7 の Grammer と Reading Comprehension を全訳し答えを考えておくこと。2回目以降は前の週に指示された個所を訳していく。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	ガイダンス Unit 7
2回目	Unit 8
3回目	Unit 9
4回目	Unit 10 小テスト
5回目	Unit 11
6回目	Unit 12
7回目	Unit 13
8回目	Unit 14 小テスト

◆教科書 丸沼『Power-Up Practice for the TOEIC Test』 英宝社 2,052 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 授業中に指示する。

◆成績評価基準 皆出席を前提とし、2回の小テストの結果で成績をつける。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語で読む短編小説

〔英語V〕

水曜日

開講単位：1 単位 担当者：小田井 勝彦

◆学修到達目標 「英語V」は、文学専攻（英文学）の学生を対象にし、今後の学科での学習に必要な英語力養成を完成させる授業です。この授業では、まずは文章を正確に読むことを主眼に置きつつ、英語圏の短編小説を3作品鑑賞し、「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」段階へと進むことを目指します。

◆授業方法 受講者に1文ずつ英文を日本語に訳してもらったのち、文構造の解説、内容の解説を教員が行なっていきます。英語をしっかりと読んで考えていただくため、作品名は最終日まで伏せますが、最終日に作家と作品の解説をいたします。

◆準備学修 物語の文脈をよく考えながら、辞書をよく引き、プリントの英文を日本語に訳してきて下さい。

◆授業計画 [各 170 分]

1回目	ガイダンス（授業の進め方、成績評価についてなど） 1作品目の読み解きと鑑賞（作品の前半3分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります）
2回目	1作品目の読み解きと鑑賞（作品の中盤3分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります）
3回目	1作品目の読み解きと鑑賞（作品の後半3分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります）
4回目	2作品目の読み解きと鑑賞（作品の前半2分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります）
5回目	2作品目の読み解きと鑑賞（作品の後半2分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります）
6回目	3作品目の読み解きと鑑賞（作品の前半2分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります）
7回目	3作品目の読み解きと鑑賞（作品の後半2分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります）
8回目	取り上げた作家と作品についての解説 テスト

◆教科書 事前資料送付 プリント使用（事前に配布）。

◆参考書 『ジニアス英和辞典』など学習用英和辞典

◆成績評価基準 試験 70%, 平常点（発表、受講状況など）30% ※毎回出席することを前提としています。

◆授業相談（連絡先）：

◆言葉に注目して古典文学を読む

〔国文学講義〕

水曜日

開講単位：2 単位 担当者：保科 恵

◆学修到達目標 平安朝初期に成立した伊勢物語の本文を、一字一句をおろそかにせずに読んでいきます。注や現代語訳に頼るのではなく、自分の力で古典の作品を読むことができるようになることが目標です。

◆授業方法 伊勢物語の前半部を中心に読んで行きますが、作品の内容を鑑賞すること自体は必ずしも主たる目的ではありませんので、随時関連する別の作品・事項にも触れることにします。また、受講者の数や進行状況によって、適宜授業の方法や内容を変更する場合があります。

授業中に小テストを行う場合があります。また、指名してテキストを読んでもらいます。

◆準備学修 特別な準備は必要ありませんが、説明された内容を鵜呑みにするのではなく、常に疑問を持つ姿勢を持つことを希望します。

◆授業計画 [各 170 分]

1回目	はじめに 平安時代の仮名文学について
2回目	伊勢物語読み解き（その1） 初段～第2段
3回目	伊勢物語読み解き（その2） 第4～5段
4回目	伊勢物語読み解き（その3） 第6段
5回目	伊勢物語読み解き（その4） 第9段（その1）
6回目	伊勢物語読み解き（その5） 第9段（その2）
7回目	伊勢物語読み解き（その6） 第10～13段
8回目	まとめ

◆教科書 丸沼『伊勢物語』 永井和子 笠間書院 1,058円（税込）（送料300円）

◆参考書 特になし。

◆成績評価基準 平常点（40%）・試験（60%）

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語の進行形を洗う

[英語学演習 D]

水曜日

開講単位：1 単位 担当者：佐藤 健児

◆**学修到達目標** 中学校や高等学校では、英語の進行形は動作動詞とのみ共起し、「～ている」という意味を表すと教わります。しかし、The bus **is stopping**. は「バスが止まっている」という意味ではありませんし、Nancy **is being kind for the moment.** は適格となります。なぜでしょう？この授業では、G. N. Leech の *Meaning and the English Verb* の精読を通して、英語の進行形を学習します。専門的な英文を読みこなす力を養成するとともに、進行形の本質的意味を理解し説明できるようになること、それを本演習の目標とします。

◆**授業方法** 輪読形式でテキストを読み進めます。指名された学生にはテキストの音読と和訳（説明）をしてもらい、その後、教員が内容の確認、解説をしていきます。必要に応じてほかの文献やプリントも参照します。

◆**準備学修** 第2章 Progressive Aspect (p.18) から読み進めていきます。予習をする際には、辞書や教科書（参考書）に挙げた文献等を参照しながらできるだけ丁寧に（文法や語彙の知識に基づいて）英文を「精読」するよう心がけてください。なお、受講者の様子を見ながら授業を進めていきますので、授業計画はあくまで「参考」です。

◆**授業計画【各 170 分】**

1回目	Aspect (アスペクト) 進行形概説 (§ 27)
2回目	進行形に見られる 3 つの意味特性 (§ 28) 継続性 (§ 29)
3回目	限られた継続性 (§ 30) 未完了性 (§ 31)
4回目	未完了性 (§ 31 (§ 31b は除く))
5回目	時間枠の理論 (§ 32 (§ 32a, b は除く))
6回目	時間枠の理論 (§ 33 (§ 33a は除く))
7回目	動詞の分類 (§ 34) 瞬間動詞・移行的出来事動詞 (§ 35)
8回目	総まとめと試験

◆**教科書** 丸沼『Meaning and the English Verb (Third Edition)』Geoffrey Leech 著・澤田治美 注釈 ひつじ書房 2,592 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 丸沼『英文法解説（改訂三版）』江川泰一郎 著 金子書房 1,836 円（税込）（送料 350 円）

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（予習状況・発表等）・試験により総合的に評価します。

◆**授業相談（連絡先）：**

◆古代オリエントの食文化

[考古学演習]

水曜日

開講単位：1 単位 担当者：小泉 龍人

◆**学修到達目標** 本授業では、古代オリエントの人々の暮らしに深く関わっていた食文化に注目して、われわれにとっていかに馴染のある食が作り出されたのかを考古学的な目線で捉えることを目標としています。具体的には、パン、ビール、ワイン、チーズ・バターなど、古くから利用されてきた食に関して議論を深めながら、歴史・料理・食の楽しみなどの理解を目指します。

◆**授業方法** 初回に講師が古代オリエントにおける食文化について概説します。2回目以降、毎回数名の発表・討論、最終回に総合討論を行ないます。毎回、各自興味のあるテーマについて1人 15～20 分程度の発表後、その歴史とともに、作り方や食べ方などについて、30～40 分程度の討論を全員で行ないます。対象地域は、メソポタミア（西アジア）、インダス（南アジア）、エジプト（北アフリカ）などを想定しています。

◆**準備学修** 各自の発表するテーマ選択と発表日程について、初回授業までに相談して割り振る予定です。どのあたりの地域、いつごろの時代、どのような食について発表してみたいのかを予め思案しておいてください。まず、興味のある地域・時代・食を大まかに設定してから、関連する概説書や図録などを調べておくと良いでしょう。

◆**授業計画【各 170 分】**

1回目	ガイダンス 講師による概説（古代オリエントのパン、ビール、ワイン）
2回目	受講者による発表・討論 テーマ（コムギの利用：パンなど）
3回目	受講者による発表・討論 テーマ（オオムギの利用：ビールなど）
4回目	受講者による発表・討論 テーマ（ムギ類の利用：全般）
5回目	受講者による発表・討論 テーマ（ブドウの利用：ワインなど）
6回目	受講者による発表・討論 テーマ（家畜の利用：乳製品など）
7回目	受講者による発表・討論 テーマ（食文化全般）
8回目	総合討論 まとめ・補足

◆**教科書** [当日資料配布] 当日プリント配付。

◆**参考書** 授業にて適宜指示。

◆**成績評価基準** 発表内容（50%）、討論（30%）、授業態度（20%）。毎回、積極的な発言を期待しています。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ガイダンスの意義と方法を考える

[生徒指導・進路指導論]

水曜日

開講単位：2 単位 担当者：野々村 新

◆**学修到達目標** ガイダンスを抜きにして教育を語ることはできないと言われます。本科目ではガイダンスの意義・目的、必要性を取り上げるとともに、生徒指導の意義・目的および最近その新しい方向性が示されたキャリア教育とその中核をなす進路指導の意義・目的と指導方法・内容に関する理解を深めることを目的とします。

◆**授業方法** 講義形式で行いますが、多くの最新資料を配布します。毎回、講義内容がどのような意義を有し、それが児童・生徒・学生および社会にとってどのような意味を持つかを理解する必要があります。

◆**準備学修** 毎回の授業後に次回の講義内容を示しますので、教科書の該当箇所を熟読して授業に臨んでください。また、授業後には教科書と照合しながらノートの整理を行うことが大切です。

◆授業計画【各 170 分】

1回目	ガイダンスの歴史的発展、ガイダンスの意義と必要性、生徒指導の意義・目的、指導方法について学びます。
2回目	進路指導の歴史的発展、“出口指導”ではない“本来の進路指導”的意義について学びます。
3回目	進路指導における指導領域（1）個人理解の意義・内容・方法について学びます。
4回目	指導領域（2）進路情報の理解と活用、（3）啓発的経験の指導について学びます。
5回目	指導領域（4）進路相談、（5）進路先決定の指導・援助について学びます。
6回目	指導領域（6）追指導と進路指導の評価、アメリカにおけるキャリア教育について学びます。
7回目	わが国におけるキャリア教育の導入の経緯、その必要性と意義・目的、指導方法について学びます。
8回目	教育基本法・学校教育法の改正等をふまえたキャリア教育の新しい方向・在り方について学びます。

◆**教科書** 通材『生徒指導・進路指導論 0944』 通信教育教材（教材コード 000397） 1,850 円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『改訂 生徒指導・教育相談・進路指導』 野々村新ほか編著 田研出版 2,592 円（税込）
(送料 300 円)

◆**成績評価基準** 授業への取り組み、試験により総合的に評価します。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆新しい英語教員をめざして

[英語科教育法IV]

水曜日

開講単位：2 単位 担当者：市川 泰弘

◆**学修到達目標** 本講義ではこれまで行われてきた英語教育、さまざまな教授法を概観しながら、日本の英語教育の現状を理解し、教える側の資質、能力はどのようなものであるべきかを考えていきます。また、学校で英語を教える場合のソフト面・ハード面についても考察していきます。

◆**授業方法** グループディスカッションを中心にテーマごとにまとめてもらい発表してもらいます。したがって、事前に教科書を熟読して、積極的に講義に参加してもらいたいと思います。

◆**準備学修** 講義では事前に学習し、理解した内容に踏まえ、新たな資料等を用いて、テーマディスカッションをもらうことになります。従って、教科書は事前にそれぞれのテーマに関わる部分を読み、自分でまとめてみてください。

◆授業計画 [各 170 分]

1 回目	オリエンテーション、日本の英語教育の歴史－明治時代と日本の英語教育、戦前・戦中の英語教育、戦後の英語教育、テーマディスカッション
2 回目	学習指導要領について：目的、言語教材、受験英語 テーマディスカッション
3 回目	英語教授法について：教授法の流れ、分類、主な教授法の特徴 テーマディスカッション
4 回目	第1言語習得と第2言語習得 テーマディスカッション
5 回目	最近の英語教育の動向：英語教育と国際理解教育、小学校での英語教育 テーマディスカッション
6 回目	最近の英語教育の動向：英語教育と国際理解教育 テーマディスカッション
7 回目	最近の英語教育の動向：中学校・高等学校での英語教育 テーマディスカッション
8 回目	英語教員の役割と要件、指導方法の改善 テーマディスカッション

◆**教科書** 通材『英語科教育法Ⅱ 0997』 通信教育教材（教材コード 000490） 3,300 円（送料込）

〈この教材は市販の『新しい時代の英語科教育の基礎と実践』 JACET 教育問題研究会（三修社）と同一です〉
※講座名は「英語科教育法IV」ですが、「英語科教育法III」の教材を使用します。

◆**参考書** 因沼『英語授業改善のための処方箋：マクロに考えミクロに対処する』 金谷 憲著 大修館書店
1,944 円（税込）（送料 300 円）

Brown, H.D. "Teaching by Principles - An Interactive Approach to Language Pedagogy (3rd Edition)" Longman

◆**成績評価基準** 発表・レポートなどで総合的に判断します。詳細は第1回目の講義で説明します。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間 木曜日	時間 18:30 ~ 21:25									
		授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
			10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11

※以下の木曜日開講の講座から1講座を選択してください。

曜日	講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意					
				科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件			
木曜日	D1	英語 H	アレックス ブラウン	0041	英語 I	1年	I ~ IV のいずれに該当させるのか	充当科目コードを必ず記入してください。				
				0042	英語 II							
				0043	英語 III	2年						
				0044	英語 IV							
	D2	哲学基礎講読	石井 友人	0091	哲学基礎講読	条件参照	哲学専攻のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可					
	D3	アメリカ文学史	北原 安治	0414	アメリカ文学史	2年						
	D4	英文法	秋葉 倫史	0445	英文法	条件参照	英文学専攻のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可					
	D5	貿易論	松原 聖	0822	貿易論	2年						
	D6	発達と学習	佐々木 心彩	0906	発達と学習	×	2年	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です				

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆ English Communication Skills

〔英語 H〕

木曜日

開講単位：1 単位

担当者：アレックス ブラウン

◆**学修到達目標** This course will focus on communication skills, mainly speaking and listening. The emphasis will be on using English in an authentic context and developing fluency.

◆**授業方法** This course will be based on a topic-based syllabus where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used related to the topics. Students will then perform activities which incorporate language covered in the section such as group tasks or role plays.

◆**準備学修** This course is open to all students. There are no pre-requisites for this course. Students will be graded on their efforts given during their time in the course.

◆授業計画〔各 170 分〕

1 回目	Introduction. Topic 1.
2 回目	Topic 1 and Topic 2.
3 回目	Topic 1 Quiz and Topic 2 cont.
4 回目	Topic 2 Quiz, Topic 3 and Group Presentation.
5 回目	Topic 3 and Topic 4.
6 回目	Topic 3 Quiz and Topic 4 cont.
7 回目	Topic 4 Quiz and Group Presentation.
8 回目	Group Presentation and Test.

◆**教科書** No text will be required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook and a folder to keep handouts in.

◆**参考書** Please have access to a dictionary.

◆**成績評価基準** Grades will be based on attendance, two written tests, vocabulary quizzes and 2 presentations.

◆授業相談（連絡先）：

◆『論理学、別名思考の技法』を読む

〔哲学基礎講読〕

木曜日

開講単位：2 単位

担当者：石井 友人

◆**学修到達目標** 17世紀フランスの古典、アルノー・ニコル共著『論理学、別名思考の技法』を、第一部「観念について」を中心に読み進め、哲学書の読解に慣れていくことを目的とします。この著作に影響を与えた同時代のデカルトやパスカルの基本概念も併せて確認しながら、どのような問題意識を著者たちが持っていたのかを考えていきます。

◆**授業方法** 講義形式で行いますが、履修者の皆さんのお意見を求めることがあります（講読の進度により、授業計画に変更を加える場合もある）。

◆**準備学修** 教科書所収『論理学、別名思考の技法』の第一部「観念について」の全体に目を通しておいて下さい（「緒言」や「前文」、訳者による解説などにも）。分かりにくかった部分、特に、納得がいかなかったり、奇妙に感じた部分にはチェックを入れるようにして読んでみて下さい。そうした部分から、読解するみなさん自身の前提や問題意識が浮かんでくるかもしれません。

◆授業計画〔各 170 分〕

1 回目	『論理学、別名思考の技法』の背景の説明、「緒言」等を読む。 アルノーの観念説（1）—アルノーとデカルトとの関係。
2 回目	アルノーの観念説（2）—観念とは何か、また、その起源について。
3 回目	アルノーの観念説（3）—事物の観念と記号の観念。
4 回目	アルノーの観念説（4）—明晰な観念とはどのような観念であるのか？ 心身問題について。
5 回目	アルノーの観念説（5）—いかにして曖昧な観念を退け得るのか？ 事物の定義と名前の定義。
6 回目	アルノーの観念説（6）—第十章「道徳から取り出された不分明な観念のいくつかの例」について。 この章は何について書かれた章なのか？
7 回目	アルノーの観念説（7）—アルノーとパスカルとの差異について。
8 回目	まとめ。授業内試験。

◆**教科書** 通材『哲学基礎講読 0091』 通信教育教材（教材コード 000042） 3,650 円（送料込）

◆**参考書** 講義の中で紹介します。

◆**成績評価基準** 授業内試験（70%）、平常点（30%）により評価。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆アメリカ文学の歴史と変遷を理解する

〔アメリカ文学史〕

木曜日

開講単位：2 単位 担当者：北原 安治

◆学修到達目標 アメリカの建国から 20 世紀までのアメリカ文学の流れを学び、各作家の特徴を理解できるようになる。

◆授業方法 テキストを最初から読んで行きます。文法構造を把握して、英文がしっかりと読めることが前提となります。映像資料を活用し、米文学史の全体的な流れを把握します。多くの作家に触れたいのですが、重要とされる作家に時間を割く場合があるので、必ずしも予定どおりにはいかないこともあります。また英語教育や日本文学関係および文学が扱う生き方の指針になるような幅広い映像も見せる予定です。テキストにある各作家の作品からの引用をしっかりと読める英語力をつけて欲しいです。気に入った作家がいたら事前に作品を読んでみるとか、DVD を借りて見てみるとかすればいいでしょう。村上春樹の新訳で話題のフィツ杰ラルドの『華麗なるギャツビー』の DVD などおすすめです。

◆準備学修 テキストの英文を 3～5 行おさに手書きでノートに写す。文法構造と和訳を付ける。ノート検査を最終の試験日にする。単語を調べて自分なりの訳をする。テキストの最後に参考文献があるので予習の参考にする。抜き打ちの実力テストをやる場合があるので辞書必携。試験は持ち込み無し。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	映像資料視聴。テキストはじめから一回3～5人の作家の予定。
2回目	映像資料視聴。一回3～5人の作家の予定。
3回目	映像資料視聴。テキストはじめから一回3～5人の作家の予定。
4回目	映像資料視聴。テキストはじめから一回3～5人の作家の予定。
5回目	映像資料視聴。テキストはじめから一回3～5人の作家の予定。
6回目	映像資料視聴。テキストはじめから一回3～5人の作家の予定。
7回目	映像資料視聴。テキストはじめから一回3～5人の作家の予定。
8回目	映像資料視聴。テキストはじめから一回3～5人の作家の予定。試験。

◆教科書 丸沼『An Outline of American Literature (アメリカ文学概観)』 井上謙治編著 南雲堂
1,296 円（税込）（送料 215 円）

※『アメリカ文学史 0414』通信教育教材とは別の教科書ですので御注意ください。

◆参考書 テキスト 47 ページ参照。中型辞書を持ってくること。

◆成績評価基準 小テスト、試験などによる総合評価。皆出席を望みます。

◆授業相談（連絡先）：

◆英文法を再考する

〔英文法〕

木曜日

開講単位：2 単位 担当者：秋葉 倫史

◆学修到達目標 本授業では、これまで学習してきた学校文法を改めて検討することで、英文法についてより深く理解することを目標とする。様々な例文の適格性を追求することで、英文法を考える力を養う。序盤・中盤は文の意味に焦点を当て、終盤では文の構造に注目して授業を展開する。

◆授業方法 基本的にはプリントを用いた講義形式をとるが、必要に応じて各文法事項に関わる問題演習や専門書の英文を検討する演習も取り入れる。なお、受講者の状況に合わせて進度を調整することもある。

◆準備学修 授業計画を参考に、次回授業で扱う文法事項について、下記参考書やその他の英文法書を用いて基本的知識を確認しておくことが求められる。また、事前に配布された資料は目を通し、内容を確認しておく必要がある。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	1. ガイダンス 2. 時制と相 3. 過去時制と現在時制
2回目	未来表現
3回目	進行形
4回目	完了形
5回目	法助動詞
6回目	1. 英語の構文 (1) : 二重目的語構文 2. 英語の構文 (2) : 使役文
7回目	1. 英語の構文 (3) : 受身文 2. 英語の構文 (4) : there 構文
8回目	1. 文法化と意味変化 2. 試験

◆教科書 当日資料配布 授業プリントを配布します。

◆参考書 丸沼『英文法解説 (改訂三版)』 江川泰一郎 著 金子書房 1,836 円（税込）（送料 350 円）

◆成績評価基準 試験 (60%), 授業への取り組み (40%) を総合的に評価する。ただし、全出席を前提として評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆世界をめぐるヒト・モノ・おカネの動き

(貿易論)

木曜日

開講単位：2 単位 担当者：松原 聖

◆**学修到達目標** 国際貿易、国際収支、外国為替に関する問題を中心とする日本経済・世界経済の諸問題について、履修者が基礎的な知識を得て、同時に分析能力を養うことを狙いとします。主なトピックは以下の通りです：

(1) 日本の対外取引の現状、(2) 貿易の利益と国内問題、(3) 貿易実務の基礎、(4) 国際収支、(5) 外国為替市場と為替レート、(6) 海外直接投資と貿易構造。

◆**授業方法** 講義においては理論の説明だけでなく、統計データや日本経済新聞の記事などを元に、学習到達目標に挙げた諸問題を説明します。講義当日の日本経済新聞朝刊を持参すると良いでしょう。各講義日の最後にその日の講義のまとめと、現実のトピック・時事問題に関するディスカッションなどを行う予定です。質問・意見を歓迎します。

◆**準備学修** 新聞・雑誌やテレビ・インターネットの経済ニュースに目を通して、日本経済・世界経済に関する時事問題についての知識を深めておくと、講義の理解に役立ちます。講義で用いる経済学のツール（需要・供給分析）は講義中でも説明しますが、あらかじめ経済学の入門テキスト（参考書参照）の目を通しておくと、講義を理解しやすくなります。

◆**授業計画【各 170 分】**

1回目	①イントロダクション（講義の概観）②データでみる日本の貿易 ③比較優位の原理 I: リカードの貿易理論④本日のまとめとディスカッション
2回目	①比較優位の原理 II: ヘクシャー・オリーンの貿易理論 ②本日のまとめとディスカッション
3回目	①自由貿易と保護主義 ②本日のまとめとディスカッション
4回目	①貿易の流れ（貿易実務入門）②国際収支 I: 国際収支表とは何か ③本日のまとめとディスカッション
5回目	①国際収支 II: 国際収支と国民所得勘定②本日のまとめとディスカッション
6回目	①国際取引と外国為替市場②本日のまとめとディスカッション
7回目	①為替レートと産業調整②本日のまとめとディスカッション
8回目	①海外直接投資と貿易構造②今までのまとめ③試験

◆**教科書** 通材『貿易論 0822』 通信教育教材（教材コード 000439） 2,350 円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『入門 国際経済』 中北徹、ダイヤモンド社、2005年 3,024 円（税込）（送料 350 円）

丸沼『日経文庫ベーシック貿易入門第3版』 久保広正 日本経済新聞社 2005年 1,080 円（税込）
(送料 215 円)

丸沼『マンキュー入門経済学 第2版』 N. グレゴリー・マンキュー著 足立ほか訳 東洋経済新報社 2008年 3,456 円（税込）（送料 350 円）

◆**成績評価基準** 授業への取組（発言等）・試験により、総合的に評価します。

◆**授業相談（連絡先）：**

◆心身の発達と学習の心理学的基礎を学ぶ

(発達と学習)

木曜日

開講単位：2 単位 担当者：佐々木 心彩

◆**学修到達目標** 子どもは「『小さな大人』ではない」ということばで例えられますが、人間の発達は身長が伸びる、体重が増えるといった量的な変化のみではなく、もののとらえ方や考え方など様々な質的な変化を含んでいます。

この授業では、人間の発達に伴う変化やその特徴について学ぶことで、教育現場における児童・生徒との関わりの基礎としても möchtenと考えています。

◆**授業方法** 講義形式で行います。教育現場における様々な課題の解決への手掛けりとなるような、人間の発達と学習の過程に関する心理学的基礎について学びます。講義では、各回のテーマに関連する基本的な重要事項を中心に解説していきます。また、理解度の確認として適宜授業内で小レポートを課す予定です。

◆**準備学修** 人間の行動には必ず原因・理由があります。目の前にある問題に振り回されることなく、その原因・理由が何であるかということに対する疑問を持ち、解決に向けてアプローチできるような視点で、普段から人の行動に関心が持てるようにしてください。

◆**授業計画【各 170 分】**

1回目	発達と学習の心理学を学ぶ意義、発達の原理 - 教育のために心理学を学ぶ意義、発達の定義、発達に影響する要因、発達の過程などについて
2回目	乳児期から青年期までの発達 - 乳児期から青年期における身体・運動機能、認知機能、社会性などの発達の特徴について
3回目	代表的な発達理論、発達と教育 - 発達段階や発達課題に関する代表的な発達理論、教育が発達に及ぼす影響について
4回目	学習の理論 - 心理学における学習の概念、代表的な学習の理論や効果的な学習の方法について
5回目	記憶、動機づけ - 記憶のはたらき、やる気のメカニズムについて
6回目	知能、パーソナリティ - 知能のとらえ方や学力との関係、パーソナリティのとらえ方やその形成について
7回目	不適応行動の理解、発達障害の理解 - 欲求と欲求不満、不適応行動、発達障害 (LD, ADHD, 広汎性発達障害など) について
8回目	教育評価について、試験 - 教育評価の種類や方法について

◆**教科書** [当日資料配布] 当日プリントを配布します。

◆**参考書** 授業内で適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 試験 (70%) および平常点 (30%) で評価します。

* 試験同様、平常点も重視しますので、受講に際しては欠席しないように注意してください。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間 金曜日	時間 18:30 ~ 21:25	授業日 1回目 2回目 3回目 4回目 5回目 6回目 7回目 8回目 <試験を含む> 10/24 10/31 11/7 11/14 11/21 11/28 12/5 12/12							
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>

※以下の金曜日開講の講座から 1 講座を選択してください。

曜日	講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意		
				科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
金曜日	E1	経済学	田村 和彦	0024	経済学	1年	1年	I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
	E2	英語 J	佐藤 恵一	0041	英語 I				
				0042	英語 II				
				0043	英語 III				
				0044	英語 IV				
	E3	国文学基礎講義	大川 真智子	0081	国文学基礎講義	条件参照	2年	国文学専攻のみ 1 学年以上申込可 その他は 2 学年以上申込可	
	E4	英語学概説 B	田中 竹史	0085	英語学概説				
	E5	英米文学演習 E	佐藤 秀一	0486	英米文学演習 I				
				0487	英米文学演習 II	×	3年	英文学専攻のみ申込可 I ~ III のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				0488	英米文学演習 III				
	E6	情報概論	一島 力男	0773	情報概論		2年		
	E7	商品学	鄭 舜玉	0821	商品学		2年		

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆経済学 ミクロ

〔経済学〕

金曜日

開講単位：2 単位 担当者：田村 和彦

◆**学修到達目標** 経済に関する知識は日常生活に不可欠となっている。経済について考えるための基礎知識を提示する。各自、経済ニュースには関心を持ってこの講義に臨んで欲しい。少子高齢化・格差問題・U.S.A 発の経済危機が注目されている。これらの点は、各自の経済生活に脅威（特に景気・雇用問題）となっている。この点に言及してみたい。マスコミに多く出ている経済用語も解説する。

◆**授業方法** 講義形式。*この講座は田村和彦師「経済学 マクロ」と積み重ね受講できます。過去に田村和彦師「経済学 ミクロ」を受講した学生は、本スクーリングを受講できないため注意すること。

◆**準備学修** 学修到達目標に記載したとおり、経済をめぐる様々な問題に关心を持ってもらうことを臨む。「失われた20年」、産業転換、ハイテク化、グローバル化、これらの問題が同時に一挙に展開している。各自これらの諸問題についての問題意識を持ってこのスクーリングに臨むこと。

◆**授業計画（各 170 分）**

1回目	経済学の本質、経済学研究の手続
2回目	消費者の経済行動：効用概念、資本主義経済の定義、現代資本主義
3回目	需要の価格弾力性、価格消費曲線、所得消費曲線
4回目	生産の定義、生産函数、等量曲線、収穫遞減の法則
5回目	限界生産力、生産者の理論、平均費用曲線・限界費用曲線
6回目	平均費用最低点と最適生産量、包括費用曲線
7回目	生産者余剰、生産要素の最適結合
8回目	最大利潤の追求と企業規模、供給曲線の導出。試験。

◆**教科書** 丸沼『経済学』 濑川浩・田村和彦共著 桜門書房出版部 3,024 円（税込）（送料 300 円）
必ず購入し、予習しておくこと。

◆**通材** 『経済学 0024』 通信教育教材（教材コード 000450）1,950 円（送料込）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験 90%、平常点 10%

◆**授業相談（連絡先）：**

◆英語と文化

〔英語 J〕

金曜日

開講単位：1 单位 担当者：佐藤 恵一

◆**学修到達目標** 英語が世界各地で使われている現在、各国の文化や歴史を学ぶと同時に様々な英語に触れる重要性が高まっています。ここでは文化や歴史に触ると同時に、英語力、特にリスニング力を高めます。グローバルな英語を聞き、情報を増やし、英語・米語以外の世界の英語を確かめます。

◆**授業方法** ウォームアップで各国に対する事前認知を高め、リスニング中心に歴史・文化・民俗などを DVD で確認します。繰り返し映像を見ることで設問に答えられるようにしていきます。また、各国の英語話者にインタビューし、英語の特徴を再認識します。

◆**準備学修** 事前に割り当てられた国の歴史・文化・言語の特徴について予習をしておくことで事前の認知力が高まり、本文を学習する際、大いに理解する判断力を養います。インターネットや参考書なども利用し、事前学習を欠かさないようにしてください。

◆**授業計画（各 170 分）**

1回目	南米 PERU (Reading・DVD・Part1/Part2・インタビュー)
2回目	アジア1 INDIA (Reading・DVD・Part1/Part2・インタビュー)
3回目	アジア2 PHILIPPINS (Reading・DVD・Part1/Part2・インタビュー)
4回目	アジア3 THAILAND (Reading・DVD・Part1/Part2・インタビュー)
5回目	アジア4 VIETNAM (Reading・DVD・Part1/Part2・インタビュー)
6回目	アジア5 KOREA (Reading・DVD・Part1/Part2・インタビュー)
7回目	中近東 TURKEY (Reading・DVD・Part1/Part2・インタビュー)
8回目	まとめとテスト

◆**教科書** 丸沼『World Adventures』 KINSEIDO 2,484 円（税別）（送料 300 円）

◆**参考書** 丸沼『5分間ヒアリング』 南雲堂 756 円（税別）（送料 215 円）

◆**成績評価基準** 授業への参加（学習意欲・発表・グループ活動等）と最終のレポートによる課題で総合的に評価

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆「嫉妬」は「女」の「病」か？ ---

[国文学基礎講義]

金曜日

開講単位：2 単位

担当者：大川 真智子

◆学修到達目標 古典文学や古典文学研究の基礎を身につけ、その楽しさを知る。古典文学が過去の堅苦しい遺物ではなく、現代にも通じる生々しい人間ドラマであることを味わって欲しい。また、参考文献の探し方や発表資料作成などの基礎はもちろん、受け身の「学習」ではなく、自分自身で問いを立て、その答えを見つけていく楽しさを体験して欲しい。これは、演習発表、そして卒業論文へと繋がる過程である。

◆授業方法 本講座では、さまざまな作品に登場する「嫉妬する人物」に焦点を当て、その諸相を探りたい。恋に破れた時、人はどのような反応を示すのだろうか？そもそも「嫉妬」とは、文字通り「女」の「病」なのだろうか？時代やジャンルによって差異はみられるのだろうか？古典文学に限らず、近現代の小説、漫画、映画など、幅広い作品を取り上げる。講義形式の授業ではあるが、こちらで用意する作品だけでなく、受講生にも作品を紹介してもらうなど、演習形式の授業への橋渡しとしたい。なお、受講人数により、下記の授業計画は一部変更する場合がある。

◆準備学修 受講生が確定し次第、教材となる資料を郵送する。資料を読み、指示に従った学習をしたうえで授業に臨むこと。また、こちらで用意する資料以外にも、ジャンル、時代を問わず「嫉妬する人物」が登場する作品を各自で取り上げることを求める。

◆授業計画【各 170 分】

1回目	ガイダンス 「読む」とはなにか？
2回目	参考資料の集め方
3回目	待つ女・疑う男 －『伊勢物語』・『大和物語』－
4回目	元祖・疑い嫉妬する女 －『蜻蛉日記』－
5回目	取り殺す女の諸相 －『源氏物語』・謡曲『金輪』・『雨月物語』など－
6回目	女犯の高僧の嫉妬 －『とはずがたり』－
7回目	ストーカー殺人 －『平家物語』『袈裟と盛遠』－
8回目	総括

◆教科書 [当日資料配布] プリントを配布する。

◆参考書 事前学修資料、授業時に指示する

◆成績評価基準 事前学修への取り組み、質疑への参加、レポートにより、総合的に評価する。全授業に出席することを前提とするので、欠席する際には相談すること。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆探検！ことばの世界

[英語学概説 B]

金曜日

開講単位：2 単位 担当者：田中 竹史

◆学修到達目標 ヒトの自然言語は音と意味の結び付きにより成り立っていますが、音と意味は直接的に結び付けているのではなく、それらの間には文を組み立てる仕組み・文の組立に関する法則（狭い意味での文法）が介在しています。この種の仕組みを持つのは多くの生物種の中でヒトだけであり、この特殊能力のため、ヒトはことばを使う事ができると考えられています。このような能力を持たないヒト以外の動物は（たとえチンパンジーのように賢い動物であっても）、叫ぶ事はできてもことばを使い話す事はできませんし、文を作り、考えたり意見を表明したりするという事もできません。

本講座では、ヒトのことばに関わる基本的な性質を概観し、英語を主たる研究対象とする英語学の主要な分野（統語論、意味論、形態論、音韻論など）の前提となるような基礎知識を身に付ける事を目標とします。

◆授業方法 配布プリントを基に講義形式で進めますが、質疑応答を通じて受講生の積極的な発言を求めます。

◆準備学修 特別な準備学習は必要ありませんが、事前に参考書として挙げられている大津（2004, 2008）に目を通しておくと、講義内容のより良い理解につながります。

◆授業計画 [各 170 分]

1回目	初回ガイダンス 無意識の知識
2回目	文法の組み立て
3回目	言語の障害（1）
4回目	言語の障害（2）
5回目	動物の「言語」（1）
6回目	動物の「言語」（2）
7回目	機械と言語（1）
8回目	機械と言語（2）

◆教科書 **【当日資料配布】**プリント使用。

◆参考書 **通材『英語学概説 0085』** 通信教育教材（教材コード 000400） 3,050 円（送料込）

〈この教材は市販の『英語学入門』安藤貞雄（開拓社）と同一です〉

などの英語学の入門書

丸沼『探検！ことばの世界』 大津由紀雄（2004）ひつじ書房 1,728 円（税込）（送料 300 円）

丸沼『ことばに魅せられて 対話編』 大津由紀雄（2008）ひつじ書房 1,728 円（税込）（送料 300 円）

丸沼『ファンダメンタル英語学 改訂版』 中島平三 ひつじ書房 1,512 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、授業に対する取り組みとレポートにより総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ Dead Wall に向かったメルヴィル

〔英米文学演習 E〕

金曜日

開講単位：1 単位 担当者：佐藤 秀一

◆学修到達目標 『バートルビー』 "Bartleby" では "Moby-Dick" 以降、それまでの明るい南海物語とはかけ離れたメルヴィルの憂鬱な人生観が表明される。この作品はメルヴィル自身の象徴的な物語とも考えられ、暗いペシミスティックな人生観が滲み出ている。この主人公は 21 世紀の人生観を代弁していると考えられ、そのことを作品を通して考察できるようになる。

◆授業方法 授業は演習形態で、受講生には原文を日本語に訳し、内容を要約し、問題点や疑問点、感動した点などを発表してもらう輪読形式で行います。その後、それに基づいて全員でディスカッションを行います。そのことによって作品を深く読むことができるからである。

◆準備学修 作品をあらかじめ丁寧によく読んで各自の考え方、意見をもって積極的に授業に参加してください。毎回毎回、一語一語辞書を引き、十分に予習してくることが肝要です。

◆授業計画 [各 170 分]

1回目	ガイドンス, I am a rather elderly man (p.1) ~ on the steps of the Tombs (7) 発表、ディスカッション
2回目	I have good reason to believe, (p.7) ~ while I should read from the original. (p.14)
3回目	Accordingly, Turkey, Nippers and Ginger Nut (p.14) ~ Shall I acknowledge it? (p.21)
4回目	The conclusion of this whole business (p.21) ~ I would willingly help to defray the expenses. (p.29)
5回目	Moreover, if, after reaching home, (p.29) ~ and upon that assumption built all I had to say. (p.35)
6回目	The more I thought over my procedure, (p.35) ~ the best resolve of the more generous. (p.42)
7回目	Though to be sure, (p.42) ~ one which had not been wholly unindulged before. (p.49)
8回目	"Bartleby," said I (p.49) ~ Ah, Bartleby! Ah, humanity! (p.55), 授業内試験

◆教科書 丸沼『バートルビー』 *Bartleby* 高村勝治・木村治美編 松柏社 1,026 円（税込）（送料 215 円）

◆参考書 授業中隨時紹介します。

◆成績評価基準 授業への参加（予習、発表、受講状況）(40%)、試験 (60%)

◆授業相談（連絡先）：

◆知的活動のための実践情報リテラシー

〔情報概論〕

金曜日

開講単位：2 単位 担当者：一島 力男

◆学修到達目標 まず、Windows の基本操作とネットワーク上のパソコン利用について学ぶ。その上で、WWW による情報収集、情報セキュリティと情報倫理、HTML・CSS・JavaScript を利用した Web ページの作成について学ぶ。

◆授業方法 本講座では講義と演習の両方を行う。講義ではコンピュータネットワークの仕組みと歴史、情報セキュリティと情報倫理などについて学ぶ。演習では、Web ページを作成することができるよう様々な課題に取り組む。
※授業は、Windows-Vista, Office2007 の環境で実施する。

◆準備学修 メモ帳（テキストエディター）、ペイント（画像処理ソフト）、Internet Explorer（ブラウザ）の使い方を調べておくこと。

◆授業計画 [各 170 分]

1回目	ガイドンス Windows の基本操作とネットワーク利用 コンピュータネットワークの仕組みと歴史
2回目	情報の収集（WWW とサーチエンジンの利用） 情報セキュリティと情報倫理
3回目	HTML の基礎
4回目	HTML の応用
5回目	CSS の基礎
6回目	CSS の応用
7回目	JavaScript の利用
8回目	授業内テスト

◆教科書 指定しない。

◆参考書 授業中に指示する。

◆成績評価基準 授業への取り組み (10%)、実習課題 (40%)、提出課題 (30%)、授業内テスト (20%) により総合評価する。

※授業に毎回出席することを前提に評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆商品と社会、商品化について学ぶ

(商品学)

金曜日

開講単位：2 単位 担当者：鄭 舜玉 チョン ジンオク

◆学修到達目標 本講義では、現代社会における流行や環境問題など社会的な課題を背景に、商品と社会のかかわり、およびどのように商品化されるのか、そのプロセスと戦略について学習する。それにより、現代消費社会における商品のあり方や意義について認識を深めると共に、商品の本質を知り、商品を見る目を養い、正しい商品選択および評価の力を身につけることができる。

◆授業方法 パワーポイントを用いた講義形式で、毎回スライド内容をプリントで配布する。プリントは重要箇所がブランクになっており、講義を聴きながら講義内容のメモとブランクを埋める形式とする。また、授業開始時の復習・授業中の質疑応答への積極的な発言は平常点として反映される。

◆準備学修 授業計画に沿って指定参考書を事前に読んでおくことと、学習した講義内容は配布されたプリントをベースに必ず復習しておく。

◆授業計画 [各 170 分]

1回目	1. ガイダンス 授業の概要・進め方、そしてデザインの概念と役割、ユニバーサルデザインについて学ぶ。	2. 商品のデザイン
2回目	3. 商品と環境 環境問題と「エコ商品」、環境配慮活動、企業のCSRなど商品と社会のかかわりなどを学ぶ。	4. 商品と社会
3回目	5. 消費者行動 消費者の購買意思決定プロセスや関与度など商品購入に関する消費者行動について学ぶ。	6. 関与度
4回目	7. 商品開発とマーケティング 商品開発の基本プロセス、マーケティングの重要性、商品のラフサイクルについて学ぶ。	8. 製品／商品ライフサイクル
5回目	9. 商品と技術 技術革新による商品の進化、消費者要求との不一致、商品の価格設定プロセスについて学ぶ。	10. 商品価格戦略
6回目	11. 商品と流通 商品が効率的に消費されるための流通チャネル、流通業者によるPB商品について学ぶ。	12. PB商品
7回目	13. 商品とマーケティング・コミュニケーション 商品認知に関わるマーケティング・コミュニケーション、ブランド効果などについて学ぶ。	14. 商品とブランド
8回目	15. 総括 総括として講義全体の復習と補足説明を行う。	16. 筆記試験

◆教科書 **[当日資料配布]** 当日プリント配布。

◆参考書 **通材**『商品学 0821』 通信教育教材（教材コード 000401） 2,550 円（送料込）

〈この教材は『現代商品論（第2版）』見目洋子（白桃書房）と同一です〉

内沼『商品学と商品戦略』(KGU叢書) 石持悦史著（白桃書房） 3,672 円（税込）（送料 350 円）

◆成績評価基準 平常点（授業への参加態度・発言）30%，筆記試験 70%

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24141999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

V 講座の申込方法

1 受講手続の流れ

ここでは、受講手続の流れをまとめています。まず、この流れを把握し、受講手続を行ってください。なお、受講講座の選定にあたっては、『手引』のほかに『学習要覧』を参照してください。

項目	手 続 内 容
・『手引』入手 ・受講科目選択	・『手引』を読み、受講講座を決定する。
・受講講座 ・科目の単位修得方式決定	・受講講座・科目的単位修得方式を決定する。 各修得方法の詳しい内容は『学習要覧』の「単位修得方式」のページを参照。



スクーリング併用試験方式希望者のみ	履修登録	・未登録科目を登録する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目で、履修登録を行っていない科目は、表紙記載の締切日までに「履修届」又は「追加科目履修届」で登録する。 【「履修届」用紙の配布は前期生は『部報』3月号、後期生は『部報』9月号に同封（1枚）にて行います。「追加科目履修届」は『手引』各種用紙にとじこまれています。】
	リポート提出	・リポートを提出する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目でリポート未提出のものは表紙記載の締切日までに教務課必着で提出する。



受講希望の講座を申し込む	・受講を希望する講座・科目を「在学生専用サポート（Web 報）」から申込み手続を行う。又は、『手引』巻末の「受講届」に記入し、教務課へ提出する。 表紙記載の締切日に注意してください。
--------------	--



スクーリング受講許可通知書の確認	・会計課から送付される「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を受け取り次第、許可された講座を確認する。内容に疑問があれば教務課へ問い合わせる。
許可講座の辞退 【許可講座の取消を行う場合のみ】	・受講を許可された講座（全講座・一部の講座とも）を受講しない場合、表紙記載の締切日までに辞退手続をする。詳しくは「許可講座を辞退する」のページを参照。
受講料の納入	・「受講許可通知書」の内容に疑問がなければ、表紙記載の締切日までに受講料を振り込む。
使用教材の入手	・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。



授業開始	・各スクーリング会場やホームページの新着情報で、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。
------	--



スクーリング結果確認	・教務課から送付される通知又は「在学生専用サポート（Web 報）」で、受講した講座の成績を確認する。 ・発送日程は表紙記載。
------------	---

2 講座を申し込む

申し込み上の注意事項

「受講届」(はがき)と「在学生専用サポート(Web報)」の両方で申し込みがあった場合は、「在学生専用サポート(Web報)」の内容を有効とします。

① 「在学生専用サポート(Web報)」による申込み

●申込みの前に

<p>1 申込みには、IDとパスワードが必要です。 ID=学生番号 初期パスワード=自分の西暦生年月日（半角数字8桁）</p>	<p>●個人情報の設定</p> <p>パスワードなどの登録内容の変更をしたい方はこちら。 ※ログインが必要です。</p>
<p>2 申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「在学生専用サポートページ(Web報)」にある「個人情報の設定」で登録してから手続きをしてください。</p>	

〈メールアドレスについて〉

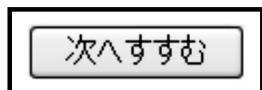
正科生は大学から配付しているメールアカウント(Gメール)で申込みできます。Gメールを利用するためには、承認が必要となりますので、「在学生専用サポート(Web報)」に掲載されている「NU-AppsG(在学生専用メール)」から手続きしてください。

●申込方法

<p>1 通信教育部ホームページ(URL: http://www.dld.nihon-u.ac.jp)の「在学生ログイン」をクリックしてください。</p>	
<p>2 「スクーリング申し込み」でスクーリングごとに申込みができる期間が表示されていますので、申込期間の確認をしてください。 申込ボタンをクリックしてください。</p>	

【各スクーリングのWeb報による申込期間】

スクーリング名	Web報による申込期間				
東京(秋期)第1・2期	2014年 8月 4日(月)	10:00～	2014年 8月 11日(月)	24:00	
東京(秋期)第3	2014年 10月 3日(金)	10:00～	2014年 10月 15日(水)	24:00	
地方(秋期)第1期	2014年 8月 4日(月)	10:00～	2014年 8月 11日(月)	24:00	
地方(秋期)第2期	2014年 8月 28日(木)	10:00～	2014年 9月 11日(木)	24:00	
夜間(秋期)					

3	申込みの流れの説明が表示されますので、手順・注意事項を確認してから、画面下の【次へすすむ】ボタンをクリックしてください。	【画面下】 										
	【ログインしていない場合】 ログインID・パスワードを入力する画面が表示されますので、入力してください（すでにログイン済みの場合は表示されません）。	<p>こちらは、ログインが必要なページです。 ID、パスワードを入力してください。</p> <p>ログインID: <input type="text"/> ※学生証番号を半角数字で入力</p> <p>パスワード: <input type="password"/> ※初期パスワードについて</p> <p>ログイン ></p> <p>パスワードを忘れた場合はこちら</p>										
4	申込みを受け付けているスクーリングが表示されますので、【申込】ボタンをクリックし、後は画面の指示に従って、手続を完了してください。	<p>【受付中のスクーリング】 希望のスクーリング・開催地を選択してください。 申し込み内容の確認、変更・削除する場合は、確認ボタンを押してください。</p> <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>コード</th><th>スクーリング種別</th><th>開催地</th><th>操作</th></tr></thead><tbody><tr><td>2014</td><td>62</td><td>夜間（秋期）スクーリング</td><td>東京</td><td>申込</td></tr></tbody></table> <p>戻る</p>	年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作	2014	62	夜間（秋期）スクーリング	東京	申込
年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作								
2014	62	夜間（秋期）スクーリング	東京	申込								

●受付完了

申込受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに受付メールが配信されますので必ず確認してください。配信されない場合は、申込確認画面で申込受付が完了しているか確認してください。

●申込確認

申込期間に限り、「在学生専用サポート（Web 報）」で確認することができます。

1	申込方法の1～3の手順で、受付中のスクーリングの画面まで進んでください。											
2	申込みをしたスクーリングの【確認】ボタンをクリックして、内容を確認してください。	<p>【受付中のスクーリング】 希望のスクーリング・開催地を選択してください。 申し込み内容の確認、変更・削除する場合は、確認ボタンを押してください。</p> <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>コード</th><th>スクーリング種別</th><th>開催地</th><th>操作</th></tr></thead><tbody><tr><td>2014</td><td>62</td><td>夜間（秋期）スクーリング</td><td>東京</td><td>確認</td></tr></tbody></table> <p>戻る</p>	年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作	2014	62	夜間（秋期）スクーリング	東京	確認
年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作								
2014	62	夜間（秋期）スクーリング	東京	確認								

●申込内容の変更・取りやめ

申込期間に限り、「在学生専用サポート（Web 報）」で申込講座の変更・取りやめをすることができます。

申込内容を変更する場合には、いったん申込内容を削除する必要があります。 【変更する】ボタンをクリックして、内容を削除してから、再度申込みを行ってください。	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>スクーリング名</th><th>開催地</th><th>コード</th></tr></thead><tbody><tr><td>2014</td><td>夜間（秋期）スクーリング</td><td>東京</td><td>13</td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th>講座</th><th>充当科目</th><th>併用</th></tr></thead><tbody><tr><td>*****</td><td>*****</td><td>**</td></tr></tbody></table> <p>確認を終了して、在学生専用サポートのトップ画面に戻る 確認終了</p> <p>申し込み内容を変更するので、一旦全て削除して、申し込み画面のトップに戻る 変更する</p>	年度	スクーリング名	開催地	コード	2014	夜間（秋期）スクーリング	東京	13	講座	充当科目	併用	*****	*****	**
年度	スクーリング名	開催地	コード												
2014	夜間（秋期）スクーリング	東京	13												
講座	充当科目	併用													
*****	*****	**													

注意) 申込期限の経過した場合、申込内容の変更・取りやめはできません。

(2) 「受講届」による申込み

「受講届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「受講届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 記入上の注意

(ア) 講座コード

開講講座のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

(イ) 講座名

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上、記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

(ウ) 充当科目コード

開講講座の単位修得により充当できる科目のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「科目コード」欄、及び後掲の「(2) 注意事項」を参照してください。

(エ) 受講希望方式

スクーリング併用試験方式による受講希望の有無を意思表示する欄です。スクーリング併用試験方式による受講を希望する場合についてのみ、次のとおり講座ごとに記入してください。

履修方法	記入方法
スクーリング併用試験方式を希望する	「併用」と記入
スクーリング併用試験方式を希望しない	無記入（空欄のまま）

(オ) 学生番号・氏名・電話番号

電話番号は記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください（緊急時電話番号に優先的に連絡しますので、あらかじめご了承ください）。

(2) 注意事項（「総合科目」、「英語」などの外国語科目及び「各演習科目」など）

例えば、「英語」の講座は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」及び「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは、各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって、英語をスクーリングで受講する際には、「受講届」に記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目で受講するのか、各自が大学に申告しなければなりません。

「受講届」では2桁の講座コードと4桁の充当科目コードの計6桁のコードによって、受講講座（科目）を登録します。コードは「開講講座表」の「講座コード」欄、「科目コード」欄に記載されています。

「英語」の場合、「開講講座表」の「科目コード」欄に4つのコードが記載されていますが、各自の履修計画に合致する科目（「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか）のコードを、1つ選択してください。

<input type="checkbox"/> 内を必ず御記入ください	平成26年 月 日作成		
平成26年度東京スクーリング(秋期)受講届(84)			
第1・2期 東京用			
期 講 座 コ ード	講 座 名	充当科目コード	受講希望 方 式
0 (ア) 0	(イ)	(ウ)	(エ)
※併用試験方式を希望する場合は、この欄に「併用」と明記してください。 なお、希望しない場合は、空欄のままで提出してください。			
上記のとおり相違ありません。			
学 生 番 号			
フリガナ			
氏 名	(オ)		
自宅電話番号			
緊急時電話番号			

※提出締切日 平成26年8月11日(月)【締切日までの消印有効】
 ※本票は東京スクーリング(秋期)第1・2期用の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
 ※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。
 ※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

《記入例》(講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合)

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目	
			科 目 コ ー ド	科 目 名
15	英 語 B	○○ ○○	0041	英 語 I
			0042	英 語 II
			0043	英 語 III
			0044	英 語 IV
16	英 語 C	○○ ○○	0041	英 語 I
			0042	英 語 II
			0043	英 語 III
			0044	英 語 IV
			(4)	(3)

- (1) 希望する講座として「英語 C」を選択。
 - (2) 「英語 C」を選択したことによって講座コードは「16」となる。
 - (3) その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。
 - (4) 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「0043」となる。
 - (5) 「受講届」の記入は、講座コードに「16」、充当科目コードに「0043」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。
- ※ 「・・・演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習 I」、「英語学演習 II」及び「英語学演習 III」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習 I ~ III」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

記入上の注意事項

- (1) 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2) 「受講届」提出締切後の追加、変更はできません。
- (3) 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- (4) 次の場合、大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので、希望講座を受講できない可能性があります。
 - ・乱雑な記入
 - ・記入誤り、記入漏れ
 - ・記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

(3) 「受講届」を提出する（提出締切日は表紙を参照）

「受講届」の記入が終わったら、申込内容の控えをとり、「受講届」を教務課に提出してください。提出方法は以下の2通りです。

ア 教務課窓口に直接提出

教務課カウンターに提出用ポストを設置しますので、そちらに投函してください。【提出は事務取扱時間内】

イ 郵送で提出する

「受講届」に切手を貼付し、郵送してください。【提出締切日までの消印有効】

郵送提出においての注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合、大学での受領記録が残りませんので、「受講許可通知書」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、リポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。「受講届」は単体で送付してください。

3 受講講座の変更・追加

① 受講講座変更届の作成

受講講座の変更・追加をする場合は、市販の便箋等を使用し、以下の記入例を参考に「変更届」を作成してください。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」、「講座コード」、「講座名」、「充当科目コード」及び「受講希望方式」の併用申込有無を明記してください。また、自己の所属学部・学科（専攻）・学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様に提出締切日までの消印有効です。

《記入例》

〈市販の便箋等〉

① 東京スクーリング（秋期）第1・2期の場合

平成〇年〇月〇日

日本大学通信教育部教務課長 殿

平成26年度東京スクーリング（秋期）受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ東京スクーリング（秋期）受講講座を下記のとおり変更したく、本書面をもってお願いいたします。

記

（当時の受講講座）

開催地	講 座	講座名	充当科目	受講希望方式
コード	コード		コード	
1期 79	A1	美術史	0019	併用
2期 79	B2	英語 B	0041	-

（変更後の受講講座）

開催地	講 座	講座名	充当科目	受講希望方式
コード	コード		コード	
1期 79	A2	日本史入門	0095	併用
2期 79	B3	英語 C	0042	併用

上記のとおり相違ありません。

文理学部史学専攻 学生番号：24143999
氏 名：日大 太郎

② 夜間スクーリング（秋期）の場合

平成〇年〇月〇日

日本大学通信教育部教務課長 殿

平成26年度夜間スクーリング（秋期）受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ夜間スクーリング（秋期）受講講座を下記のとおり変更したく、本書面をもってお願いいたします。

記

（当時の受講講座）

曜日	講 座	講座名	充当科目	受講希望方式
コード	コード		コード	
水	C1	歴史学	0015	併用
金	E1	英語 K	0041	-

（変更後の受講講座）

曜日	講 座	講座名	充当科目	受講希望方式
コード	コード		コード	
水	C3	英語基礎	0045	併用
木	D1	経済学	0024	併用

上記のとおり相違ありません。

法学部法律学科 学生番号：11143999
氏 名：日大 太郎

VI 申込講座の許可と不許可

1 受講許可通知書を確認する

申込内容に基づき大学が受講資格審査を行い、その結果を「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」により通知します。

なお、「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」の発送は、下記の日程を予定しています（発送完了をもって「在学生専用サポート（Web 報）」にも掲載します）。発送予定日から5日を経過しても通知が届かない場合は、至急、会計課（電話 03-5275-8925）に連絡してください。

〈受講許可通知書発送予定日〉

スクーリング名		在学生	26年度後期新入生（10月生）
東京（秋期）	第1・2期	9月19日（金）	10月 1日（水）
	第3期	11月 5日（水）	11月12日（水）
地方（秋期）	第1期	8月21日（木）	—
	第2期	10月10日（金）	10月20日（月）
夜間（秋期）		10月 1日（水）	10月 8日（水）

「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を受領したら、以下の要領で許可内容を必ず確認してください。

① 充当科目コードの確認

必ず充当科目コード・単位を確認してください。

「充当科目コード」及び「開講単位数」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。

「英語」や「演習」などのように「I, II, III…」の区別のあるものや、科目の名称が類似している科目がありますので、十分注意してください。

スクーリング併用試験方式で申込みをした科目であっても、単位数はスクーリング開講単位が記載されています。

② 講座コード・講座名・時間割の確認

必ず講座コード・講座名・時間割を確認してください。

「講座コード」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。受講申込者数により講座が分割されている場合があります。

③ スクーリング併用試験方式の確認

併用試験の許可・不許可について下表のとおり記載されていますので確認してください。

「併用手続」欄表示	許可・不許可	備考
○	許可	
—	不許可	スクーリングの受講は可能です

※ 受講許可後にスクーリング併用試験の申込みをすることはできません。

2 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

① 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける

② 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける

※①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

③ 超過した人数分の学生を受講不許可にする

※希望した講座が受講できることになります。また、新たに代わりの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続を行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代わりの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

3 許可講座を辞退する

この手続は、「スクーリング受講許可通知書」を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

① 手続書類

【すべての講座を辞退する場合】

「スクーリング受講許可通知書」に記載されているすべての講座を辞退する場合、以下の(1)及び(2)を同封の上、教務課試験係まで提出してください。

【一部の講座を辞退する場合】

「スクーリング受講許可通知書」に記載されている講座の一部を辞退する場合、以下の(1), (2)及び(3)を同封の上、教務課（試験係）まで提出してください。

この場合、受講希望の許可講座のみ記載された「スクーリング受講許可通知書」等を大学から再送付します。

- (1) 「受講申込辞退願」【各種用紙】
- (2) 受講許可通知時送付書類（2連用紙、次の(A)及び(B)の書類）
 - (A) スクーリング受講許可通知書兼領収書
 - (B) スクーリング受講料等振込依頼書
- (3) 362円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記）

② 手続期限 いかなる場合でも期限後は手続できません。

スクーリング名		受講申込辞退の手続期限
東京（秋期）	第1・2期	10月 1日（水）
	第3期	11月 12日（水）
地方（秋期）	第1期	8月 29日（金） 《事務取扱時間内必着》
	第2期	10月 20日（月）
夜間（秋期）		10月 8日（水）

③ 提出先 教務課試験係

事務時間内であれば窓口での提出もできます。

※ この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

※ 辞退手続は1回しかできません。

MEMO

申込講座の辞退がない場合、受講料等を期限までに納入してください。

1 受講料

スクーリング名		受 講 料
東京（秋期）	第1・2期	1講座 10,000円×受講講座数
	第3期	
地方（秋期）	第1・2期	1講座 13,000円×受講講座数
夜間（秋期）		1講座 10,000円×受講講座数

「情報概論」のみ受講料の他にコンピュータ等実習料 3,000円の納入が必要となります（受講料と共に納入してください）。

2 納入期限

スクーリング名		納 入 期 限
東京（秋期）	第1・2期	10月 8日（水）
	第3期	11月 19日（水）
地方（秋期）	第1期	9月 8日（月） 銀行窓口 <u>※当日取扱時間まで</u>
	第2期	10月 27日（月）
夜間（秋期）		10月 15日（水）

3 納入方法

必ず大学から送付される「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を使用し銀行窓口から振り込んでください。「(A) スクーリング受講許可通知書兼領収書」と「(B) スクーリング受講料等振込依頼書」は、切り離さずに銀行窓口へ持参してください。

注 意 事 項

① 納入に際しての注意事項

- (1) 銀行窓口のみの取扱いとなります。会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 自動振込機（A T M）及びネットバンキングからの納入は受け付けません。銀行係員が勧めても使用しないでください。
- (3) 「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」に記載された事項を訂正したものは受け付けません。
- (4) 三井住友銀行本・支店窓口からの振込手数料は、無料となります。

② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- (2) 「(A) スクーリング受講許可通知書兼領収書（銀行領収印の押印されているもの）」は、受講時、試験時、通学定期券購入手続を行う際、学生証とともに必要になります。受講期間中は常に携帯してください。
- (3) 受講料等を納入した後に、受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。

1 使用教材の購入

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学習効果が期待できません。受講許可通知書を受け取った後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を購入してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。

教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材購入方法の見分け方」を参照してください。

注意事項

「指定配本」、「履修届」及び「追加科目履修届」による配本を受け、所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合がありますので、科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を購入してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

① 使用教材が『通信教育教材』の場合

通材印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材購入願」を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材購入願」によって購入する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約1週間を要しますので、「スクーリング受講許可通知書」を確認した後、速やかに手続きを行ってください。

なお、『通信教育教材』について不明な点は、研究事務課（電話03-5275-8890）に問い合わせください。

② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合は、**丸沼**印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店

（所在地）〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-8-12

（電話）03-3261-4540

（FAX）03-3261-0118

（営業時間）9:00～20:00（日曜日は休み）

（購入方法）直接店頭（130ページを参照）で購入のほか以下(1)～(3)の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払（手数料260円が別途かかります）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記あてに郵送又はFAXをしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額分の定額小為替又は郵便為替を同封して上記あてに郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額を同封して上記あてに郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

『市販教材（市販本）』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。改訂等により金額が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

2 「休暇依頼状（勧奨状）」と「出席証明書」の発行

① 休暇依頼状（勧奨状）

休暇依頼状は、スクーリングに出席するために勤務を休む必要がある場合に、大学から勤務先に対して発行するものです。日本大学通信教育部長名でスクーリングの開講期間等を明記した「休暇依頼状」と、文部科学省発行で通信教育の主旨等を記載した「勧奨状」の2通を発行します。なお、発行はスクーリングの受講許可後となります。

休暇依頼状（勧奨状）希望者は、送付先を明記した返信用封筒（定形・82円切手貼付）を添えて、本誌「各種用紙」の「休暇依頼状（勧奨状）申込書」により庶務課あてに申し込んでください。

② 出席証明書

勤務先にスクーリングに出席したことを証明する書類が必要な場合には、大学として「スクーリング出席証明書」を発行します。「在学生専用サポート（Web報）」の「各種手続用紙（様式）」からのダウンロード又は『部報』（4月号又は10月号）巻末の「証明書交付願」を使用し、教務課あてに申し込んでください。「出席証明書」の発行は、講義日程が終了した後となります。窓口で申し込む場合は、返信用封筒（定型・82円切手貼付）を添えてください。郵送での申し込みは、約10日間の日数を要します（手数料は1通につき300円）。

3 通学定期券の購入

通学定期券は、正科生がスクーリング受講を目的として通学する場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。

① 学生証裏面学籍シールの記入

- (1) 「学生番号」「氏名」及び「現住所」を黒のボールペンで記入してください。
- (2) 「通学区間」欄に対象区間及び経由（乗り換え駅）を記入してください。また、定期券が2枚に分かれる場合は2行に分けて記入してください。

② 購入手続

- (1) 学生証及び「スクーリング受講許可通知書」持参で事務取扱時間内に学生課窓口に来校し、所定の用紙に記入して「在籍確認」印の押印を受けてください。
- (2) 通学定期券取扱い駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。

③ 学生課窓口で記入する所定用紙について

- (1) 通学定期乗車券発行控（全員必要）
- (2) 滞在先届（スクーリング期間中に現住所以外から通学する場合に限り必要）
- (3) 通学証明書（都営地下鉄、都電、各路線バス等を利用する場合に必要）

④ 対象区間

自宅（又は滞在先）の最寄り駅から以下「通信教育部最寄り駅」までの最短経路を対象とします。

【通信教育部最寄り駅】

鉄道会社	最寄駅
JR東日本	市ヶ谷駅
都営地下鉄	市ヶ谷駅
東京メトロ	市ヶ谷駅

※最短経路とは所要の時間が最短、交通費が最安、乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

⑤ 禁止事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また、大学自体も通学定期券発行の指定から外され、他の学生に多大な迷惑をかけることになります。

不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用例】

① 現住所及び通学区間を偽ること	③ 記名人以外が使用すること
② 他人に譲渡・貸与すること	④ その他、不正に使用すること

⑥ その他注意事項

- (1) 通学区間が変更となった場合は、学生課に届け出てください。
- (2) 年度内に「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は、学生課に申し出てください。
- (3) 「在籍確認」印は、年度内に限り有効です。

4 学割証の発行（長距離区間乗車時の学生割引制度）

「学割証」は、科目修得試験やスクーリングをはじめとする大学所定の行事に出席するため、片道100kmを超えて鉄道・バス等を利用する場合に限り使用することができ、運賃が2割引となります。

① 申込方法

巻末の「学割証交付願」に必要事項を記入し、学生課まで郵送又は大学窓口のいずれかで申し込んでください。

郵送の場合は、82円切手を貼付した宛名明記の返信用封筒が必要です。

② 発行条件（以下の全項目に該当すること）

- (1) 正科生であること。
 - (2) スクーリングに出席することが目的であること。
 - (3) JR各社の鉄道又はバスを使用すること。
- JR以外の会社における学割証の適応の可否は、当該会社に各自で問い合わせてください。
- (4) 乗車距離が片道100km以上であること。

③ 割引額

普通乗車券運賃の2割（特急券・指定席は割引き対象外）

④ 乗車日（有効期間）

乗車日は当該行事初日の10日前から最終日の5日後までの間に限り選択できます。

⑤ 発行枚数

原則として1枚です。（1枚で往復が購入できます）

ただし、毎日通う場合等は往復乗車券購入枚数分の学割証を発行します。

また、往復乗車券の有効期間は以下のとおりです。期間外になる場合には片道乗車券を2枚購入することになります、学割証も2枚必要です。

【往復乗車券有効期間】

片道の距離 (km)	200kmまで	400kmまで	600kmまで	800kmまで	1000kmまで
有効期間	4日間	6日間	8日間	10日間	12日間

⑥ 発行所要期間

発行開始日以降で、「学割証交付願」を受け付けしてから2日後に発行します。（即日発行はできません）

郵送の場合も同様で、受付日の2日後にポストに投函しますので、郵送に係る日数を考慮して申し込んでください。

※ 急ぎの場合は速達で郵送し、返信用封筒も362円分の切手を貼ってください。

ただし、優先的な発行はいたしません。また、「郵送料>割引額」とならないように注意してください。

⑦ 発行開始日

スクーリング名	発行開始日
東京スクーリング（秋期）第1期	
東京スクーリング（秋期）第2期	10月 1日（水）
東京スクーリング（秋期）第2期（体育実技のみ）	
東京スクーリング（秋期）第3期	11月 5日（水）
地方スクーリング（秋期）第1期【山形・大阪】	8月 15日（金）
地方スクーリング（秋期）第2期【札幌・大垣・福岡】	10月 8日（水）
夜間スクーリング（秋期）	① 10月 1日（水）※ ② 11月 19日（水）※

※学割発行後の有効期間は1か月ですので、夜間スクーリングでの「学割証」発行開始日を、2回に分けています。夜間スクーリング全期間を通して毎週通学する必要があり、「学割証」の発行を希望する場合は、事前に学生課にご相談ください。

⑧ 購入方法

JR各駅の窓口で、学割証及び学生証を提示することにより、学生割引の切符（乗車券）が購入できます。

⑨ 購入日

乗車券が購入できるのは、原則として乗車当日であり、事前の購入はできません。

新幹線等の座席を事前に確保したい場合は、特急券のみを事前に購入し、乗車券は乗車当日に購入するのが良いでしょう。

⑩ 禁止事項

学割証を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、学割証の発行が停止されるだけでなく、鉄道会社等の営業規則に基づき使用区間普通運賃の数倍の追徴金が課せられます。

また、大学に対しても割引特典取り消し等の処分がなされ、他の学生に多大な迷惑をかけることになるため、不正使用は絶対に行わないでください。なお、学割証を使用しなかった場合は、必ず学生課まで返却してください。

【不正使用一覧】

① 記載事項を改変すること。	④ 購入した乗車券を他人に譲渡すること。
② 記名人以外が使用すること。	⑤ 鉄道会社等の規則に違反して使用すること。
③ 有効期間外に使用すること。	⑥ その他、不正に使用すること。

⑪ よくある質問

Q 1. 複数のスクーリングで学割証を利用する場合は、巻末の「学割証交付願」も複数必要ですか？

→ A 1. 複数必要です。返信用封筒も複数必要な場合があるので、学生課に問い合わせてください。

Q 2. スクーリングに毎日（10月12日～14日の3日間）通学しますが、乗車日はどう記入すれば良いですか？

→ A 2. 乗車日欄に行 10月12日、帰 10月14日と記入し、必要枚数欄に3枚、理由欄に「毎日通学します。」と記載してください。

1 講座の受講

- ① スクーリングは全出席が前提となります。遅刻、欠席のないように準備してください。
- ② スクーリング受講の際は「学生証」及び「スクーリング受講許可通知書兼領収書」（銀行領収印の押印されているもの）を携帯してください。

2 試験の受験

試験は最終日に実施されます。特に大学が指定する科目や担当講師から特別の指示のあった科目の試験は、教室・時間を別に定めて実施します。試験の実施に関する指示は掲示、又は授業中に告知します。

なお、スクーリング試験を受験できなかつたり、不合格になった場合でも、追・再試験は実施しません。その他注意事項を次に挙げます。参照してください。

「スクーリング試験」受験上の注意

- 1 「学生証」及び「スクーリング受講許可通知書兼領収書」（銀行領収印の押印されているもの）を机上通路側の試験監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
 - 2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
 - 3 携帯電話等は一切使用を禁止する。試験場内では電源を切ること。また、時計・電卓としての使用も禁止する。
 - 4 持ち込みを許可されたもの以外は机上に置かないこと。
 - 5 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
 - 6 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
 - 7 試験開始後20分以上遅刻した者は受験することができない。
 - 8 途中退室は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始30分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退室すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
 - 9 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
 - 10 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。
- ※ 試験中の参考物等の貸し借りは不正行為とみなす。

3 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、平成26年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に教務課から郵送で通知します。また、「在学生専用サポート（Web報）」でもお知らせします。掲載の開始はホームページの新着情報に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また、「スクーリング結果通知書」の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、「スクーリング結果通知書」を紛失した場合などは「在学生専用サポート（Web報）」で確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

スクーリング名	結果発送時期	
東京（秋期）	第1・2期	12月上旬
	第3期	1月下旬
地方（秋期）	第1期	11月上旬
	第2期	12月上旬
夜間（秋期）		1月下旬

① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」又は「未受講」で発表します。

*受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

② 単位数

結果が「合格」の場合、開講単位（1単位又は2単位）のスクーリング単位を修得したことになります。「講座内容（シラバス）」に記載されている単位数が、それぞれの科目（講座）のスクーリング単位数です。

スクーリング併用試験方式で受講が許可されている場合、スクーリングの合格及び提出されたりポートが全て合格した時点で科目の所定単位の修得が認められますが、スクーリング単位はあくまで「講座内容（シラバス）」に記載された単位数での修得となります。そのため「スクーリング結果通知書」には併用試験方式による受講であっても、単位数欄は、所定単位ではなく、スクーリング単位が記載されます。

X 受講期間中の学生生活

1 受講にあたっての諸注意

① 学生証の携帯

「学生証」は学生としての身分を証明するものであり、常に携帯している必要があります。また、スクーリングの受講、「通学定期券」購入等の際にも必要となります。

② 健康保険証の携帯

スクーリング受講中は、万一の病気や事故に備えて、「健康保険証」（又は「保険証」に代わる「資格証明書」）を必ず携帯してください。

③ 掲示板の閲覧

スクーリング期間中は、実施校舎の掲示板に重要な事項について掲示します。授業、卒業論文指導の日程、各種行事等についての変更、注意事項等を伝達する場合は、スクーリング実施校舎に掲示します。来校の際は必ず確認してください。

④ 貴重品等の管理及び紛失に関する注意

衣類、カバン、学生証、教材及び貴重品等各自の所持品を身辺から手放さないよう注意してください。大学の施設内であっても、校舎内には学外者の往来も多数あり、係員の監視が十分に行き届かない場合があります。盗難や紛失には十分注意してください。

なお、盗難や紛失があった場合には、速やかに学生課まで申し出てください。

⑤ 紛失及び落し物の拾得

校舎内で所持品を紛失したり、他人の落し物を拾得した場合は、速やかに学生課まで届け出してください。届けられた物品は学生課で保管します。

⑥ 自転車・オートバイ等の車両による通学の禁止

スクーリング実施校舎周辺は、駐車・駐輪できる場所がありません。また、無断で駐車・駐輪すると違反になるばかりでなく、近隣の方の迷惑になるので、公共の交通機関を利用してください。なお、自転車による通学も禁止です。

⑦ その他の注意事項

- (1) 授業中の教室の出入り及び授業中の廊下の往来は静粛にすること。
- (2) 所定以外の場所には立ち入らないこと。
- (3) 所定場所以外での喫煙（教室内喫煙、歩行喫煙及び吸い殻の投げ捨て等）は禁止。
- (4) 授業中及び試験中は携帯電話等の電源を必ず切ること。なお、試験中は時計としても使用不可。
- (5) 体調が悪い場合は、保健室（開室時間や場所は掲示板で確認）へ申し出ること。

2 スクーリング期間中の滞在先届

スクーリングを受講するためにホテル等の宿泊施設や知人宅等に滞在する場合は、本誌「各種用紙」の「滞在先届」又は学生課窓口に設置してある「滞在先届」を記入し、受講初日までに学生課に提出してください。

- ※ 不測の事故発生時の対応に必要なため、必ず提出してください。
- ※ 郵送では受け付けしません。
- ※ 通学定期券購入手続の際にも必要です。

3 「千代田区生活環境条例」について

千代田区では、歩きタバコや吸いガラ・空き缶などのポイ捨てを禁止する「生活環境条例」が施行されています。

JR 市ヶ谷駅及び通信教育部校舎周辺は、「路上禁煙地区」及び「環境美化地区」に指定されています。スクーリング受講生は、条例を遵守してください。

4 緊急時の避難行動の指針について

学事日程に従いスクーリングを開講しておりますが、授業中に起きた不測の事態に備え、身の安全が確保できるよう、以下のとおり対応についての行動方針を示しますので、熟読の上、ご理解ご協力をお願いいたします。

① 学生の服装について

突発的な災害に備え、学生は普段から身を守る服装に心掛ける。

※例えば、帽子、長袖、安全な靴、タオルやマスク、学生証（身分証明書）の携行など。また、日頃から自分で準備しておくと良い物（懐中電灯、自宅までの帰宅経路の地図、携帯ラジオ等）を携行していることが望ましい。

② 避難について

(1) 地震発生時

ア 地震が発生し、教室内で強い揺れを感じた場合は、机の下に隠れ、身を守る姿勢を取る。

イ 教室外の場合は、その場で、頭を保護し、揺れに備えて身構える。釣り下がっている照明・機器等の下からは退避する。

(2) 避難時

ア 強い揺れが収まった場合、担当教員の指示に従い非常口などから、あわてず整然とすみやかに避難場所に避難する。

イ 救護を必要とする者がいる場合、状況により救護活動を行う。

ウ 緊急一斉放送が入った場合にはその指示に従う。

※緊急放送例：「揺れが収まりました。身の回りの安全を確認し落ち着いて避難してください。」

—あわてて出口、階段に殺到しないように心掛けのこと。—

(3) 避難場所

- ア 避難場所では、担当教員又は職員が学生の安否の確認を行うので、確認しやすい安全な場所で待機をしていること。
- イ 避難場所は安全な場所を前提に「通信教育部市ヶ谷キャンパス 1 階学生ラウンジ」とし、必要に応じて千代田区指定の災害時退避場所へ移動する。

(4) あわてて帰宅をしない

強い地震の後には大きな余震が予測されるため、周囲の状況（何が起きたのか）、被害情報、余震情報、交通機関に運行状況等により判断し、帰宅が困難な場合は避難場所の通信 1 号館学生ホールで待機する。状況によっては一晩待つこともあり得る。また、必要に応じて千代田区指定の帰宅困難者支援場所に移動する。

- ・教材購入用紙（丸沼書店用）
- ・教材購入願（通信教育教材用）
- ・追加科目履修届
- ・通学定期乗車券発行控
- ・学割証交付願
- ・滞在先届
- ・休暇依頼状（勧奨状）申込書
- ・<受講申込辞退願>

- ・東京スクーリング（秋期） 第1・2期
- ・東京スクーリング（秋期） 第3期
- ・地方スクーリング（秋期） 第1・2期
- ・夜間スクーリング（秋期）

講座の選定

第東1期京

第東2期京

第東3期京

第山1期形

第大1期阪

第札2期幌

第大2期垣

第福2期岡

月曜日 夜間

火曜日 夜間

水曜日 夜間

木曜日 夜間

金曜日 夜間

申込方法の講座

許可と申込講座の

受講料の納入

受講準備

受講試験及び

学生期間中の生活

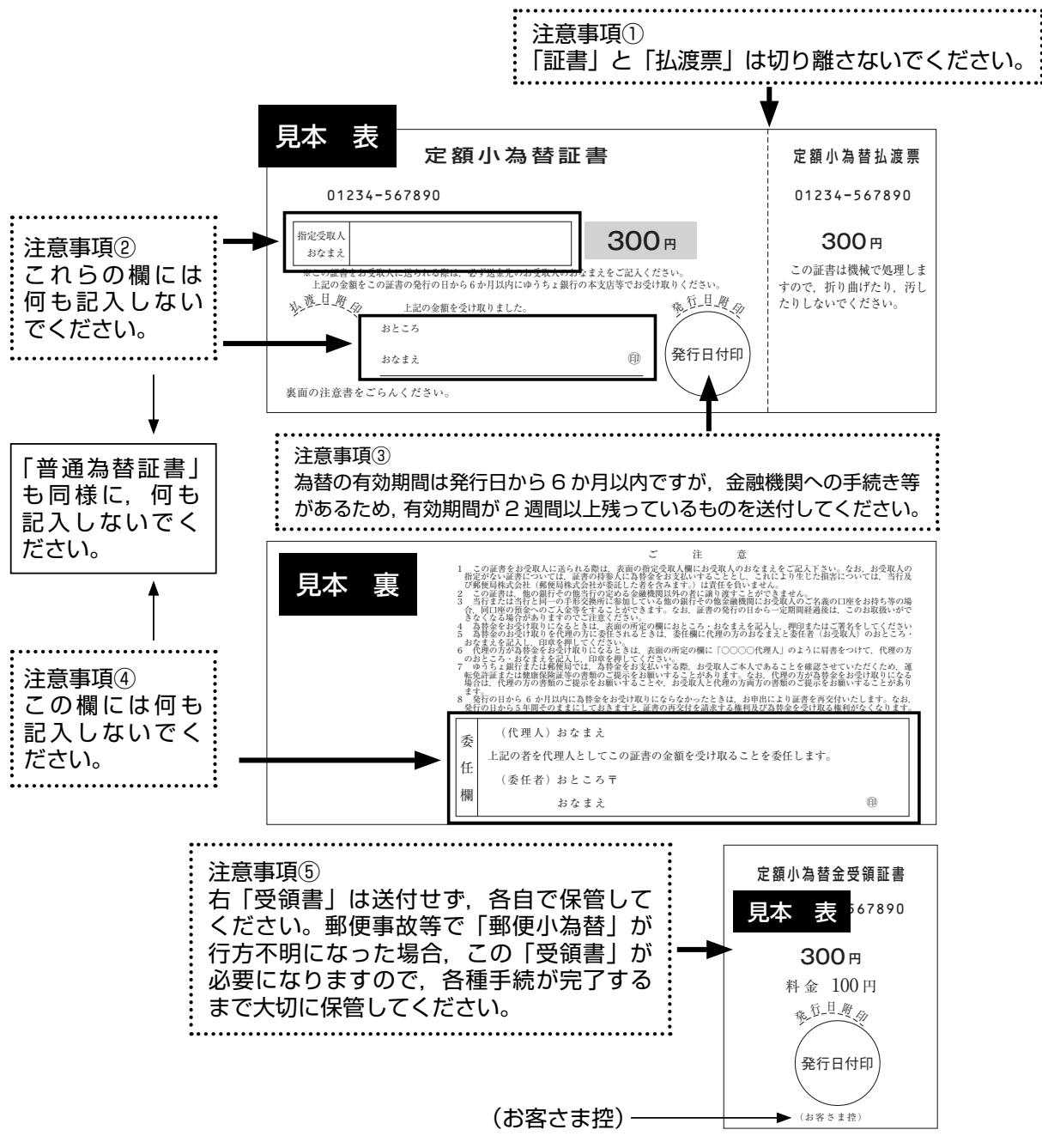
各種用紙

付録

「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「追加科目履修届」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。



教材購入用紙(丸沼書店用)

市販教材(市販本) 購入用

※**丸沼**印の教材を郵送にて購入の際は、この用紙で申し込んでください。
詳細は、「使用教材の購入」のページを参照してください。

(送付先) 丸沼書店

平成 26 年度 秋期スクーリング			
申込日	平成 26 年 月 日		
科目名	書名	教材費(税込)	送料
小計		円	円
合計		円	
購入方法 (いずれかに○)	①代金引換 ②定額小為替・郵便為替 ③現金書留		

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

送 り 先	住 所	〒 -
	氏 名	
	電話番号	()

※この用紙で『通信教育教材』は購入できません。
※不足する場合は複写の上、使用してください

購入方法は裏面を参照してください。

【購入方法】

(1) ~ (3) の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 260 円が別途かかります）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額分の定額小為替 又は郵便為替を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額を同封して下記 へ郵送してください。

不明な場合は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので、郵便為替・現金書留の場合、ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については、ご返金いたします。また、代金引換払の場合、書籍代 + 送料（実費） + 手数料（260 円）を受取時にお支払いください。

(書 店 名) (株) 丸沼書店
(所 在 地) 〒 101-0061
東京都千代田区三崎町 2-8-12
(電 話) 03-3261-4540
(F A X) 03-3261-0118
(営 業 時 間) 9:00 ~ 20:00 (日曜日は休み)

通材

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先:会計課)

教材購入願 (通信教育教材用)

学 生 番 号						氏 名	フリガナ
連絡先電話番号(携帯電話可)						- - -	

教材コード	科 目 名	金 額	スクーリング種別
			講 座 名
1 0 0 0			
2 0 0 0			
3 0 0 0			
4 0 0 0			
5 0 0 0			
6 0 0 0			
合計科目数		合計金額	
		_____	円

※ボールペンで記入してください。

※「教材コード・科目名・金額」は『部報』及び『スクーリング手引』
で確認し、必ず記入してください。

「教材コード(6桁)」と「科目コード(4桁)」は異なりますので、
注意してください。

※「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授
業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してく
ださい。

※『スクーリングの手引』における各講座の教科書(参考書)欄
で指定されているもの、例えば、「通材『政治学 0023』」通信
教育教材(教材コード 000279)」と記載されている教材を購入
する場合は「政治学」を科目名として記入してください(受講
科目ではなく指定された教材の科目名を記入)。

会計課領収印

「通信教育教材」の購入について

『通信教育教材』を購入する場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本）』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

1 購入手続

① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口（本館1階）へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

(1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課あてに送付してください。その際、必ず釣り銭のないようにしてください。

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償もありませんので、必ず現金書留を利用してください。

(2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用して下さい。

為替には何も記入せず送付してください。

2 教材購入対象者

- ① 面接授業（スクーリング）、メディア授業で『通信教育教材』を使用する場合
- ② 教材を紛失した場合
- ③ 学習する際に、参考として使用する場合
- ④ 教材が改訂された場合

3 注意事項

- ① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もしませんので注意してください。
- ② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、**窓口ではお渡ししません。**
教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講許可通知書」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。
- ③ 「教材購入願」で入手した教材でリポート提出はできません。リポート+科目修得試験方式、スクーリング併用試験方式、メディア授業併用試験方式で単位修得する場合は、履修登録（履修届・追加科目履修届）で教材を入手してください。

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先:会計課)

追加科目履修届

学 生 番 号						氏 名	フリガナ
連絡先電話番号(携帯電話可)						- - -	

(平成 年度)

*「裏面」の注意事項を熟読の上、記入してください。

	科 目 コ ー ド	科 目 名	単位	合計科目 _____科目 合計単位数 _____単位
1				
2				
3				
4				
5				
_____ 単位 × 1,500 円				合計金額 _____ 円

*科目コードは『教材要綱』で確認し、必ず記入してください。

*「追加科目履修届」は大学が受理した日の学年で登録されます。

上級学年の科目を履修する場合は注意してください。

【裏面〈注意〉④※印 参照】

*新入生の登録は前期生は4月1日から、後期生は10月1日からになります。

会計課領収印

(太線枠内にボールペンで記入してください)

「追加科目履修届」提出上の注意

「1学年指定配本」以外の科目や「履修届」で履修登録していない科目を、科目修得試験またはスクーリング・メディア授業併用試験方式で受験する場合は、この「追加科目履修届」用紙を提出してください。

1 追加履修費

1単位につき1,500円（例：4単位科目は4単位×1,500円=6,000円）。

2 手続方法

手続は隨時受け付けています。必要に応じてそれぞれの履修登録締切日までに手続を行ってください。

① 窓口による手続（直接持参による納入）

追加科目履修届用紙と追加履修費（現金）を持参の上、通信教育部の会計課窓口に提出し、手続を行ってください。

② 郵送による手続（郵便小為替による納入）

郵便局で追加履修費（現金）を「定額小為替」又は「普通小為替」に換え（手数料が必要）、追加科目履修届用紙と一緒に簡易書留で会計課あてに送付してください。

③ 郵送による手続（現金書留による納入）

追加科目履修届用紙と追加履修費（現金）と一緒に現金書留封筒で、会計課あてに送付してください。

※教材の受け渡しは郵送に限ります。窓口での受け渡しは一切行いません。

なお、教材が手元に届くのは、「追加科目履修届」受理後、約1週間を要します。

3 注意事項

① 対象者・科目

- ・「1学年指定配本」以外の科目
- ・「履修届」による配本以外の科目
- ・スクーリングでなければ履修できない科目や、教材を刊行していない科目は履修登録の対象になりません（例：総合科目・演習科目など、『学習要覧』に「※」印を記載の科目、及び教育実習・教育実践指導）。
- ・Dカリキュラム在籍者は、配当学科・学年にも注意してください。
- ・正科生のみ（科目履修生は使用できません）。

② 履修登録の有効期間

履修登録した科目（指定配本科目、履修届・追加科目履修届により配本を受けた科目）は、在籍期間中有効です。

③ 当該科目の所定単位で登録

4単位科目を、スクーリングまたはメディア授業で2単位修得している場合でも4単位として登録してください（所定単位4単位の科目を、2単位のみ登録することはできません）。

④ その他

「追加科目履修届」で登録し、配本された科目の教材は「教材購入願」で購入する必要はありません。

- ・当年度の授業料を納入していない場合は、履修登録できません。
- ・届出後の変更・取り消しはできません。また、返金も行いませんので、慎重に科目を選択してください。
- ・記入に際しては、ボールペンを使用してください。

※追加科目履修届は大学が受理した日の学年で登録されます。現在の学年より、上級学年の配当科目を追加履修する場合は、学年進級時（前期生は4月1日、後期生は10月1日）から登録が可能となります。

また、新入生の場合も同様で、前期新入生は4月1日から、後期新入生は10月1日からの受付となります。受付開始日前に到着した場合は、受理することができず、返送いたしますのでご注意ください。

通学定期乗車券発行控

平成 年 月 日

学 科		学 年	学生番号		
大 学 院					
フリガナ				性 別	年 齢
氏 名				男・女	才
現 住 所					
電 話	()				
通学区間	駅～ 駅 経由				
	駅～ 駅 経由				

※記入後、学生課に提出すること。

※現住所・通学区間等に変更が生じた場合は学生課に届けること。

※現住所・通学区間等に偽りがあった場合には、学則により懲戒を行う。

注意事項

- ※ 通学定期券購入の手続きについては郵送では一切受け付けません。
- ※ 通学区間の「経由」欄には「乗り換えを行う駅名」を記入してください。

例

正しい記入	新橋 駅～ 市ヶ谷 駅	秋葉原	経由
誤った記入	新橋 駅～ 市ヶ谷 駅	総武線	経由

日本大学通信教育部長 殿

学割証交付願

下記の事由のため、学割証の交付をお願いします。

記

			平成 年 月 日 申請	
学部	学科（専攻）	学生番号		
氏名			年齢 歳	
現住所	〒 -			
TEL ()				
申請事由（該当箇所に○を記入してください）				
東京・地方スクーリング（春期） （　　）	開講地	卒業論文面接指導（月日）		
夏期スクーリング（第期）		総合面接試問		
東京・地方スクーリング（秋期） （　　）	開講地	科目修得試験（第回）		
昼間・夜間スクーリング （曜日 時限）		その他（　　）		
乗車区間	自	線 駅	至	線 駅
乗車日	行	年 月 日	帰	年 月 日
必要枚数	_____枚（1枚で往復乗車券購入可能。複数枚の場合は理由を明記すること） ※理由			
利用交通機関	鉄道・バス・その他（　　）		受取方法	窓口・郵送

【注意事項】

- ① 科目履修生には、鉄道会社等の規定により発行できません。
- ② 大学主催行事以外（旅行等個人的事由）には使用できません。
- ③ 乗車区間が100kmを超える場合に限り発行します。
- ④ 郵送の場合は、返信用封筒（あて名明記、82円切手貼付）を同封してください。
- ⑤ 1枚で往復乗車券が購入できます。ただし、学割証の有効期間内に限ります。
- ⑥ この交付願では通学定期券の購入はできません。

滞在先届 平成 26 年度 東京スクーリング（秋期）

学 部	学科（専攻）	学 生 番 号							氏 名		
スクーリング期間中滞在先住所（宿泊施設名、知人宅名等もご記入ください。）											
〒 -											
方											
電 話 ()											
最 寄 駅 [駅]											
受講期間 第1期 · 第2期 · 第3期 (○で囲む)											
現 住 所										学生課受付印	
〒 -											
TEL ()											

* 本届によって得られた情報は、受講者が事故に遭遇した際など、
緊急時において大学が各種対応をするために利用します。

----- キ リ ト リ -----

注意事項

*記入後にコピーしたものを添えて（計2部必要）受講初日
までに学生課窓口に提出してください。
*郵送では受け付けません。

日本大学通信教育部長 殿

休暇依頼状（勧奨状）申込書

スクーリング受講のため、休暇依頼状（勧奨状）の発行をお願いいたします。

平成 年 月 日 申請

申込者	学 部			学科(専攻)	
	学生番号			学 年	
	氏 名				
	日中連絡先 電話番号				
	勤務先 正式名称				
	所属部署				
受講する スクーリング	種 別		開 催 地		
	受講期間				
提出先	勤務先 正式名称				
	役職名				
	役職者 氏 名				

【注意事項】

- *スクーリング受講許可後に発行します。
- *勤務先に対してのみ発行します。
- *休暇依頼状に記載する受講期間は、スクーリング開講期間となります。
- *送付先を明記した返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を必ず同封してください。
- *複数のスクーリングで発行を希望する場合には、この用紙をコピーして使用してください。

庶務課受付印

併せて提出するもの

全講座辞退→受講許可通知書

一部講座辞退→受講許可通知書

返信用封筒（長形3号、362円切手貼付）

平成26年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成26年度東京スクーリング(秋期)第1・2期受講申込辞退願

1 学生番号 _____

2 氏名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____ - _____

4 辞退内容 全講座辞退（許可通知書記載講座すべてを辞退）
(□にチェック) 一部講座辞退（許可通知書記載講座の一部を辞退する場合、
辞退講座のみを以下へ記入）

期	講座コード	辞退講座名
1期		
2期		

5 辞退理由(詳述)

※ 提出期限【教務課必着】10／1(水)

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び(B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成26年度東京スクーリング(秋期)第1・2期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、362円分の郵便切手(大学からの再送付時の速達郵便料)を貼付した、長形3号(A4判三つ折の用紙が入る大きさ)の返信用封筒(自己の郵便番号・住所・氏名を明記)を同封のこと。

※ 各スクーリングの辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

受講許可通知書

平成 26 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 26 年度東京スクーリング(秋期)第 3 期受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____ - _____

4 辞 退 内 容

期	講座コード	辞 退 講 座 名
3 期		

5 辞 退 理 由 (詳述)

※ 提出期限【教務課必着】11／12(水)

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び (B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成 26 年度東京スクーリング(秋期)第 3 期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 各スクーリングの辞退手続きは 1 回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

受講許可通知書

平成 26 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 26 年度地方スクーリング（秋期）第 1 期受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____ - _____

4 辞 退 内 容

開催地 (開催地に○)	期	講座コード	辞 退 講 座 名
山 形 大 阪	1 期		

5 辞 退 理 由 (詳述)

※ 提出期限【教務課必着】8／29（金）

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び (B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成 26 年度地方スクーリング（秋期）第 1 期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 各スクーリングの辞退手続きは 1 回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

受講許可通知書

平成 26 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 26 年度地方スクーリング（秋期）第 2 期受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____ - _____

4 辞 退 内 容

開催地 (開催地に○)	期	講座コード	辞 退 講 座 名
札幌 大垣 福岡	2 期		

5 辞 退 理 由 (詳述)

※ 提出期限【教務課必着】10／20 (月)

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び (B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成 26 年度地方スクーリング（秋期）第 2 期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 各スクーリングの辞退手続きは 1 回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

全講座辞退→受講許可通知書

一部講座辞退→受講許可通知書

返信用封筒（長形3号、362円切手貼付）

平成26年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成26年度夜間スクーリング(秋期)受講申込辞退願

1 学生番号 _____

2 氏名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____ - _____

4 辞退内容 全講座辞退（許可通知書記載講座すべてを辞退）
(にチェック) 一部講座辞退（許可通知書記載講座の一部を辞退する場合、
辞退講座のみを以下へ記入）

曜日	講座コード	講座名
月		
火		
水		
木		
金		

5 辞退理由（詳述）

※ 提出期限【教務課必着】10／8（水）

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び(B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成26年度夜間スクーリング(秋期)」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、362円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号(A4判三つ折の用紙が入る大きさ)の返信用封筒（自己の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封のこと。

教務課受付印	会計課受付印

付録

交通案内・校舎案内

① 交通案内～通信教育部までの交通～

〔東京駅乗継の場合〕

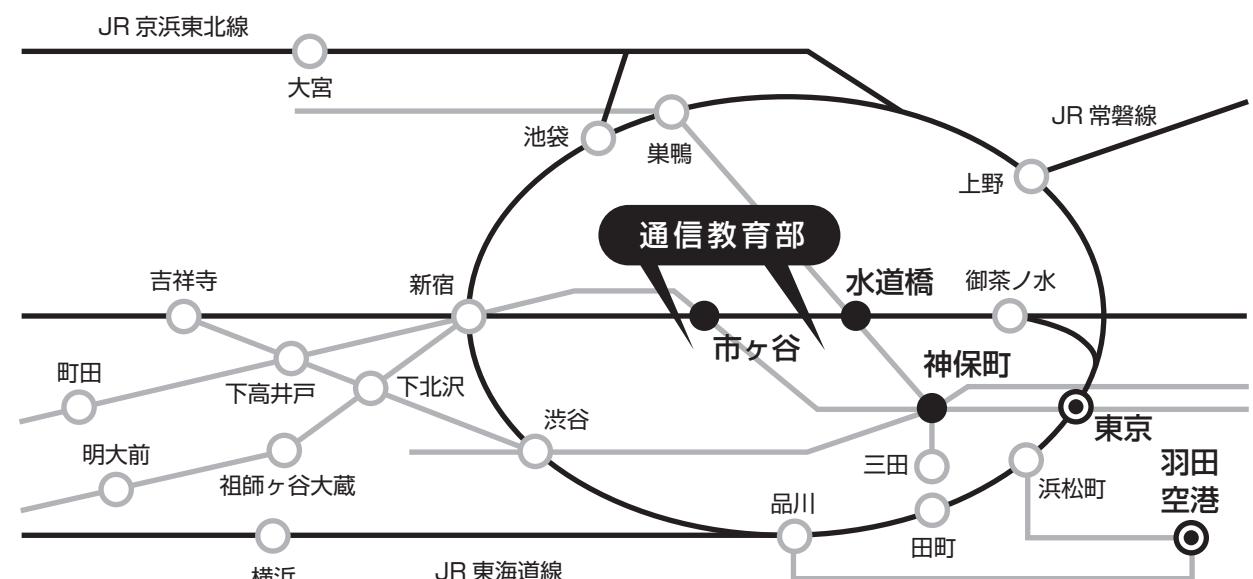
JR 中央線(1・2番線から発車する電車いずれも可)に乗車、御茶ノ水駅でJR 総武・中央線の各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、市ヶ谷駅下車徒歩約5分。東京駅から約20分。

〔上野駅乗継の場合〕

JR 山手線・京浜東北線(東京方面)に乗車、秋葉原駅でJR 総武・中央線各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、市ヶ谷駅下車徒歩約5分。上野駅から約20分。

〔羽田空港乗継の場合〕

東京モノレールで浜松町駅下車、JR 山手線・京浜東北線(東京・上野方面)に乗車、秋葉原駅でJR 総武線・中央線各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、市ヶ谷駅下車徒歩約5分。羽田空港駅から約50分。



■三崎町キャンパス

JR 中央・総武線(各駅停車)、都営地下鉄三田線 水道橋駅東口から 徒歩3分
都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A4出口から 徒歩5分

■市ヶ谷キャンパス

JR 中央・総武線(各駅停車) 市ヶ谷駅下車 徒歩2分
都営地下鉄新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A2出口から 徒歩1分

② 校舎案内

三崎町キャンパス

【所在地】〒101-8354 東京都千代田区三崎町 2-2-3



市ヶ谷キャンパス (2014年9月～)

【所在地】〒102-0085 東京都千代田区九段南 4-8-28



JR中央・総武線（各駅停車）市ヶ谷駅下車 徒歩 2 分

都営地下鉄新宿線, 東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A2 出口から 徒歩 1 分

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

1 0 1 8 3 5 4

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課
東京スクーリング(秋期)第1・2期 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。

特定記録郵便 [212円切手貼付] をお勧めいたします。

内を必ず御記入ください

平成26年 月 日作成

平成26年度東京スクーリング(秋期)受講届(84) 第1・2期 東京用

期	講 座 コード	講 座 名	充当科目コード				受講希望 方式
1							
2							

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。

なお、希望しない場合は、空欄のままで提出してください。



上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号							
フ リ ガ ナ							
氏 名							
自 宅 電 話 番 号							
緊 急 時 電 話 番 号							

※提出締切日 平成26年8月11日(月)【締切日までの消印有効】

※本票は東京スクーリング(秋期)第1・2期用の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。

※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

1 0 2 0 0 8 5

東京都千代田区九段南4-8-28

日本大学通信教育部教務課
東京スクーリング(秋期)第3期 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。

特定記録郵便 [212円切手貼付] をお勧めいたします。

内を必ず御記入ください

平成26年 月 日作成

平成26年度東京スクーリング(秋期)受講届(85)

第3期 東京用

期	講座コード	講 座 名	充当科目コード				受講希望方式
3							

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。
なお、希望しない場合は、空欄のままで提出してください。



上記のとおり相違ありません。

学生番号							
フリガナ							
氏名							
自宅電話番号							
緊急時電話番号							

※提出締切日 平成26年10月15日(水)【締切日までの消印有効】

※本票は**東京スクーリング(秋期)第3期用の受講届**です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。

※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

1 0 1 8 3 5 4

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課
地方スクーリング(秋期)第1期 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。

特定記録郵便 [212円切手貼付] をお勧めいたします。



内を必ず御記入ください

平成26年 月 日作成

平成26年度地方スクーリング(秋期)受講届(90)

第1期(山形・大阪)

期	開催地	講座コード	講座名	充当科目コード	受講希望方式
1	山形 ・ 大阪				

※開催地に○印

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。
 なお、希望しない場合は、空欄のままで提出してください。

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号									
フ リ ガ ナ									
氏 名									
自 宅 電 話 番 号									
緊 急 時 電 話 番 号									

※提出締切日 平成26年8月11日(月)【締切日までの消印有効】

※本票は**地方スクーリング(秋期)第1期用の受講届**です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。

※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

1 0 2 0 0 8 5

東京都千代田区九段南4-8-28

日本大学通信教育部教務課
地方スクーリング(秋期)第2期 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。

特定記録郵便 [212円切手貼付] をお勧めいたします。



内を必ず御記入ください

平成26年 月 日作成

平成26年度地方スクーリング(秋期)受講届(90)

第2期(札幌・大垣・福岡)用

期	開催地	講座コード	講座名	充当科目コード	受講希望方式
1	札幌 ・ 大垣 ・ 福岡				

※開催地に○印

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。
 なお、希望しない場合は、空欄のままで提出してください。

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号								
フ リ ガ ナ								
氏 名								
自 宅 電 話 番 号								
緊 急 時 電 話 番 号								

※提出締切日 平成26年9月11日(木)【締切日までの消印有効】

※本票は**地方スクーリング(秋期)第2期用の受講届**です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。

※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

1 0 2 0 0 8 5

東京都千代田区九段南4-8-28

日本大学通信教育部教務課
夜間スクーリング(秋期) 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。

特定記録郵便 [212円切手貼付] をお勧めいたします。



内を必ず御記入ください

平成26年 月 日作成

平成26年度夜間スクーリング(秋期)受講届(62)

曜日	講 座 コード	講 座 名	充当科目 コード	受講希望 方式
月				
火				
水				
木				
金				

*併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。
なお、希望しない場合は、空欄のままで提出してください。



私の申込みは、上記のとおり相違ありません。							
学 生 番 号							
フ リ ガ ナ							
氏 名							
自 宅 電 話 番 号							
緊 急 時 電 話 番 号							

*提出締切日 平成26年9月11日(木)【締切日までの消印有効】

*各曜日から1講座ずつ申込みできます。

*書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください

*本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チ ェ ッ ク 項 目	参 照
◆受講届の記入	
<input type="checkbox"/> 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか	卷末「受講届」
<input type="checkbox"/> [] 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生番号・氏名・電話番号)	V-2 講座を申し込む ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 希望科目的受講条件は満たしていますか (配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	I-4 「開講講座表」の見方 ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 申し込む開講時期は間違って記入していませんか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 修得済科目を申込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認 (在学生専用サポート)
◆併用 ※希望者のみ	
<input type="checkbox"/> スクーリング併用試験方式希望の場合は、受講届の「受講希望方式」欄に『併用』を記入していますか	V-2 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 希望する科目的履修登録は済んでいますか	V-1 受講手続の流れ表紙 (Ⓐ 履修登録締切日)
<input type="checkbox"/> 併用希望科目のリポートは、必要通数分を期限内に提出していますか	V-1 受講手続の流れ表紙 (Ⓑ リポート提出締切日)
◆受講届の提出	
<input type="checkbox"/> 提出締切日に間に合いますか (郵送の場合は締切日消印有効)	表紙 (① 受講届提出締切日) V-2 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> <推奨> 申込内容の控えはありますか (受講届のコピー)	
<input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか (ホームページからの申込の場合のみ)	
<input type="checkbox"/> <推奨> 特定記録郵便で発送しましたか	V-2 講座を申し込む
◆受講料の納入	
<input type="checkbox"/> 受講許可通知書の内容に間違いはありませんか	VI-1 受講許可通知書を確認する
<input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか	VII 受講料の納入



DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY
編集兼発行人 福田弥夫 〒101-8354 東京都千代田区三崎町2-2-3 日本大学通信教育部